

京都市内遺跡立会調査概報

平成14年度

2003年3月

京 都 市 文 化 市 民 局

ごあいさつ

京都は、山紫水明の恵まれた自然と、世界に誇る貴重な文化遺産に満ち、更には長い歴史と伝統に培われた文化がまちに息づく文化首都といわれる都市であります。市内の埋蔵文化財包蔵地には、時代ごとに幾層にもわたり積み重ねられた歴史の重みをもつ遺跡が数多く存在しております。

このような埋蔵文化財は、日本の歴史や文化の成り立ちを知ることができる国民共有の貴重な財産であり、将来にわたって我が国の文化発展の基礎をなすものであることが広く認識され、その保存と活用が図られなければなりません。

しかしながら、埋蔵文化財包蔵地内において土木工事等の開発行為が行われる場合などにそのままにしておくと埋蔵文化財に重大な影響を及ぼします。先人が残した埋蔵文化財を引き継いだ私たちは、その保存と開発との調整を適切に行い、これを後世に伝承していく責務があります。

本市では、こうした考えの下、京都の貴重な埋蔵文化財の保護に努めており、この度、平成14年度に文化庁の国庫補助を得て実施した埋蔵文化財調査の結果をまとめた概要報告書を作成致しました。調査のうち、試掘調査は京都市埋蔵文化財調査センターが実施し、発掘調査及び立会調査は、財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施したものです。

各調査の実施に当たりまして、御理解と御協力を賜りました市民の皆様をはじめ、御指導、御助言を賜りました関係機関の皆様に深く感謝申し上げますとともに、本報告書が京都の歴史を知るための一助として、お役に立てば幸いに存じます。

平成15年 3月

京都市文化市民局長

杉原和彦

例 言

- 1 本書は京都市文化市民局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う平成14年度の京都市内遺跡立会調査概要報告である。
- 2 本書の編集は菅田薫を中心に、小谷裕、堀内寛昭、モンペティ恭代、吉本健吾が調整・作成実務を担当した。
- 3 各報告については文末に執筆者を記した。
- 4 写真撮影は村井伸也と幸明綾子が担当し、遺跡は調査担当者が行った。
- 5 遺物復元・彩色は村上勉、出水みゆきが担当した。
- 6 本書で用いた土壌色名は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修の『新版標準土色帖』に準じた。
- 7 個々の調査地での計測値は、宅地の場合は仮の「水準点」を±0mとし、道路の場合には現行道路路面を地表面（±0m）としている。
- 8 使用方位・座標値は、使用測地系 日本測地系（改正前）平面直角座標系VIを使用した。
- 9 調査一覧表では各時代の「時代」は省略しており、調査日については簡略に記しているものもある。遺跡名は平安宮・平安京跡、長岡京跡については、官衙・条坊を優先した。
- 10 本書で使用した地図は京都市発行の都市計画基本図（縮尺1/2,500）を参考にし、作成したものである。

都市計画基本図は、縮尺を調整して以下のものを使用した。

平安宮・京跡 図版1～13 8,000分の1（衣笠山、船岡山、花園、聚楽廻、御所、山ノ内、壬生、三条大橋、西京極、島原、五条大橋、中河原、梅小路、京都駅）

その他の遺跡 図版14～26 10,000分の1（岩倉、西賀茂、幡枝、三宅八幡、鷹峯、植物園、松ヶ崎、宇多野、衣笠山、船岡山、相国寺、田中、鳴滝、花園、聚楽廻、御所、吉田、太秦、山ノ内、三条大橋、岡崎、五条大橋、清水寺、中河原、梅小路、京都駅、今熊野、山科、小山、岡新田、中山、川島、吉祥院、勧進橋、稻荷山、勧修寺、大原野、石見、寺戸、久世、城南宮、竹田、大亀谷、小塩、粟生、向日町、久我、下鳥羽、丹波橋、桃山、石田、長岡、羽束師、横大路、中書島、木幡池、日野、向島）

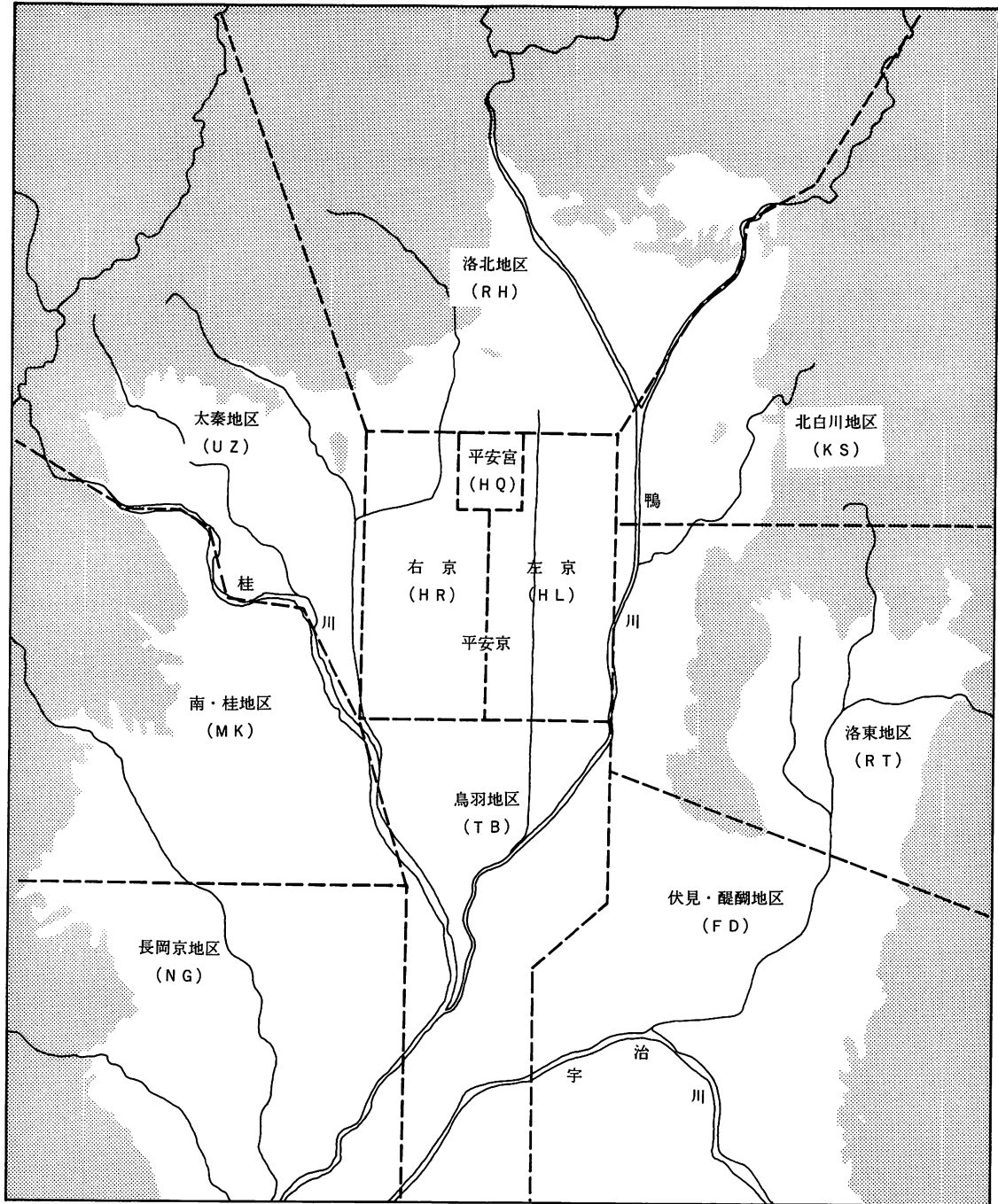
各報告の「調査位置図」5,000分の1

図1（西京極）

図7（島原）

図16（植物園）

図27（五条大橋）



地区設定概念図

本文目次

I 調査概要	1
II 平安京跡	3
1 平安京右京五条三坊二町 (01HR385)	3
2 平安京右京七条一坊五・六町 (02HR197)	6
III その他の遺跡	9
1 植物園北遺跡 (02RH51・53)	9
2 法住寺殿跡、六波羅政庁跡 (00RT389)	13
調査一覧表	15
報告書抄録	31

図版目次

図版 1～26 調査位置図

- 図版 1 平安宮
- 図版 2 平安京左京北辺～三条 一・二坊
- 図版 3 平安京左京北辺～三条 三・四坊
- 図版 4 平安京左京 四～六条 一・二坊
- 図版 5 平安京左京 四～六条 三・四坊
- 図版 6 平安京左京 七～九条 一・二坊
- 図版 7 平安京左京 七～九条 三・四坊
- 図版 8 平安京右京北辺～三条 三・四坊
- 図版 9 平安京右京北辺～三条 一・二坊
- 図版10 平安京右京 四～六条 三・四坊
- 図版11 平安京右京 四～六条 一・二坊
- 図版12 平安京右京 七～九条 三・四坊
- 図版13 平安京右京 七～九条 一・二坊
- 図版14 1 植物園北遺跡 2 御堂ヶ池古墳群 3 仲野親王墓古墳（垂箕山古墳）・上ノ段町遺跡・御所ノ内町遺跡
- 図版15 仁和寺院家跡・草木町遺跡・法金剛院境内・常盤仲之町遺跡・一ノ井遺跡・多藪町遺跡
- 図版16 1 岩倉忠在地遺跡 2 一乗寺向畑町遺跡 3 北野遺跡・北野廃寺
4 北白川廃寺 5 出雲寺跡・相国寺旧境内・室町殿跡（花の御所）
6 法成寺跡
- 図版17 田中構え跡・京都大学北部構内遺跡・北白川追分町縄文遺跡・京都大学構内弥生遺跡・京都大学西部構内遺跡・京都大学本部構内遺跡・京都大学総合人間学部構内遺跡・神楽岡城跡・白河街区跡・岡崎遺跡・白河北殿跡・白河南殿跡・得長寿院跡・延勝寺跡・法勝寺跡
- 図版18 珍皇寺旧境内・法観寺旧境内・六波羅政庁跡・法住寺殿跡・法性寺跡
- 図版19 1 山科本願寺跡 2 山科本願寺南殿跡 3 鳥部（辺）野 4 中臣遺跡・中臣十三塚 5 日野谷寺町遺跡・法界寺旧境内
- 図版20 鳥羽離宮跡・鳥羽遺跡・下鳥羽遺跡・芹川城跡
- 図版21 1 深草遺跡・深草坊町遺跡・深草寺跡 2 唐橋遺跡 3 久我殿遺跡 4 向島城跡
- 図版22・23 伏見城跡・御香宮廃寺

図版24 長岡京跡

図版25 1 長岡京跡 2 下津林遺跡 3 上久世遺跡 4 中久世遺跡・大藪遺跡・長岡京跡

図版26 円山古墳群・灰方古墳群

挿 図 目 次

01HR385		02RH51・53		
図1	調査位置図……………	3	図16 調査位置図……………	9
図2	遺構位置図……………	3	図17 No.1・2地点遺構位置図……………	9
図3	No.2地点遺構断面図……………	4	図18 No.3地点遺構位置図……………	10
図4	No.1・3地点柱状断面図……………	4	図19 No.1～4地点遺構断面図……………	10
図5	出土遺物実測図……………	4	図20 出土遺物実測図……………	11
図6	No.2地点遺構断面……………	5	図21 土師器小型器台……………	11
02HR197		図22 土師器甕……………	11	
図7	調査位置図……………	6	図23 No.1地点竪穴住居……………	12
図8	No.3地点遺構断面……………	6	図24 No.2地点竪穴住居……………	12
図9	No.1・2地点遺構位置図……………	7	図25 No.4地点遺構断面……………	12
図10	No.3地点遺構位置図……………	7	図26 No.5地点遺構断面……………	12
図11	No.1地点柱状、No.2・3地点遺構断面図……………	7	00RT389	
図12	土師器杯実測図……………	8	図27 調査位置図……………	13
図13	軒平瓦拓影・実測図……………	8	図28 北壁断面略図……………	13
図14	土師器杯……………	8	図29 ピット2……………	14
図15	軒平瓦……………	8	図30 南階段保護の状態……………	14

表 目 次

表1	立会調査件数……………	1
表2	年次別立会調査件数……………	1

I 調査概要

本報告は京都市文化市民局が（財）京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う平成14年度の京都市内遺跡立会調査概要報告書である。本書では平成14年1月7日から3月29日までの平成13年度分と、同年4月1日から12月27日までの平成14年度分を合わせて報告する。調査件数は378件であり、平成13年度分が108件、平成14年度分が270件である。京都市内を便宜的に地区分けした調査件数は表1の通りである。

地区	13年度1～3月	14年度4～12月	小計	地区	13年度1～3月	14年度4～12月	小計
平安宮(HQ)	18	47	65	洛東地区(RT)	10	31	41
平安京左京(HL)	26	81	107	鳥羽地区(TB)	3	18	21
平安京右京(HR)	17	39	56	伏見・醍醐地区(FD)	9	12	21
洛北地区(RH)	8	13	21	長岡京地区(NG)	2	5	7
太秦地区(UZ)	4	8	12	南・桂地区(MK)	3	4	7
北白川地区(KS)	8	12	20	計	108	270	378

表1 立会調査件数

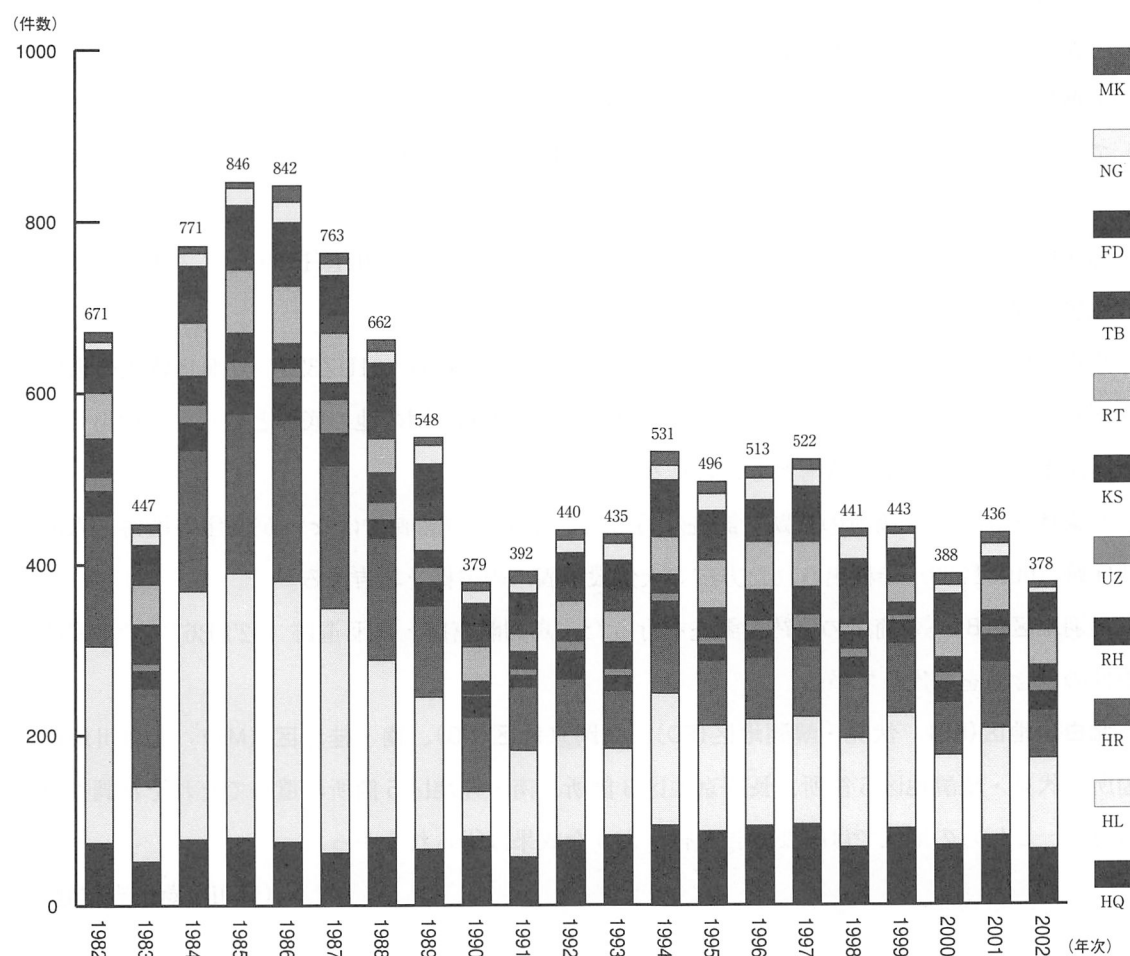


表2 年次別立会調査件数

昭和52年から京都市文化財保護課は市街地に重複する平安京跡の小・中規模開発に伴う有効な埋蔵文化財調査法として、試掘・立会調査を文化庁の国庫補助を得て実施してきた。初年度は試掘・立会を合わせ182件であったが、翌53年379件、54年596件と右肩上がり調査件数は増加した。しかし昭和60年をピークに平成2年379件に底を打った後、500件前後の立会調査件数で推移してきたが、本年は平成2・3・12年とほぼ同数まで落ち込み378件となっている（表2）。本年の立会調査の原因別のおおまかな内訳は、店舗・事務所など基礎掘削が浅く工事面積の小規模な個人住宅などが189件で半数を占め、規模も広く掘削深度の深いマンション・ビルなどが79件、上下水道・ガス・学校グリーンベルト化・公園などの公共事業が102件、宅地造成などその他の工事が8件であった。

ここでは、本年の立会調査において知り得た新たな成果について以下概略を記す。

平安宮(HQ) 豊楽院(01HQ353)で緑釉瓦を採集した。また、朝堂院(02HQ124)で版築の可能性のある褐色砂泥層を検出した。

平安京左京(HL) 三条二坊十二町(02HL237)で縄文時代中期の土器を含む流れ堆積を、四条四坊六町(02HL162)では、古墳時代前期の遺物包含層を検出した。平安時代の遺構では四条三坊八町(02HL184)で柱穴を、九条二坊十一町(01HL208)で油小路西側溝の可能性のある包含層を検出した。

平安京右京(HR) 右京城では五条三坊二町(01HR385)、七条一坊五・六町(02HR197)の2件の概要を報告する。それ以外では、古墳時代の包含層を八条二坊十五町(02HR148)で検出している。時期不明であるが七条二坊二町(02HR3)で西大宮大路西側溝を推定線上で検出している。

洛北地区(RH) 7箇所の遺跡で調査を行った。植物園北遺跡(02RH51・53)で古墳時代の竪穴住居を検出したので報告する。

太秦地区(UZ) 9箇所の遺跡で調査を行った。多藪町遺跡(01UZ325)で飛鳥時代の遺物包含層を検出している。法金剛院境内(02UZ233)では時期不明の池の底部とピットを検出している。法金剛院に関連する遺構と考えられる。

洛東地区(RT) 10箇所の遺跡で調査を行った。今年度の調査ではないが法住寺殿跡・六波羅政庁跡(00RT389)で検出された方広寺大仏殿根固めの遺構を報告する。

鳥羽地区(TB) 8箇所の遺跡で調査を行った。鳥羽離宮跡・鳥羽遺跡(02TB67)で平安時代中期の包含層を検出している。

北白川地区(KS)、伏見・醍醐地区(FD)、長岡京地区(NG)、南・桂地区(MK) 北白川地区18箇所、伏見・醍醐地区5箇所、長岡京地区3箇所、南・桂地区5箇所の遺跡でそれぞれ調査を行ったが、これらの地区では概要報告を行うような成果は得られなかった。

(菅田 薫・吉本健吾)

II 平安京跡

1 平安京右京五条三坊二町 (01HR385)

調査経過 (図1)

右京区西院北矢掛町11-1番地の住宅建築に伴う調査である。条坊復元では平安京右京五条三坊二町に該当している。当町は北を綾小路(現綾小路通)、南を五条坊門小路(現仏光寺通)、東を道祖大路(現佐井通)、西を宇多小路(現佐井西通)に囲まれ、平安時代後期には『小泉荘』とよばれる荘園の一部となっている(『拾芥抄』西京図)。この荘園は鎌倉時代には近衛家領となり、1389年(康応元/元中六)寄進によって大徳寺如意庵領となる。

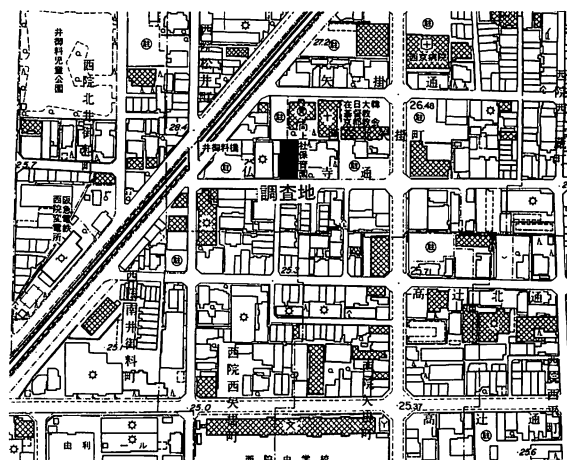


図1 調査位置図 (1:5,000)

同町で実施された発掘調査では綾小路南築地の内溝が検出され、その下層から平安時代前期の一括遺物^{註1}が出土している。

調査は2002年3月12日から18日まで3地点で行い、室町時代前期の落込、平安時代中期のピット、平安時代前期の包含層および整地層を検出した。

遺構・遺物 (図2~6)

No.1 地点

現代盛土が0.75m堆積し、盛土直下で厚さ0.15mの平安時代前期の包含層を検出した。遺物は土師器皿(細片)が出土している。-0.9mでオリーブ褐色砂泥の地山となる。

No.2 地点

現代盛土が約0.8mの厚さで堆積する。盛土直下からは浅い落込を2箇所検出した。落込1は遺物の出土はなく、落込2からは室町時代前期の土師器皿が出土し、東側へ畝状に続く様相を呈している。但し、この落込遺構の性格につ

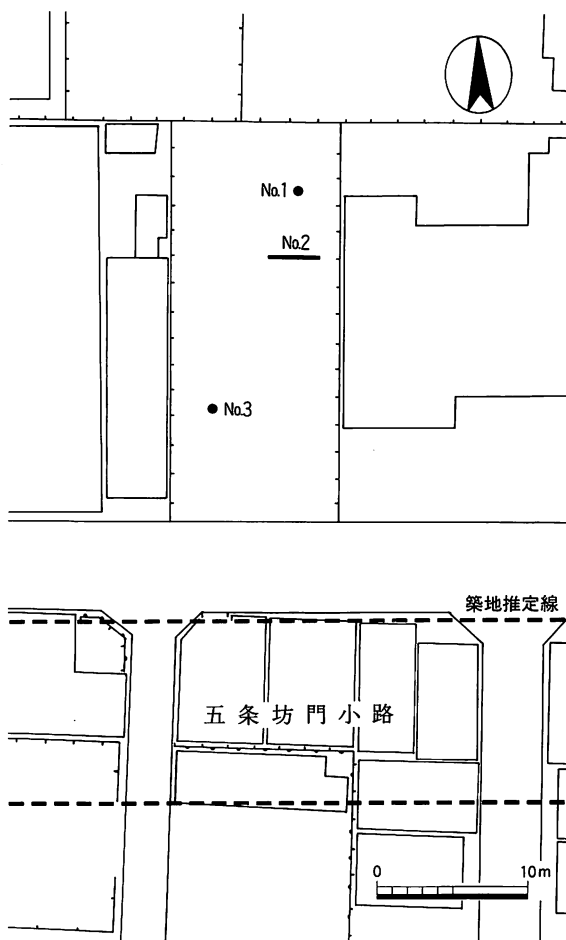


図2 遺構位置図 (1:500)

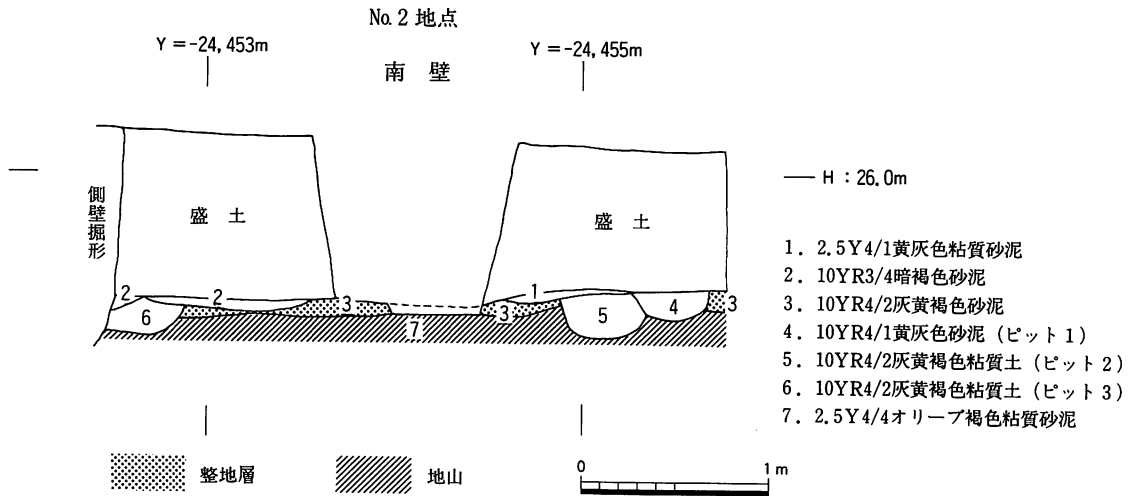


図3 No. 2 地点遺構断面図 (1 : 40)

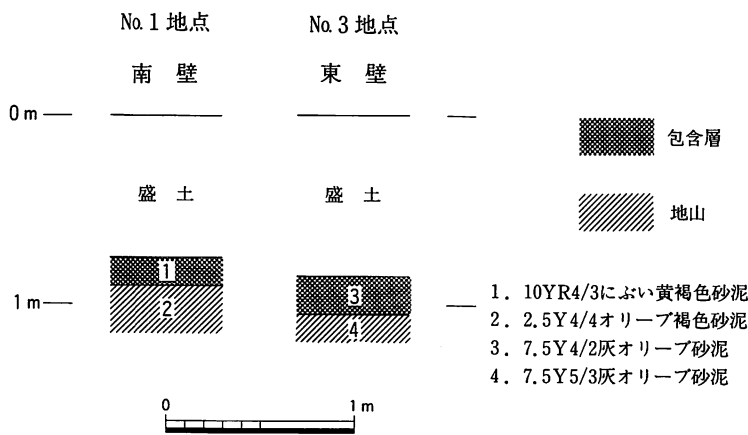


図4 No. 1・3 地点柱状断面図 (1 : 40)

いては断面だけでは特定しがたい。

この下層からは南北に広がる整地層を検出した。平安時代前期の須恵器杯が出土している。この層を切つて、地山を掘り込んだピットを3基 (ピット1~3) 検出した。ピット1は幅0.4m、深さ0.15mで、平安時



代中期 (10世紀末) の土師器皿が出土している。ピット2は推定幅0.5m、深さ0.24mである。遺物は検出されなかったがピット1に切られていることから時期差が認められる。ピット3は推定幅0.5m、深さ0.17mで、平安時代中期 (10世紀中葉) の土師器皿が出土した。ピット2および3は深さがほぼ同じレベルであり、埋土も共通している。間隔は2.5mである。ピットはいずれも柱痕は確認できなかった。

No. 3 地点

-0.85mで炭が混じる包含層を確認したが、出土遺物は微細な土師器片であったため時期は特定できなかった。-1.05mで灰オリーブ砂泥の地山となる。

なお、出土した遺物のうち土師器片は実測不可能であったため、No. 2 地点の整地層から出土した須恵器杯 (図5) のみを実測した。

ま と め

地山直上に平安時代前期の須恵器を包含する整地層が覆っていることから、その時期には宅地として機能していたことが考えられる。しかし、平安時代後期の遺物の出土がないことから宅地

は短期間に廃絶したことが窺える。ピット2・3に関しては、その規模からみて一町における主要な建物ではなく掘立柱建物の柱穴と思われる。ピット1との切り合い関係から平安時代前期に造作されたものであろうと考えられる。また、ピット1についても前者と同じ性格の柱穴の一つであろう。落込1および2については限られた断面範囲からの判断はしがたいが、中世荘園の耕作に関連する遺構ではないかと考えている。

(堀内寛昭)

註1 伊藤 潔「平安京右京五条三坊」『昭和63年度 京都市埋蔵文化財研究所調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1993年



図6 No.2地点遺構断面(北から)

2 平安京右京七条一坊五・六町 (02HR197)

調査経過 (図7)

下京区朱雀分木町～朱雀北ノ口町の水道工事に伴う調査である。調査地は条坊復元では平安京右京七条一坊五～六町にまたがった範囲である。北を七条坊門小路、南を七条大路、東を西坊城小路、西を皇嘉門大路に囲まれ、五町と六町の間^{註1}に東西の北小路が通っている。

今回の調査地は中央卸売市場に関連した倉庫や商店が集中した地域であり、これまで12度にわたって立会調査が行われているが、顕著な遺構の検出成果はあがっていない。周辺

での発掘調査からは、平安時代前期の皇嘉門大路東側溝および建物跡などが検出されている。また隣接する京都市中央卸売市場第一市場の発掘調査では、鴻臚館に葺かれていた可能性が極めて高いとされる軒瓦が約400点出土している。^{註2}調査は2002年9月18日から10月16日まで行い、3地点から室町時代前期の落込、平安時代前期の落込および包含層を検出した。

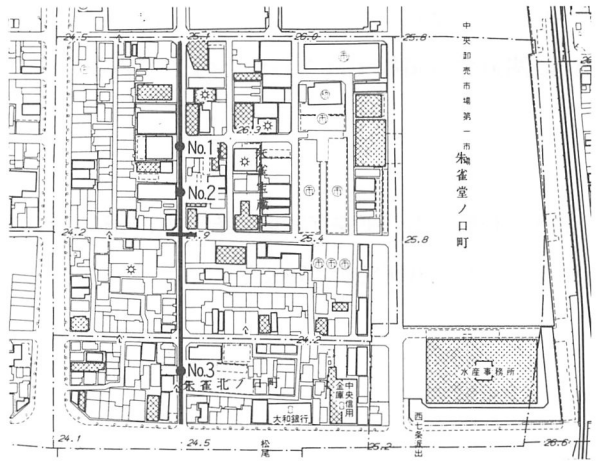


図7 調査位置図 (1:5,000)

遺構 (図8～11)

No.1 地点

-0.49mで包含層を確認した。平安時代とみられる平瓦が出土している。

No.2 地点

-0.52mで落込を検出した。幅0.8m以上、深さ0.34m以上の規模をもつが、南側を攪乱墳で破壊されており全容は不明である。平安時代前期の土師器杯、軒平瓦・丸瓦・平瓦が出土している。

No.3 地点

-0.52mで平安時代前期の土師器を包含する層を検出した。この包含層を掘り込んで、幅1.1m、深さ0.12mの落込を検出した。この落込から細片ではあるが室町時代前期の土師器皿、瓦器碗が出土している。-0.7m以下は暗褐色粘質砂泥の地山となる。

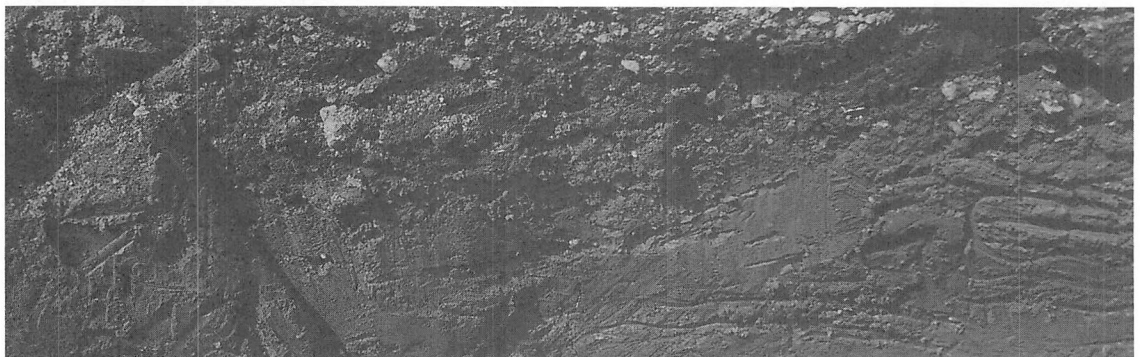


図8 No.3 地点遺構断面 (東から)

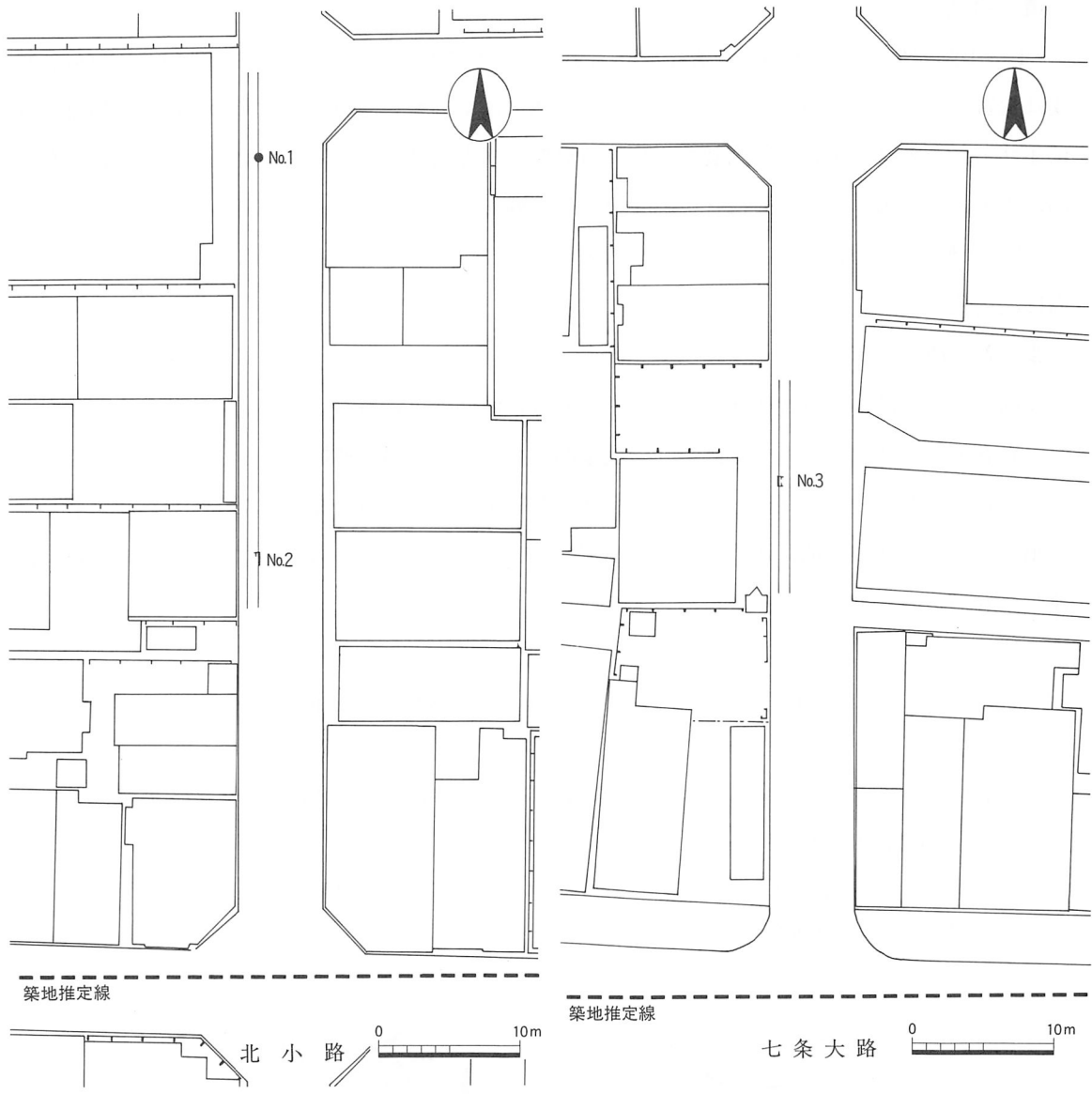


図9 No.1・2地点遺構位置図(1:500)

図10 No.3地点遺構位置図(1:500)

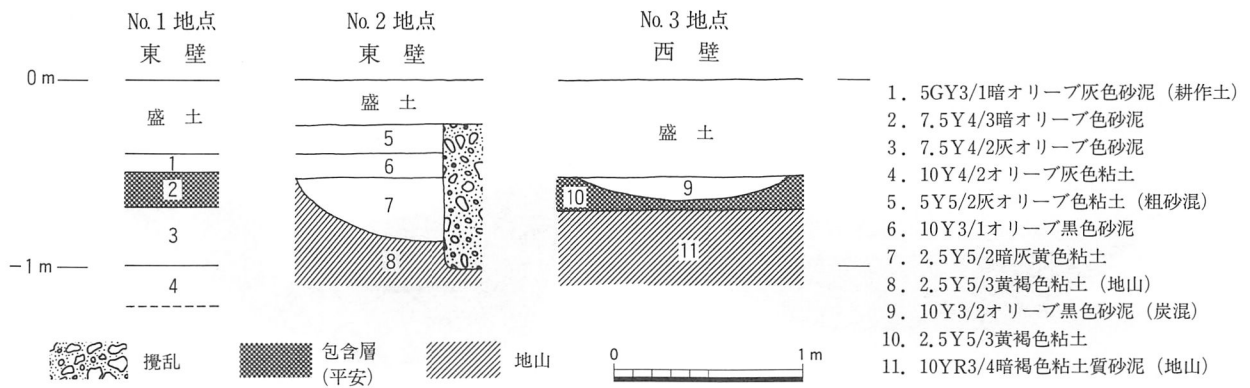


図11 No.1地点柱状、No.2・3地点遺構断面図(1:40)

遺物 (図12~15)

(1) 土師器杯。口径16.0cm、器高2.8~3.0cm、最大器厚3.5mmである。胎土は緻密で良好、焼成は軟質でにぶい黄橙色を呈し、器表は荒れ気味で薄く剥離している。成形は低部から体部外面はオサエ、その後に粗いナデ調製を施す。口縁部は横方向にナデつけて調整後に体部内面を横方向にナデ調製を施す。破片の接合で約4分の1が残る。

(2) 均整唐草文軒平瓦。胎土は精良で砂粒が少なく堅緻である。焼成は硬く表面は灰色、内面は淡褐色を呈する。

まとめ

今回の調査では、室町時代前期の落込、平安時代前期の包含層および落込を検出した。しかしながら五・六町は、これまで発掘調査の実施例が少なく、全体を把握できるような成果は得られていない。したがって今回検出した遺構も性格を特定するには至らなかった。均整唐草文軒平瓦の出土については、当地に建物の所在を推定することもできるが、あるいは西鴻臚館の廃絶に関連したものという可能性も一考しておきたい。

(堀内寛昭)

註1 本弥八郎・菅田 薫「右京七条一坊」『平安京跡発掘調査概報』昭和58年度 京都市文化観光局 1984年

菅田 薫・本弥八郎「右京七条一坊」『昭和58年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1985年

註2 平田 泰・吉川義彦・菅田 薫「右京七条一坊」『昭和57年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1984年

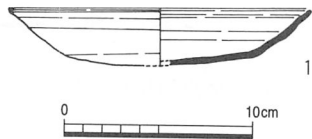


図12 土師器杯実測図 (1 : 4)

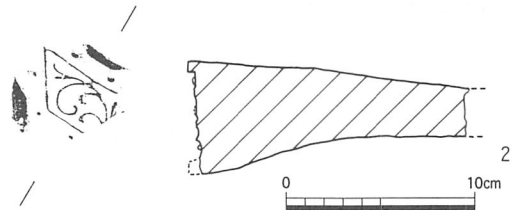


図13 軒平瓦拓影・実測図 (1 : 4)

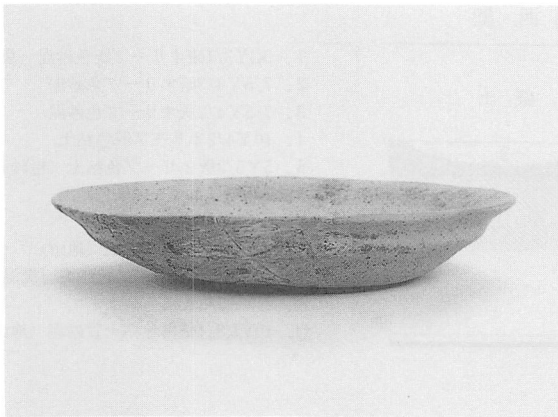


図14 土師器杯(1)

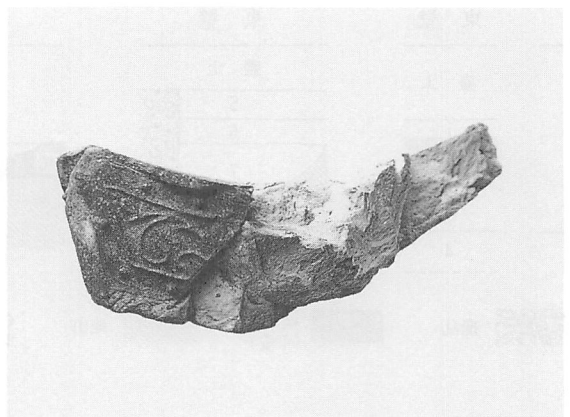


図15 軒平瓦(2)

III その他の遺跡

1 植物園北遺跡 (02RH51・53)

調査経過 (図16)

左京区下鴨水口町のガス低圧管移設および水道工事に伴う調査である。周辺の発掘調査では、平成2年度に北区上賀茂松本町98番地 (FM京都) で、古墳時代前期の竪穴住居9棟と平安時代後期の掘立柱建物などを検出している。また立会調査においても、平成11年度にこの南側マンション建設地から竪穴住居2棟を確認している。^{註2}

調査は、2002年5月13日から6月7日 (02RH51・ガス工事)、5月16日から9月5日 (02RH53・水道工事) まで行い、5地点で古墳時代の竪穴住居と考えられる遺構を検出した。

遺構 (図17~19・23~26)

No.1 地点

-0.29mで灰黄褐色砂泥の地山を掘り込んだ幅1.38m以上、深さ0.36mを測る遺構を検出した。東側底部に壁溝とみられる落込が認められ、埋土下層から古墳時代前期の土師器甕・鉢・器台が出土していることから、古墳時代前期の竪穴住居と考えられる。

No.2 地点

-0.32mで幅1.9m、深さ0.18mの地山を掘り込んだ遺構を検出した。遺物は出土しなかったが、東側に壁溝とみられる落ちが認められることから竪穴住居と考えられる。No.1地点で検出した竪穴住居に近接しているため同一遺構と考えることができるが、床面の高さが0.12m異なることから、建て替えられた別の竪穴住居とも考えられる。

No.3 地点

-0.28mで東端に壁溝をもつ幅2.5m、深さ0.24mの地山を掘り込んだ遺構を検出した。埋土下層から古墳時代前期の土師器甕 (小破片1点) が出土した。断面図は略測である。

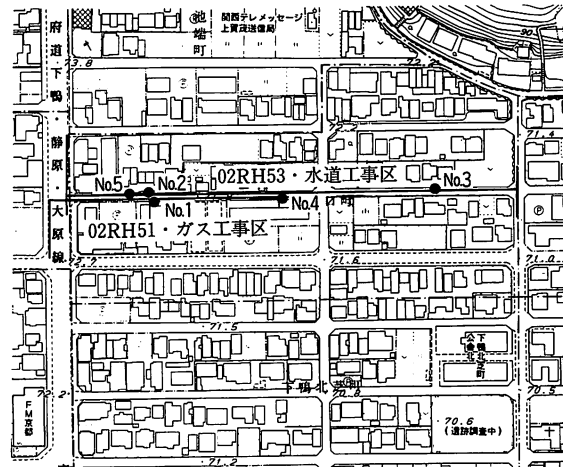


図16 調査位置図 (1 : 5,000)

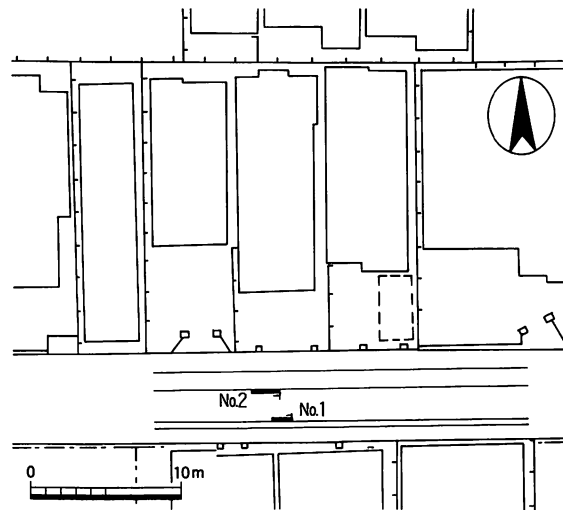


図17 No.1・2地点遺構位置図 (1 : 500)

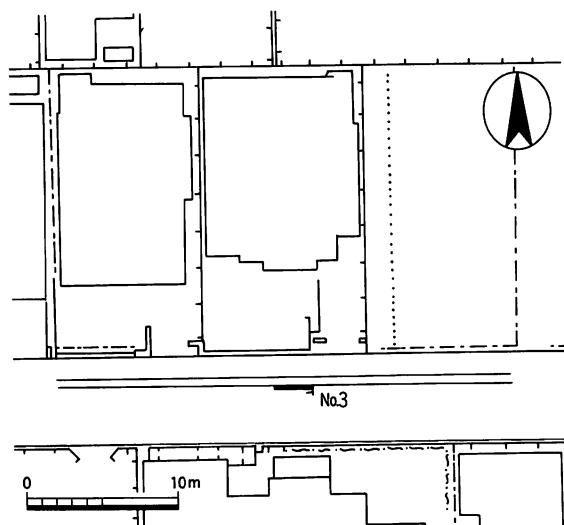


図18 No.3地点遺構位置図 (1:500)

No.4 地点

-0.29~0.65mの層で古墳時代前期の土師器甕が出土した。柱状実測図であるため遺構の性格は断定できないが、遺物年代および埋土状況などから竪穴住居と考えられる。

No.5 地点

北壁断面において幅1.3m、深さ0.2mの土塊状の遺構を確認した。ただし水道工事の埋め戻し途中のため精査ができず写真記録のみである。目視観察によるものであるが同一道路内において検出した竪穴住居の層序および埋土が共通し

ているようにみられることから、当遺構も竪穴住居と考えている。

遺物 (図20~22)

(1) は土師器小型器台でNo.1地点から出土した。胎土はやや粗く、直径1mm前後の石粒(石英・チャートが多く、クサレ礫・雲母が極少量)を多く含み、浅黄橙色を呈する。焼成は軟質で

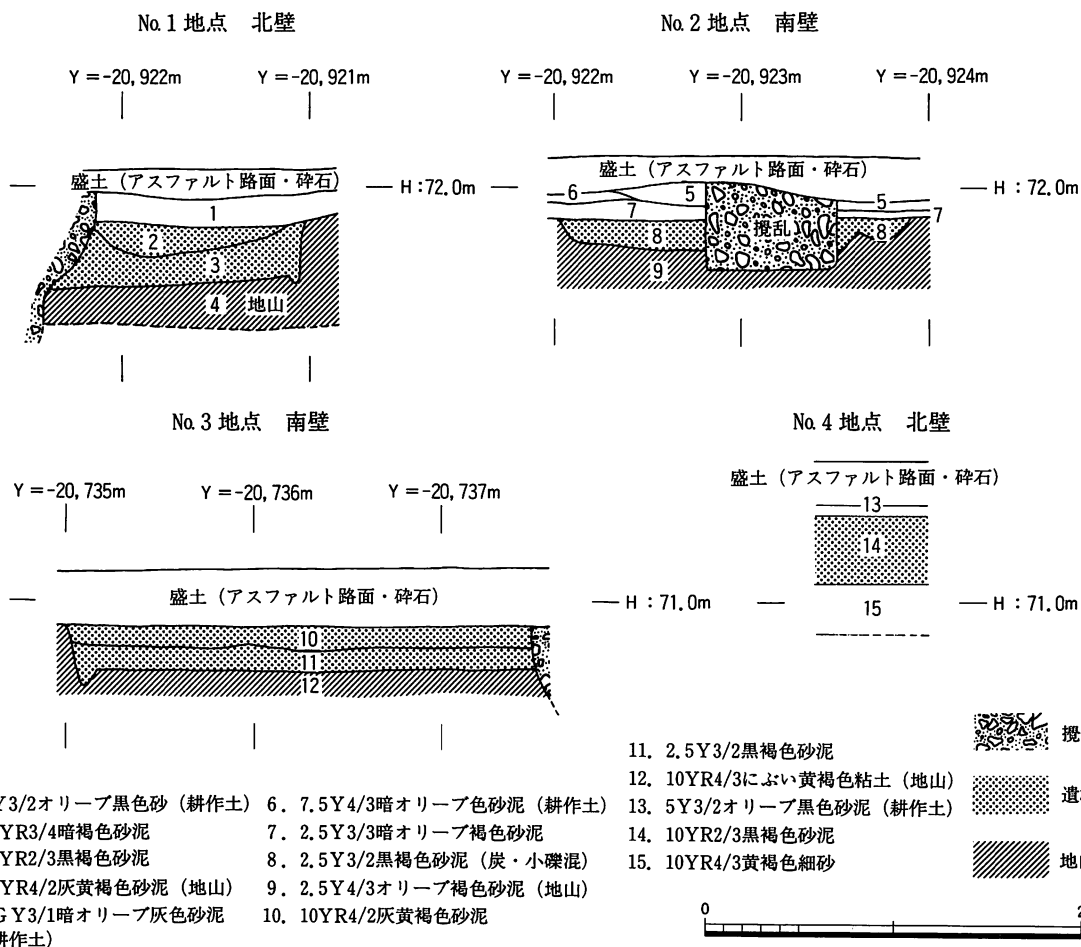
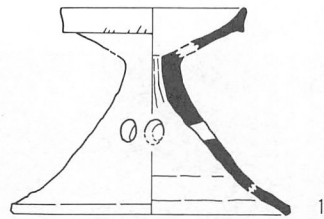


図19 No.1~4地点遺構断面図 (1:40)

ある。全体に著しく磨滅しているため調整等は不明瞭だが、外面は縦方向にヘラミガキ、内面は横ナデ調整がわずかに確認できる。脚部の三方向に2穴一組の透孔がある。



(2) は土師器甕でNo.4 地点から出土した。胎土はやや粗く、直径2mm以下の石粒(石英・長石・チャート・クサレ礫)を多く含み、淡黄色を呈する。焼成は良好で堅緻である。外面のほぼ全面にススが付着している。口縁部外面から頸部クビレにかけては強い横ナデ、クビレ直下は横方向のヘラケズリ、体部上面は横ハケメ、体部下面は縦～斜め方向のハケメ調整を施す。口縁部内面は横ナデ、体部内面は横ケズリである。内面は横方向のヘラケズリを施すが、この調製の後に右下から左上へのナデ上げが一部認められる。形態・胎土から山陰地方からの搬入品とみられる。

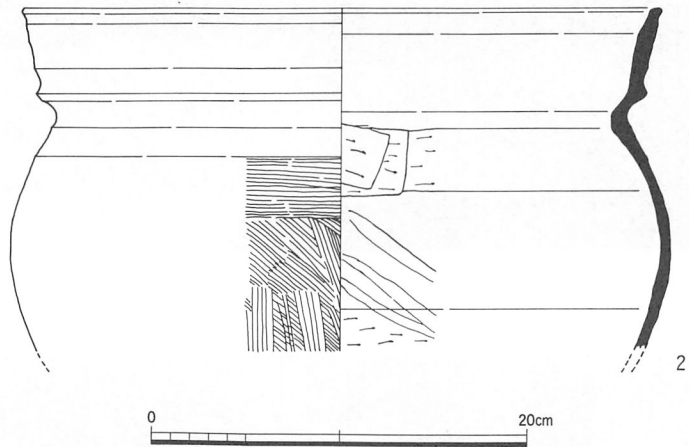


図20 出土遺物実測図(1:4)

面は横ハケメ、体部下面は縦～斜め方向のハケメ調整を施す。口縁部内面は横ナデ、体部内面は横ケズリである。内面は横方向のヘラケズリを施すが、この調製の後に右下から左上へのナデ上げが一部認められる。形態・胎土から山陰地方からの搬入品とみられる。

まとめ

今回の調査では5箇所で古墳時代の竪穴住居の断面と考える遺構を検出した。そのうちの3箇所は、出土遺物の年代から古墳時代前期と考えられる。これらは平成2年度および平成11年度調査で検出された古墳時代の集落の一群とみられ、周辺のさらなる発掘調査が望まれる。

なお、今回の立会調査では工事の進捗と折り合わず、遺構を精査することのできないことが多かった。従って一部の遺構については、柱状実測・略測、写真のみの記録に留まっている。

(堀内寛昭)



図21 土師器小型器台(1)

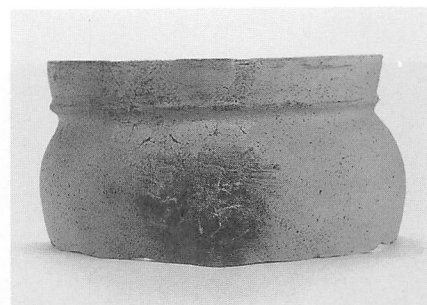


図22 土師器甕(2)

註1 高橋 潔「植物園北遺跡」『平成2年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1994年

註2 吉本健吾・竜子正彦「植物園北遺跡」『京都市内遺跡立会調査概報』平成11年度 京都市文化市民局 2000年



図23 No. 1 地点 竖穴住居 (南から)

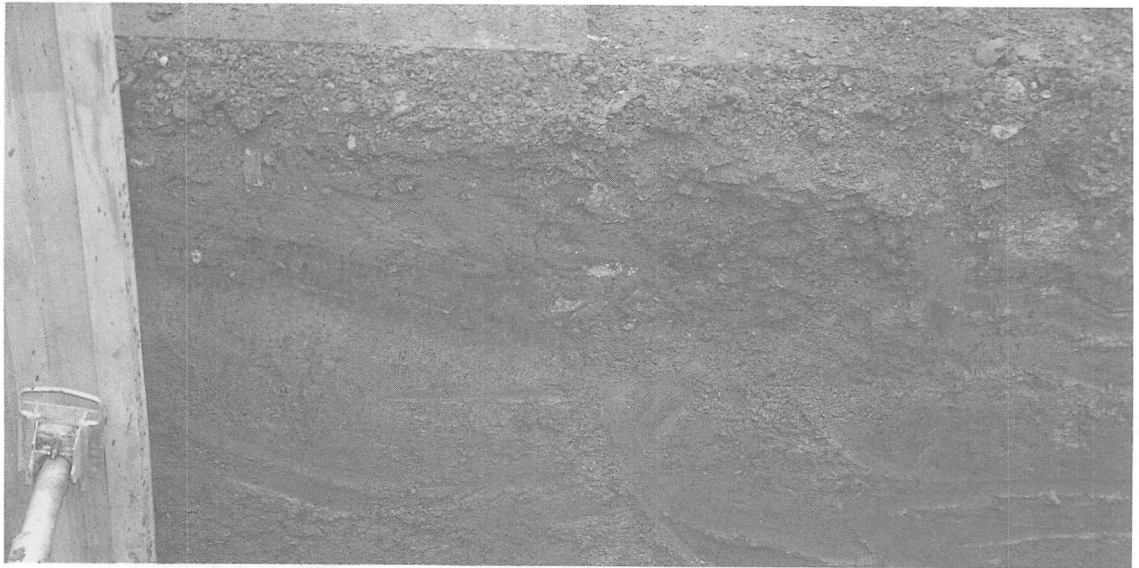


図24 No. 2 地点 竖穴住居 (北から)

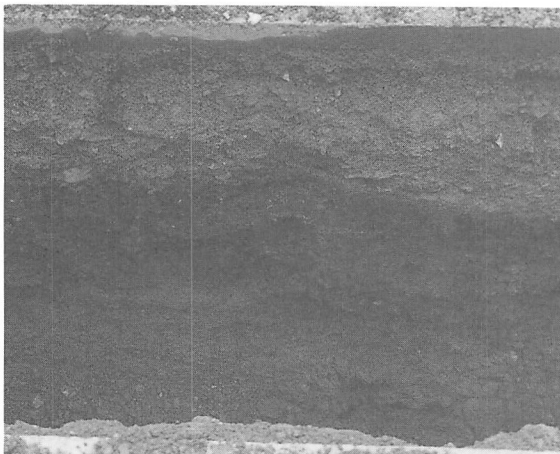


図25 No. 4 地点 遺構断面 (南から)



図26 No. 5 地点 遺構断面 (南から)

2 法住寺殿跡、六波羅政庁跡 (00RT389)

調査経過 (図27)

当地は平成12年に緑地公園整備に伴い試掘調査を実施している。その結果、方広寺大仏殿の礎石根固め跡、花崗岩四半敷、大仏の台座、基壇南側の階段など多くの成果を得て遺構を全面保存した。しかし公園整備に伴いフェンス・擁壁、進入路など、一部掘削を伴う工事が行われることから立会調査を実施した。調査は2001年3月23日に行ったが整地作業など最終的に5月14日に終了している。また、基壇南の階段部分など遺構保護の確認も行った。

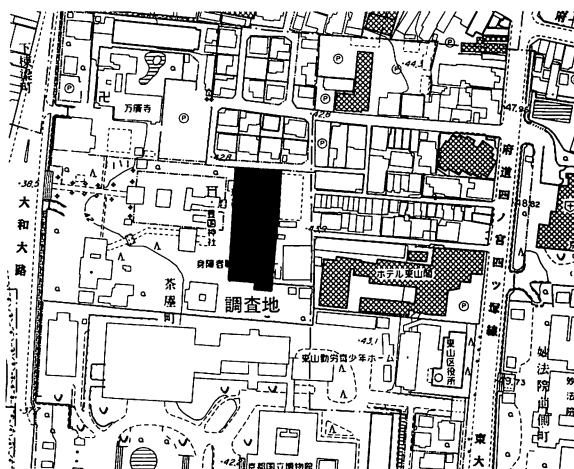


図27 調査位置図 (1 : 5,000)

なお、当調査の報告は平成13年度京都市内立会調査概報において報告するものであったが、石仏類の整理などから、本年度概報で報告する。

遺構 (図28~30)

敷地北側擁壁工事で土壌を2基、断面で確認した。掘削地点の基本層序は現道路側溝のコンクリート直下に、第1層黄色粘土層が0.2mの層厚であり、第2層灰黄色砂泥層が0.24m、第3層暗茶褐色砂泥層が堆積する。1層黄色粘土層は方広寺大仏殿創建に伴う整地層とみられ、2層灰黄色砂泥層からの出土遺物は確認していない。また3層暗茶褐色砂泥層からは土師器皿が出土しており、室町時代の包含層とみられる。地山とみられる層は確認していない。

遺構は第1層黄色粘土層を掘り込んで成立している。ピット1は上面の幅2.8m、深さ0.7m以

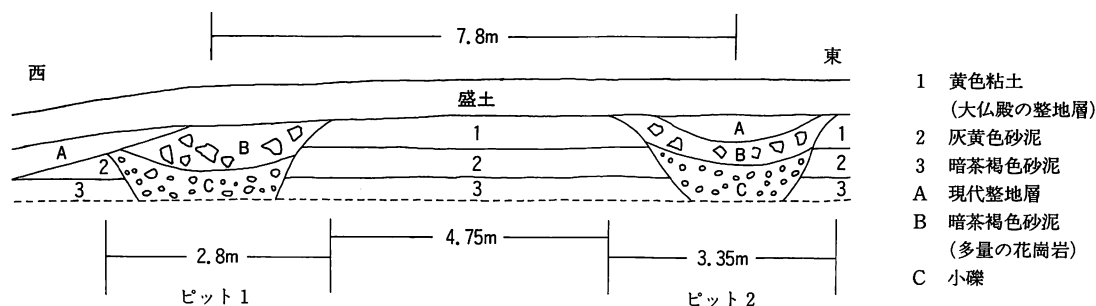


図28 北壁断面略図

上ある。ピット2は上面の幅3.35m、深さ0.7m以上とともに、上層には花崗岩片が多量に含まれ、下層には径5～10cmの玉石が多量に認められた。ピット1とピット2の心々間距離は約7.8mある。これらは試掘調査の成果からみて、方広寺大仏殿の礎石据え付け跡とみられる。

遺物

石製品および第3層暗茶褐色砂泥層から室町時代後期の土師器皿の小片が出土している。石製品は掘削工事に伴い出土したもので、どのような遺構に伴っていたかは不明であるが、断面観察では礎石据え付け跡上層に多量の花崗岩片を包含することからみて、礎石据え付け跡の出土であろう。一石五輪塔・五輪塔などの供養塔婆が73石、石仏が12石、墓石が46石あった。石材は大半が花崗岩で墓石には砂岩もある。

まとめ

礎石据え付け跡は試掘調査の成果から、方広寺大仏殿（桁行11間・梁行7間）の南柱列から9間目、西から4・5間目の柱に比定できる。この柱列は須弥壇の北側一列目に当たり、試掘調査の成果から試みられた方広寺大仏殿復元の資料をより補強する成果を得た。

(菅田 薫)



図29 ピット2（南東から）



図30 南階段保護の状態（南から）

調査一覧表

I 2002年 1～3月期 (平成13年度)

平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
大蔵省	上・七本松通中立売下る東入三軒町71	3/1・4・5・7	-0.6m以下、黄褐色粘土の地山。	HQ374	1
大蔵省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町121-2	3/13・14	-0.35mまで現代盛土。	HQ386	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西俵屋町167-5	1/25・28～31	-0.3mまで現代盛土。	HQ322	1
主殿寮	上・裏門通一条下る今新在家町206-17	2/12・13	-0.36mで褐色砂泥、-0.5mで暗褐色砂礫を検出。	HQ351	1
宴松原	中・聚楽廻西町64-13	3/29、4/1	-0.25mまで現代盛土。	HQ405	1
縫殿寮	上・上長者町通浄福寺西入新柳馬場頭町531	3/22、7/23	巡回時、工事終了。	HQ397	1
左近衛府	上・松屋町通下長者町上る西辰巳町115	3/4	-0.4mまで現代盛土。	HQ376	1
内裏	上・出水通千本東入西神明町346-8	3/12	-0.26m、包含層と考えられる炭混の暗オリーブ褐色砂泥(粘質)を検出。	HQ387	1
右兵衛府	上・下立売通御前東入西東町342-1	1/31	-0.25mまで現代盛土。	HQ333	1
造酒司	中・聚楽廻松下町11-22	3/4	巡回時、工事終了。	HQ377	1
左馬寮・右馬寮	中・御前通、丸太町通～押小路通 地内	01/11/5～02/3/7	No.1 ; -0.8m以下、黄灰色砂礫の地山。No.2 ; -0.95m以下、明黄褐色砂礫の地山。No.3 ; -0.98m以下、灰白色微砂の地山。No.11 ; -0.7m、時期不明の包含層(輸入青磁)。No.12 ; -0.75m以下、黄褐色細砂の地山。No.13 ; -0.55m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。	HQ242	1
典薬寮	中・西ノ京車坂町1-17	3/20	-0.21mまで現代盛土。	HQ395	1
豊楽院	中・聚楽廻西町104-2	1/22・24	-0.3mまで現代盛土。	HQ319	1
豊楽院	中・聚楽廻西町90	2/14～22	No.2 ; +0.27m、厚さ0.32mのやや締まったにぶい黄褐色粘質土層。この層は調査地東端より22mの地点でさがっていく。この層は整地層とみられる。-0.1m以下、小礫粗砂(褐色粘質土混)の地山。No.3 ; -0.05m、平安の暗褐色砂泥の整地層(瓦)。表採で緑釉瓦。	HQ353	1
朝堂院・内舎人・主水司・大膳職	中・聚楽廻東町～上・丸太町通堀川西丸太町 地先	2/21～27	-1.64m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	HQ362	1・2
宮内省	上・竹屋町通千本東入主税町1118-1	2/18・19	-0.2mまで現代盛土。	HQ359	1
御井	中・西ノ京車坂町11	3/6～19	-0.3mまで現代盛土。	HQ378	1
神祇官	上・日暮通丸太町下る四丁目802-28	2/25～27	-0.35m、江戸末期の路面(土師器皿)。	HQ367	1

平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺三坊五町	上・烏丸通一条下る竜前町590、407-1	3/12～8/8	No.1 ; -1.05m、平安後期の包含層(土師器皿、灰釉陶器壺)。No.3 ; -1.22m、室町中期の包含層(土師器皿)。No.4 ; -1.33m、室町後期の包含層(土師器皿、土製鉢)。-1.7m、鎌倉末期～室町初期の包含層(土師器皿、磁石)。No.5 ; -0.99m、桃山の包含層(土師器皿)。	HL383	3
北辺四坊三町	上・京都御苑	2/27	-0.9m、江戸後期の包含層。	HL371	3
北辺四坊五町	上・京都御苑3	2/26	-0.55m、江戸前期の包含層(土師器皿)。-0.68mで褐灰色砂礫層を検出。路面の可能性がある。	HL406	3
一条二坊九町	上・東堀川通上長者町下る二丁目22-9・25	2/15～26	-1.53m以下、褐色砂礫の地山。	HL355	2
一条四坊九町	上・京都御苑3	2/25～3/8	No.1 ; -1.8mまで旧暗渠の埋土。No.2 ; -1.5mまで旧暗渠の埋土。	HL368	3
二条三坊十一町	中・烏丸通夷川上る少将井町227、227-1	2/7・8	-0.38mまで現代盛土。	HL340	3
三条二坊十一町	中・姉小路通堀川東入鍛冶町152他	01/11/15～02/1/7	No.2 ; -1.02m、江戸前期の包含層(土師器皿、肥前系陶器碗)。-1.26m、江戸初期の包含層(土師器皿、肥前系陶器皿)。No.3 ; -0.85m、鎌倉～室町中期の土壇(土師器皿、瓦質火鉢、擋鉢)。	HL266	2

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
三条三坊十一町	中・室町通御池下る円福寺町342-3	1/17~30	平安中~後期の井戸(土師器皿、須恵器甕、焼締陶器甕)。No.4 ; -0.65m、江戸前期の包含層(土師器皿、志野皿・肥前系陶器碗、焼締陶器甕)。-1.0m、室町末期~江戸初期の土壌(土師器皿、瓦質火鉢、焼締陶器甕、灰釉陶器平碗、織部碗)。No.5 ; -1.18m、平安中期の包含層(土師器皿)。	HL316	3
三条三坊十五町	中・御池通東洞院西入仲保利町180他	2/21	-1.25mまで現代盛土。	HL361	3
三条四坊 一町	中・東洞院通押小路上る瓦之町390、間之町通押小路上る鍵屋町481-1・5	2/28~3/6	-0.25mまで現代盛土。 -0.98m、室町中期の包含層(土師器皿)。-1.3m、時期不明の包含層(土師器皿)。	HL372	3
三条四坊 一町	中・高倉通御池上る御所八幡町~高倉通竹屋町下る福屋町 地先	01/11/15~ 02/1/11	No.1 ; -0.17m、江戸後~末期の包含層(肥前系磁器染付皿・盃・青磁碗、美濃瀬戸系碗、丹波搦鉢)。No.5 ; -1.02m、鎌倉前期の包含層(土師器皿)。No.7 ; -1.04m、平安中期の包含層(土師器皿)。	HL269	3
三条四坊 三町	中・東洞院通御池下る笹屋町442	2/6~22	No.2 ; -1.6m、褐色砂泥(礫混)の地山を切つて室町中期の井戸(土師器皿、搦鉢、灰白色無釉陶器、朝鮮半島系陶器壺小片、瓦)。No.3 ; -1.64m、室町中期の包含層を切つて室町後~末期の井戸(土師器皿、肥前系陶器碗、焼締陶器甕)。	HL337	3
三条四坊 十町	中・富小路通押小路下る守山町177-1	3/7・8・12	No.1 ; -2.2m、室町中期の包含層(土師器皿)。No.2 ; -1.37m、室町中期の包含層(土師器皿、瓦器碗)。-1.85m、時期不明の包含層(瓦)。	HL379	3
四条一坊十六町	中・大宮通、御池通~四条通 地内	01/11/12~ 02/2/13	No.6 ; -0.7~1.35mまで湿地状堆積。No.10 ; -1.2m以下、褐色砂泥の地山。	HL258	2・4
四条二坊 四町	下・四条通大宮東入立中町495、497	1/29	-2.65mまで既存基礎。	HL331	4
四条二坊十三町	中・錦小路通油小路東入空也町494、495-1・2	1/28・29	-0.35mまで現代盛土。	HL327	4
四条二坊十四町	中・蛸薬師通油小路東入元本能寺南町 本能小学校	1/10	-1.31mまで現代盛土。	HL312	4
四条三坊 二町	中・六角通新町西入西六角町102-2他	2/21	-0.64mまで現代盛土。	HL360	5
五条三坊 七町	下・仏光寺通新町東入糸屋町224	2/8	巡回時、工事終了。	HL346	5
五条三坊十二町	下・室町通松原上る高辻町600他	3/28・4/8	-4.6mまで現代盛土。	HL401	5
六条一坊十一町	下・中堂寺前田町39-1	3/22~4/1	-0.58m、鎌倉後期の包含層(土師器皿)。-0.82m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	HL396	4
六条三坊十一町	下・諏訪町通五条下る上諏訪町294-2・4・5	2/18・19・22	-1.8m、時期不明の湿地状堆積。-2.2m、時期不明の氾濫堆積。	HL357	5
六条四坊 四町	下・高倉通五条下る二丁目富屋町39他 六条院公園	2/6・8	-1.0m、室町後期(土師器皿)から近世(棧瓦)の遺物を含んだ氾濫堆積を検出。	HL339	5
八条四坊 七町	下・上之町	1/28	-0.6mまで現代盛土。	HL330	7
八条四坊 十町	下・郷之町	1/7	-0.5m、近世の包含層。	HL310	7
九条二坊十一町	南・西九条春日町(一般国道1号線)	01/10/2~ 02/2/28	No.4 ; -0.6m、平安末期~鎌倉の包含層(土師器皿)。油小路西側溝の可能性ある。No.5 ; -0.73m以下、オリーブ灰色砂礫の地山。No.7 ; -0.52m以下、にょい黄褐色粗砂の地山。No.8 ; -0.5m以下、黒褐色砂泥(礫混)の地山。No.14 ; -0.94m以下、褐色砂礫の地山。	HL208	6

平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
一条四坊 四町	右・花園木辻南町1-6	1/11・15・17	-0.97m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	HR315	8
三条一坊 七町	中・西ノ京星ヶ池町12街区12 (41、41-1・3、44-2)	1/25~31	No.1 ; -0.75m以下、にょい黄褐色砂礫の地山。 No.2 ; -1.3m以下、にょい黄色砂礫の地山。	HR323	9
三条一坊十二町	中・西ノ京東月光町1-8	3/19・20・25	No.1 ; -1.06~1.62mまで湿地状堆積3層、-1.46mでは平安前~中期にかけての遺物(土	HR391	9

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
三条一坊十六町	中・御前通押小路通～三条通 地内	3/25～6/21	師器皿・杯、須恵器甕、瓦)を検出。No.2；-1.0～-1.28mまで3層に分かれる湿地状堆積。No.1の湿地とは時期が異なる。 No.8；-0.75m、平安の包含層(平瓦)。No.10；-0.97m、湿地状堆積。No.13；-0.86m以下、黄色粘土の地山。	HR399	9
三条二坊 七町	中・西ノ京原町111-2	3/18～4/5	-0.7mまで現代盛土。	HR388	9
四条四坊 六町	右・山ノ内山ノ下町22 山ノ内小学校	1/28、2/1	-0.4mまで現代盛土。	HR326	10
四条四坊 六町	右・山ノ内山ノ下町24他	2/12・20	-1.36m以下、褐色粘土の地山。	HR349	10
五条一坊 九町	中・壬生高樋町 壬生公園	3/11～14	-0.65m以下、褐色砂礫の地山。	HR381	11
五条三坊 二町	右・西院北矢掛町11-1	3/12～14・18	No.1；-0.75m、平安前期の包含層(土師器皿)。 -0.9m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。No.2； -0.69m、平安前期の整地層(須恵器杯)。この層を切って平安中期のビット(土師器皿)。本文3ページ。	HR385	10
五条四坊 四町	右・西院清水町1の一部	2/7、4/23	-0.9mでオリーブ黒色粘土の湿地状堆積を検出。	HR341	10
六条二坊 三町	下・西七条東御前田町24他、赤社町20-1他	2/18・19	+0.75mまで現代盛土。	HR356	11
六条二坊 五町	下・西土居通、五条通～西高瀬川 地内	3/25～4/10	-0.38m、時期不明の溝状遺構(土製品)。	HR400	11
六条二坊十二町	右・下・西大路通西側、中堂寺通～七条通 地内	01/12/6～ 02/2/27	-0.81mで褐色砂泥を検出。	HR294	11・13
七条三坊 七町	右・下、佐井西通、五条通～七条通 地内	3/18～5/20	-1.4mまで現代盛土。	HR390	10・12
八条二坊 四町	下・梅小路西中町105	2/21	巡回時、工事終了。	HR363	13
八条四坊十六町	右・西京極南方町39	1/24・25・28	-0.45m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。	HR321	12
九条三坊 八町	南・吉祥院西ノ庄淵ノ西町15 西ノ庄公園	2/13	-1.2m以下、氾濫堆積層。	HR352	12

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
植物園北遺跡	左・下鴨水口町39-1の一部、39-2の一部	01/12/18～ 02/2/25	-0.4m、黄灰色粘土質砂泥の耕作土。	RH306	14-1
植物園北遺跡	北・上賀茂豊田町100-1、上賀茂岡本口町100-7 地内	1/31～5/10	-1.9m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。	RH332	14-1
植物園北遺跡	北・上賀茂烏帽子ヶ垣内町34 烏帽子公園	2/8	-1.07m以下、褐色砂泥の地山。	RH345	14-1
北野遺跡・ 北野麁寺	北・北野上白梅町～北野下白梅町 地内	1/7～4/5	-0.49m、室町中期の包含層(土師器皿)。	RH311	16-3
北野遺跡・ 北野麁寺	北・北野下白梅町54-4・9	2/6	-0.37mまで現代盛土。	RH336	16-3
岩倉忠在地遺跡	左・岩倉忠在地町309 洛北中学校	2/4～15	-0.6m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。	RH334	16-1
岩倉忠在地遺跡	左・岩倉忠在地町309 洛北中学校	2/4～15	-0.8m以下、褐色泥砂の地山。	RH335	16-1
岩倉忠在地遺跡	左・岩倉忠在地町 地内 岩倉東公園(予定地)	2/22	-1.62m、古墳前期の包含層(土師器壺・甕・鉢・高杯)。	RH365	16-1

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
御堂ヶ池古墳群	右・梅ヶ畑向ノ地町 地内	3/11～5/9	-0.5m以下、岩盤を検出。	UZ382	14-2
草木町遺跡	右・太秦京ノ道町11-5の一部	3/22	+0.9mで包含層と思われる黒褐色砂泥を検出。	UZ398	15
御所ノ内町遺跡	右・嵯峨野秋街道町1-21	2/21・22	-0.6m、室町中期の包含層(土師器皿)。	UZ364	14-3
多藪町遺跡	右・太秦多藪町14-144 太秦中学校	1/28～2/12	-0.33m、飛鳥の包含層(土師器甕、須恵器蓋)。	UZ325	15

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
法成寺跡	上・広小路通、寺町通～河原町通 地内	1/10・17・18	No.3 ; -0.77mで氾濫堆積層の灰黄褐色砂礫層を検出。No.4 ; -0.66mで氾濫堆積層の黒褐色砂礫を検出。	KS314	16-6
北白川廃寺	左・北白川山田町63-3	3/28	-0.05m以下、灰オリブ色泥砂の地山。	KS403	16-4
北白川追分町	左・北白川西町1-1・7、6	3/20・25	-0.16mまで現代盛土。	KS394	17
縄文遺跡・ 京都大学 北部構内遺跡	左・吉田中阿達町～牛ノ宮町 地先	01/11/27～ 02/3/5	-0.63mで氾濫堆積の砂礫層を検出。	KS282	17
京都大学 西部構内遺跡	左・石原町280-25	3/8・12	-0.5m、近世の包含層。	KS380	17
白河南殿跡	左・聖護院河原町11-24	2/13・14	-0.3mで時期不明の黒褐色砂泥層を検出。	KS350	17
白河北殿跡	左・北門前町484、484-1	1/10・11	-0.75mで漆喰の面を検出。	KS313	17
岡崎遺跡・ 延勝寺跡	左・岡崎天王町62-3	3/28・29	-0.3mまで現代盛土。	KS404	17
岡崎遺跡・ 法勝寺跡					

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
法親寺旧境内	東・下河原通高台寺塔ノ前上金園町390-1	2/27	-0.45m、室町と考えられる龍泉窯青磁を含む泥砂層を検出。-1.17m以下、暗灰黄色微砂の地山。	RT370	18
六波羅政庁跡 隣接地	東・川端通、万寿寺東入西河原町～松原東 入二筋目下西御門町 地先	2/15～3/25	No.6 ; -0.43m、時期不明の路面3。No.7 ; -0.69m、時期不明の路面。	RT354	18
法住寺殿跡	東・南瓦町～今熊野宝蔵町 地内	3/20・22	-1.3mまで現代盛土。	RT393	18
法住寺殿跡・ 六波羅政庁跡	東・茶屋町527	01/11/12～ 02/4/15	近世盛土より方広寺礎石、大仏瓦片、肥前系磁器染付鉢、信楽鉄釉陶器出土。	RT253	18
法住寺殿跡・ 六波羅政庁跡	東・茶屋町527	1/22～3/7	-0.6m、江戸と考えられる整地層を検出。	RT320	18
山科本願寺跡	山・西野阿芸沢町1-7他	2/25	-0.7mまで現代盛土。	RT366	19-1
中臣遺跡	山・勸修寺西栗栖野町他8ヵ町 地内	01/6/18～ 02/5/8	No.6 ; -0.8mで黒褐色粘土を検出。No.7 ; -0.43m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。No.9 ; -0.47m以下、黄褐色粘土の地山。No.15 ; -1.62m以下、オリブ褐色砂泥の地山。	RT087	19-4
中臣遺跡	山・東野舞台町52-6	1/28・31	-0.12mまで現代盛土。	RT329	19-4
中臣遺跡	山・勸修寺東栗栖野町42 勸修小学校	2/7～25	No.1 ; -0.37mで地山を切って時期不明のピット(土師器)。No.2 ; 0m、時期不明の包含層。	RT342	19-4
中臣遺跡	山・栗栖野華ノ木町27-2	3/12	-0.33mで黒褐色砂泥を検出。-0.4m以下、褐色砂泥の地山。	RT384	19-4

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
鳥羽離宮跡	伏・中島御所ノ内町34の一部	2/12・13	-0.17mまで現代盛土。	TB348	20
鳥羽離宮跡	伏・中島秋ノ山町53	2/18	-0.3mまで現代盛土。	TB358	20
鳥羽離宮跡	伏・中島河原田町4-22	3/1	-0.3mまで現代盛土。	TB373	20

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
日野谷寺町遺跡	伏・日野谷寺町78 日野小学校	2/8・12	-0.35mまで現代盛土。	FD344	19-5
伏見城跡	伏・桃山長岡越中南町95 長岡児童公園	1/18	-0.2mまで現代盛土。	FD317	22
伏見城跡	伏・風呂屋町275	1/25・28・29	-1.07m、江戸末期の湿地状堆積。	FD324	22
伏見城跡	伏・桃山水野左近東町19 桃山中学校	1/28～5/10	-1.8m、近世の包含層。	FD328	22
伏見城跡	伏・今町657-2・3、658-1・2、竹中町628-1、633、655	2/6・22・25	-0.32m、江戸後～末期の土壌。	FD338	22
伏見城跡	伏・今町676-15	2/8・12	-0.3mまで現代盛土。	FD343	22
伏見城跡	伏・深草中ノ島町21の一部、22の一部	2/26・27	-0.36m、江戸末期の包含層。	FD369	22
伏見城跡	伏・桃山長岡越中南町55、56-1、62-1	3/28～4/10	-0.15m以下、明褐色砂泥の地山。	FD402	22
向島城跡	伏・向島本丸町7-1	2/12	-0.82m、橙色粗砂の氾濫堆積。	FD347	21-4

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
左京三条三坊十三・十四町、四坊三・四町	伏・久我西出町 地先	3/19・25	-0.8mまで現代盛土。	NG392	24
左京三条三坊十三町	伏・久我西出町12-6他	3/4	-1.38m、中世の包含層 (瓦器)。	NG375	24

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
中久世遺跡	南・久世中久世町三丁目62-2	3/18、5/9	巡回時、工事終了。	MK389	25-4
円山古墳群	西・大原野石作町2804、2806	01/12/17～ 02/4/15	対象地区は流れ堆積と現代盛土。	MK304	26
灰方古墳群	西・大原野灰方町、大原野石作町山地、大原野上羽町	1/22・23	巡回時、工事終了。	MK318	26

II 2002年 4～12月期（平成14年度）

平安宮（HQ）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
大蔵省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町121-5・8・9	6/25・26	-0.18mまで現代盛土。	HQ092	1
大蔵省	上・千本通一条下る西入西中筋町19-101	6/28	-0.2mまで現代盛土。	HQ099	1
大蔵省	上・千本通一条下る西入西中筋町19-101	6/28	-0.3mまで現代盛土。	HQ100	1
大蔵省	上・千本通一条下る西入西中筋町19-101	8/30	-0.4mまで現代盛土。	HQ178	1
主殿寮	上・中立売通日暮東入新白水丸町462-33・102	5/27・28	-0.35m、近世の包含層。	HQ060	1
右近衛府	上・御前通下立売上る三丁目西上之町245-39	7/19	-0.2mまで現代盛土。	HQ128	1
宴松原	上・下長者町通六軒町西入利生町294	6/28	掘削工事を行わず。	HQ097	1
宴松原	上・下長者町通六軒町西入利生町294-161の一部	7/31、8/1	-0.3mまで現代盛土。	HQ144	1
宴松原	上・下長者町通六軒町西入利生町294-161の一部	7/31、8/1	-0.3mまで現代盛土。	HQ145	1
宴松原	上・下長者町通六軒町西入利生町294-161の一部	8/5・21・22	-0.25mまで現代盛土。	HQ152	1
宴松原	上・六軒町通出水下る西入七番町328	10/10	-0.2mまで現代盛土。	HQ220	1
宴松原	上・下長者町通七本松西入鳳瑞町255-51	6/21・25	-0.52mまで現代盛土。	HQ090	1
掃部寮	上・下長者町通六軒町西入利生町294-183	8/9	-0.6mまで現代盛土。	HQ158	1
掃部寮	上・下長者町通六軒町西入利生町294-161の一部	8/21・22	-0.2mまで現代盛土。	HQ171	1
掃部寮	上・下長者町通六軒町西入利生町294-184	8/21・22	-0.2mまで現代盛土。	HQ172	1
縫殿寮	上・下長者町通千本東入二本松町12	8/19～21	-0.43m、江戸末期の包含層。	HQ165	1
左近衛府	上・日暮通出水上る秤口町158	8/7	-0.3m、江戸後～末期の整地層。	HQ157	1
左近衛府	上・下長者町通松屋町西入西辰巳町112、112-6	11/6	-0.5mまで現代盛土。	HQ251	1
内裏	上・下立売通千本東入中務町490-81	7/2・3・15・16	-0.3m、時期不明の整地層。	HQ106	1
内膳司	上・千本通出水下る尼ヶ崎横町354	4/15・18・22	-0.6m、江戸後期の包含層。	HQ011	1
造酒司	中・聚楽廻松下町11-26	11/7・8	No.1；-0.28m、近世の包含層。No.2；-0.23m、近世の包含層。	HQ254	1
内匠寮	上・御前通下立売下る下之町407-11	11/18・19	-0.38m、江戸末期の包含層（土師器皿）。	HQ263	1
内匠寮	中・西ノ京円町～西ノ京西鹿垣町 地先	7/22～26	巡回時、工事終了。	HQ129	1
内匠寮	中・西ノ京左馬寮町20-14	9/27・30	-0.3mまで現代盛土。	HQ206	1
左馬寮	中・西ノ京左馬寮町11-25	7/8	-0.2mまで現代盛土。	HQ111	1
典薬寮	中・西ノ京車坂町1-14	4/4・5	-0.2mまで現代盛土。	HQ004	1
典薬寮	中・西ノ京車坂町4-5・20	6/5・6	-0.1m、平安の整地層2。	HQ075	1
典薬寮	中・聚楽廻松下町2-9・10	10/7・9	-0.25mでにふい黄褐色砂泥の地山を切って、時期不明の土壌。	HQ217	1
典薬寮	中・西ノ京車坂町4-22	12/24	-0.2mまで現代盛土。	HQ295	1
豊楽院	中・聚楽廻西町187	4/8～10	-0.67m以下、現代盛土。	HQ009	1
豊楽院	中・聚楽廻中町59-3	4/24～26	-0.03m、時期不明の包含層。	HQ033	1
豊楽院	中・聚楽廻中町59-3	4/24～30	巡回時、工事終了。	HQ034	1
豊楽院	中・聚楽廻中町59-3	4/5～5/8	巡回時、工事終了。	HQ035	1
豊楽院	中・聚楽廻中町59-3	4/24～26	-0.03m、近代整地層。	HQ036	1
豊楽院	中・聚楽廻中町59-6	6/14	-0.15m、時期不明の包含層。	HQ083	1
豊楽院	中・聚楽廻中町59-6の一部、西町136-4の一部	7/11	掘削工事を行わず。	HQ117	1
豊楽院	中・聚楽廻西町136-10の一部	7/11	-0.35mまで現代盛土。	HQ118	1
豊楽院	中・聚楽廻中町59-10	7/19	-0.25mまで現代盛土。	HQ127	1
豊楽院	中・聚楽廻中町56-4、西町136-10	7/30	-0.2mまで現代盛土。	HQ142	1
豊楽院	中・聚楽廻中町40-19	4/19・22	-0.73mまで現代盛土。	HQ027	1
朝堂院	中・聚楽廻東町14-11	7/17	盛土直下、褐色砂泥層がみられるが、版築の可能性あり。平安前期とみられる黒色土器。	HQ124	1
宮内省	上・智恵光院通竹屋町上る東入主税町1234-1	4/18・19	-0.25m、時期不明の流れ堆積。	HQ023	1
宮内省	上・竹屋町通千本東入主税町1236-1	4/30	巡回時、工事終了。	HQ039	1
治部省	中・西ノ京内畑町11-18	12/19	-0.2mまで現代盛土。	HQ292	1
式部省	中・西ノ京式部町 地先	9/26	-1.18mまで現代盛土。	HQ205	1
式部省隣接地	中・西ノ京小堀町2-32	7/8	-0.36m以下、にふい黄褐色砂礫（泥砂混）の地山。	HQ110	1
兵部省	中・西ノ京内畑町24-7	6/19・21	-0.6m以下、黄褐色砂泥の地山。	HQ089	1

平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺三坊 五町	上・一条通烏丸西入広橋殿町410	10/8~17	No.1 ; -1.11m、室町前期の包含層(土師器Ⅲ)。 -1.3m、鎌倉前期の包含層(土師器Ⅲ、灰釉陶器碗・壺、輸入白磁碗)。No.2 ; -0.96m、江戸中~後期の包含層(土師器Ⅲ、焙烙鍋、土製火鉢、京焼呉須絵碗、炭)。-1.34m、江戸前~中期の包含層(土師器Ⅲ、肥前系磁器染付碗、焙烙鍋、京焼白釉碗、備前筒形鉢、輸入青磁碗)。 -1.46m、江戸前期の包含層(土師器Ⅲ、肥前系青磁碗、灰釉陶器碗)。	HL219	3
北辺四坊 七町	上・京都御苑3 饗宴場跡地	6/14	-0.8mまで現代盛土。	HL084	3
一条三坊 五町	上・下立売通衣棚東入東立売町~下立売通烏丸西入五町目町 地先	10/29~1/22	-0.98m、室町中期の包含層(土師器Ⅲ、東播系須恵器捏鉢)。	HL239	3
一条三坊 六町	上・室町通下立売上る勘解由小路町147、149-1、出水通室町西入西出水町109	4/23~25	-1.25m、江戸中期の包含層(土師器Ⅲ)。	HL032	3
一条四坊 九町	上・京都御苑	11/28~12/3	No.2 ; -0.52m、江戸中期の火災層(土師器Ⅲ)。 -0.59m、時期不明の路面。-0.7m、時期不明の火災層。-0.88m、江戸前期の包含層。-1.22m、室町末期の包含層(土師器Ⅲ、瓦器風炉)。 -0.3m、近世の包含層。	HL273	3
二条二坊 一町	上・猪熊通丸太町上る木屋之町488-1	10/25・28		HL235	2
二条二坊 十町	中・押堀町他	7/11~11/21	No.8 ; -0.3m、路面。No.11 ; -0.55m、路面。No.12 ; -0.25m、路面。-1.2m、江戸前期の包含層(土師器Ⅲ、肥前系陶器鉢)。No.15 ; -0.8m、室町後期の包含層(土師器Ⅲ、東海系須恵質鉢)。 No.16 ; -0.7m、室町後期の包含層(土師器Ⅲ、平瓦)。No.19 ; -0.94m、江戸後期の包含層(京焼系碗、硯)。	HL116	2
二条二坊十六町	上・西洞院通丸太町上る夷川町392-1、中・丸太町通油小路東入横鍛冶町115	4/9~12・16	No.1 ; -1.36m、室町末期の包含層(土師器Ⅲ)。 No.3 ; -1.38m、江戸初期の包含層(土師器Ⅲ、肥前系陶器Ⅲ、瓦器寸胴形手焙、瓦器四方形火鉢、焙烙鍋、炭塊、瓦)。	HL010	2
二条三坊 五町	中・室町通二条上る冷泉町58	7/1・2・4・9	-2.15m、鎌倉初期の包含層(土師器Ⅲ)。-2.8m以下、暗褐色粘土質砂泥の地山。	HL101	3
二条三坊十六町	上・京都御苑3	6/3~6	-0.91~1.25m、江戸後~末期の整地層5。	HL073	3
二条四坊 十町	中・富小路通丸太町下る枹屋町1	4/15、5/22~24	No.3 ; -1.26m、平安後期の包含層(土師器Ⅲ、尾張瓦)。No.4 ; -2.03m、江戸初期の包含層(土師器Ⅲ、肥前系陶器碗、瓦器鍋、焙烙鍋)。	HL020	3
二条四坊十二町	中・夷川通富小路西入俵屋町296、296-1、297、富小路通二条上る鍛冶屋町368-1・3	6/12~21	No.2 ; -2.26m、江戸前期の包含層(土師器Ⅲ)。 No.3 ; -2.3m、江戸初期の包含層(土師器Ⅲ、播鉢、輸入白磁)。No.4 ; -2.58m、弥生後期の壺を含む流路。No.5 ; -2.2m、室町前期の土壌(土師器Ⅲ、須恵質陶器)。	HL080	3
二条四坊十四町	中・麩屋町通夷川上る笹屋町467	12/10~12	No.1 ; -1.18m、室町前期の包含層(土師器Ⅲ)を切って室町中期の土壌(土師器Ⅲ)。No.2 ; -0.9m、室町前期の包含層(土師器Ⅲ)。	HL284	3
三条二坊 九町	中・東堀川通、二条通~御池通 地内	4/10~5/15	No.3 ; -0.52~0.72mまで江戸後~末期の路面。 No.4 ; -0.15~0.86mまで6面に重層した路面。 No.5 ; -0.4m、江戸末期の路面。	HL012	2
三条二坊 九町	中・二条通堀川東入矢幡町~油小路通押小路下る押油小路町 地先	5/9~6/12	No.2 ; -0.96m、室町末期の包含層(土師器Ⅲ)。 No.3 ; -0.62m、平安中期の包含層(土師器Ⅲ)。 No.4 ; -0.59m、平安後期の包含層(土師器Ⅲ、平瓦)。-1.02m、平安中期の包含層(土師器Ⅲ)。 No.6 ; -0.75m、平安後期の包含層(土師器Ⅲ、緑釉陶器)。No.9 ; -0.39m、室町の包含層(土師器Ⅲ)。No.12 ; -0.97m、平安中期の包含層(土師器Ⅲ・盤脚部、平瓦)。No.15 ; -1.0m、平安後期の包含層(土師器Ⅲ)。	HL047	2

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
三条二坊 九町	中・東堀川通丸太町東入丸太町～東堀川通御池上る押堀町 地先	6/3～7/24	№1；-0.3m、江戸末期の瓦溜大土壌（肥前系磁器染付碗・皿・仏飯器、土瓶蓋、瀬戸系鉄釉蓋、京焼碗）。№10；-0.93m、室町の包含層（土師器皿・甕）。№13；-0.5m、室町の路面（土師器皿、瓦）。№18；-0.65m、室町の包含層（土師器皿）。№19；-0.48m、室町の包含層（土師器皿、瓦）。	HL071	2
三条二坊 十町	中・御池通小川西入石橋町他	4/4～9/3	№2；-0.67m、室町中期の包含層（土師器皿）。-0.98m、室町前期の包含層（土師器皿）。№7；-1.03m、室町の包含層（土師器皿）。-1.17m、鎌倉の包含層（土師器皿）。	HL005	2
三条二坊十二町	中・東堀川通三条上る姉東堀川町76	7/29～8/20	-0.48m、室町前期の包含層（土師器皿）。-0.88m、時期不明の流れ堆積。	HL139	2
三条二坊十二町	中・堀川通姉小路下る姉東堀川町81-1・6	10/28～11/5	-1.0m、平安の包含層（土師器皿、灰釉陶器壺）。-1.2m、縄文中期の甕を含む流れ堆積。	HL237	2
三条二坊十五町	中・御池通西洞院押西洞院町590-5	9/10～13	№1；-0.75m、江戸前～中期の包含層（土師器皿、つぼつぼ、天目碗）。№2；-2.1m、室町～桃山の包含層（輸入青磁碗）。	HL186	2
三条三坊 四町	中・釜座通姉小路下る突抜町801-3他	4/15～24	-1.18m、鎌倉初期の包含層（土師器皿、須恵質焼締陶器甕、輸入玉縁白磁碗）。-1.52m、平安中期の包含層（土師器皿）。	HL018	3
三条三坊 四町	中・三条通新町西入釜座町28	5/30～6/12	№1；-1.4m、室町中～後期の包含層（土師器皿）。-1.7m、鎌倉後期の包含層（土師器皿、土師質鉢）。№2；-1.28m、室町の包含層（輸入白磁碗、平瓦）。-1.53m、室町の土壌（土師器皿）。	HL069	3
三条三坊 五町	中・新町通姉小路下る町頭町98他	8/9～19	№1；-1.75m、平安末期の包含層（土師器皿、瓦器皿）。-2.1m、平安中～後期の包含層（土師器皿）。-2.25m、平安中期の包含層（土師器皿、平瓦）。№2；-2.0m、鎌倉末期の包含層（土師器皿）。№3；-0.5m、鎌倉初期の包含層（土師器皿、東播系須恵器鉢）。-1.2m、平安末期の包含層（土師器皿、瓦器皿、東播系須恵器鉢）。-1.9m、平安末期のビット（土師器皿、輸入青磁耳付広口壺）。-1.9m、平安後期の包含層（土師器皿、平瓦）。	HL159	3
三条三坊十一町	中・両替町通姉小路上る龍池町425	5/1～13	№1；-1.18m、室町後期の包含層（土師器皿、天目碗、輸入青磁）。№2；-1.10m、室町前期の包含層（土師器皿、瓦器火鉢、輸入青磁）。№3；-2.05m、鎌倉末期の包含層（土師器皿）。№4；-2.0m、室町中期の包含層（土師器皿）。№5；-2.45m、桃山の包含層（土師器皿、天目碗）。-2.65m、平安の包含層（灰釉陶器壺、砥石）。	HL040	3
三条四坊 三町	中・間之町通御池下る綿屋町536、538-1他	11/5	-1.13mまで現代盛土。	HL242	3
三条四坊 九町	中・富小路通二条下る俵屋町182-1他	4/22～5/2	-1.55m、江戸中～後期の包含層。	HL028	3
三条四坊 十町	中・御池通富小路西入東八幡町585	7/9・16	-3.2mまで既存基礎。	HL114	3
三条四坊十三町	中・寺町通三条上る天性寺前町540	5/27・28	№1；-1.2m、桃山の包含層（土師器皿）。№2；-0.96m、桃山の包含層（土師器皿）。	HL059	3
四条二坊 五町	中・錦堀川町 地内	9/10～10/11	-1.46mまで現代盛土。	HL185	4
四条二坊 八町	中・三条通堀川西入橋西町687	10/21～11/5	№1；-0.9m、平安後～末期の包含層（土師器皿・高杯、須恵器甕・捏鉢、瓦）。№2；-1.1m、鎌倉後期の包含層（土師器皿、須恵器甕、緑釉陶器碗、灰釉陶器、輸入青磁皿・白磁鉢）。	HL229	4
四条二坊十二町	中・錦堀川町他 地内	7/2～24	№2；-0.68m、鎌倉の包含層（輸入白磁碗）。-0.76m、平安末期の包含層（土師器皿）。-1.27m以下、暗褐色粘土の地山。№4；-1.27m、江戸前期の湿地状堆積（肥前系磁器染付碗、輸入青磁皿）。	HL105	4

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
四条二坊十四町	中・蛸薬師通油小路東入元本能寺南町	5/7~6/5	No.1 ; -1.53m、室町中期の包含層 (土師器皿)。 No.2 ; -1.08m、鎌倉前期の湿地状堆積 (土師器皿)。-1.5m、平安後期の包含層 (土師器皿)。 No.3 ; -1.6m、時期不明の包含層 (平瓦、鉄滓)。 No.5 ; -1.05m、江戸前期の包含層 (土師器皿、焼締陶器甕、輸入白磁皿)。-1.45m、平安後期の包含層 (土師器皿)。-1.65m、平安前~中期の包含層 (平瓦)。	HL044	4
四条三坊 七町	中・六角通室町西入玉蔵町119-1	12/17・18・20	-0.35m、江戸末期の包含層。	HL289	5
四条三坊 八町	中・室町通六角西入玉蔵町129-3	9/9~11	No.1 ; -1.1m、平安後期の包含層 (土師器皿、須恵器)。-1.5m以下、オリーブ色砂泥の地山。 No.2 ; -0.67m、室町後期の包含層 (土師器皿、灰釉陶器鉢、焼締陶器甕)。-0.76m、室町中期の包含層 (土師器皿、焼締陶器甕、輸入白磁碗、土製品)。-1.0m、平安末期の包含層 (土師器皿)。 -1.04m、平安後期の遺物 (土師器皿、瓦) を含む柱穴。断面を掘り進めると直径0.39mの柱当たりを検出。	HL184	5
四条三坊 十町	中・六角通烏丸西入骨屋町144、146、148	7/1~8/7	No.1 ; -2.1m、室町の包含層 (土師器皿)。No.2 ; -1.95m、室町の包含層 (土師器皿)。	HL093	5
四条三坊十一町	中・室町通蛸薬師下る山伏山町546-1	4/15~26	No.1 ; -0.88m、室町末期の土壌 (土師器皿)。 -0.94m、この土壌に切られて室町後期の土壌 (土師器皿、焼締陶器甕)。No.2 ; -1.57m、室町前期の包含層 (土師器皿、焼締陶器甕)。No.3 ; -1.6m、室町後期の井戸 (土師器皿、瓦器鍋)。	HL017	5
四条四坊 三町	中・蛸薬師通東洞院東入泉正寺町318	12/9~12	No.1 ; -1.9m、江戸前期の包含層 (土師器皿、肥前系磁器染付碗、総織部碗、青花)。-2.34m、桃山~江戸初期の包含層 (土師器皿、志野碗)。 No.2 ; -0.8m、室町前期の土壌 (土師器皿)。	HL282	5
四条四坊 四町	中・錦小路通東洞院東入西魚屋町599	5/29・30、6/4	-1.9m、室町前期の包含層 (土師器皿)。	HL065	5
四条四坊 五町	中・堺町通四条上る八百屋町544	11/19	-1.3m、近世の包含層。	HL266	5
四条四坊 五町	中・高倉通錦小路下る帯屋町587-1、589	7/9・11・12	No.1 ; -0.83m、時期不明の流れ堆積。No.2 ; -0.9m、時期不明の流れ堆積。	HL113	5
四条四坊 六町	中・柳馬場通蛸薬師下る十文字町456	4/23~25	+0.1m、江戸前期の包含層 (土師器皿、総織部碗)。 -0.1m、室町末期の土壌 (土師器皿)。 -0.28m、室町中期の土壌 (土師器皿)。土師器は重なり合った状態であることから祭祀遺構の可能性。 -0.15m、室町中期の土壌 (土師器皿)。 この3基の土壌に切られて室町前期の包含層 (土師器皿)。	HL029	5
四条四坊 六町	中・蛸薬師通高倉東入雁金町362、高倉通錦小路上る貝屋町557	6/14~7/8	No.1 ; -2.44m、時期不明の流れ堆積。No.2 ; -2.3m、江戸後期の包含層。	HL085	5
四条四坊 六町	中・堺町通蛸薬師下る菊屋町514	8/12~9/19	No.1 ; -2.2m、古墳前期の包含層 (土師器甕)。 No.2 ; -1.45m、鎌倉中期の包含層 (土師器皿、東播系須恵器捏鉢)。	HL162	5
四条四坊 七町	中・堺町通六角下る甲屋町385	5/29~7/30	No.1 ; -1.56m、室町中期の包含層 (土師器皿)。 No.4 ; -1.71m、室町中期の包含層 (土師器皿、常滑甕)。 -2.13m、平安の包含層 (須恵器鉢)。 No.5 ; -2.16m、時期不明の石積井戸 (土師器)。 北側の石は幅20~30cm、高さ10~15cmの平らな石で8段確認。 No.6 ; -1.07m、江戸前期の土壌 (瀬戸美濃系白釉碗、天目碗)。 この土壌に切られて江戸初期の土壌 (土師器皿、青花、肥前系陶器鉢・碗、丹波甕)。 No.7 ; -0.23m、鎌倉末~室町の包含層 (土師器皿、瓦器鍋、常滑甕) を切って室町中期の土壌 (土師器皿、常滑甕)。	HL064	5

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
四条四坊 八町	中・六角通高倉東入堀之上町116、118	10/17～28	-1.6m、室町中期の土壌（土師器皿、輸入白磁皿）。	HL226	5
四条四坊 十町	中・蛸薬師通富小路西入油屋町128	12/13～18	-2.05m、桃山の包含層（土師器皿、瀬戸系鉄釉輪花皿）。	HL288	5
四条四坊十五町	中・寺町通六角下る式部町255	6/14・17・18	-0.95mまで現代盛土。	HL082	5
四条四坊十五町	中・寺町通六角下る式部町251、252、253	7/26・29	-1.4mまで現代盛土。	HL137	5
五条二坊 二町	下・黒門通綾小路下る塩屋町189	11/1・5	巡回時、工事終了。	HL241	4
五条二坊 八町	下・岩上通四条下る佐竹町398	11/11～14	No.1；-1.23m、室町後期の包含層（土師器皿）。 No.2；-1.83m、室町前期の包含層（土師器皿）。	HL257	4
五条二坊十一町	下・仏光寺通堀川東入要法寺町～ 仏光寺通油小路西入風早町 地先	5/21～6/10	-1.2mまで現代盛土。	HL057	4
五条二坊十六町	下・綾小路通油小路東入芦刈山町122-1	9/20～10/7	No.1；-0.8m、室町前期の包含層（土師器皿）。 -1.3m、鎌倉前期の包含層（土師器皿）。No.3； -0.6m、鎌倉前期の包含層（土師器皿、瓦器火鉢）。 -1.14m、平安末期の包含層（土師器皿）。 -1.25m、平安後期の包含層（土師器皿・甕、 輸入白磁碗）。No.4；-0.75m、江戸後～末期の 包含層（丹波甕、瓦）。-1.15m、室町中期の包 含層（土師器皿）。-1.5m、鎌倉前期の包含層 （土師器皿、須恵器鉢、東播系須恵器捏鉢、瓦 器火鉢、窯体片、炭）。	HL201	4
五条三坊 二町	下・仏光寺通西洞院東入菅大臣町178	9/30～10/7	-0.63m以下、灰オリープ色粘土の地山。	HL208	5
五条三坊 五町	下・室町通松原上る高辻町591	11/21・22・25	No.1；-2.03m、平安末期の包含層（土師器皿、 須恵器不明品、瓦器碗）。-2.23m、平安後期の 包含層（土師器皿・羽釜、須恵器杯・鉢）。-2.37 m、平安中期の包含層（土師器皿・高杯、黒色 土器碗、平瓦）。No.2；-2.25m、室町の包含層 （土師器皿）を切って室町中期の落込（土師器 皿、須恵器甕、焼締陶器甕、輸入白磁、有孔罎）	HL268	5
五条三坊十三町	下・東洞院通高辻下る燈籠町585、586	12/11～18	No.2；-1.2m、桃山の包含層（土師器皿、焙烙 鍋）。-1.4m、室町中～後期の包含層（土師器 皿・甕、瀬戸系無釉陶器鉢）。No.3；-0.96m、 室町末期の包含層（土師器皿）。	HL286	5
五条四坊 十町	下・富小路通綾小路下る塗師屋町98	9/18～10/15	-1.25m、室町後期の包含層（土師器皿）。-1.65 m、室町前期の包含層（土師器皿、常滑甕）。-1.95 m、鎌倉後期の包含層（土師器皿）。	HL195	5
五条四坊十四町	下・御幸町通仏光寺下る橋町434	10/22・23	-1.0m、江戸初期の包含層（土師器皿、焼塩壺）。	HL232	5
六条一坊 十町	下・中堂寺櫛笥町19、19-3	5/29・31	-1.23m以下、灰オリープ色砂礫の地山。	HL066	4
六条二坊 二町	下・大宮通松原下る西門前町421の一部、 422の一部	6/10・11	-0.5mまで現代盛土。	HL079	4
六条二坊 九町	下・松原通油小路西入橋町46-1の一部、 油小路通松原下る樋口町316	10/15	-0.43mまで現代盛土。	HL225	4
六条二坊十五町	下・五条通西洞院西入平屋町414	9/20・24・25	-1.43m、厚さ1.0mの池状堆積。上層で室町末 期の遺物（土師器皿、灰釉陶器大鉢、瓦器甕） が出土。	HL200	4
六条三坊 十町	下・万寿寺通烏丸西入御供石町360-1	6/10～12	-1.6m、黒褐色砂泥、-2.05m、灰黄褐色粗砂 層を検出。池か沼の堆積と考えられる。	HL078	5
六条三坊十二町	下・室町通五条下る2丁目堺町235、235-1	10/29～11/7	-0.85m、江戸末期の包含層。	HL238	5
六条四坊 二町	下・高倉通五条上る亀屋町181	8/2～12	No.2；-1.2m、江戸中期の包含層（肥前系磁器 染付碗、京焼系火入、土製品）。	HL150	5
六条四坊 三町	下・間之町通五条下る大津町9、11、23、 福島町523	9/11～13	-1.75m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	HL190	5
六条四坊 十町	下・富小路五条上る本神明町426-2	9/18～20・24	No.1；江戸前期の土壌（土師器皿、肥前系陶器 大皿・鉢、志野向付、瀬戸系鉄釉鉢）。No.2；-1.4 m、時期不明の流れ堆積。	HL194	5
六条四坊十三町	下・五条通寺町西入御影堂町8、10、 西高瀬川筋五条下る平居町38、39	8/23・30、9/4	-1.8m以下、褐色砂礫の地山。	HL173	5
六条四坊十四町	下・五条通河原町西入本覚寺前町814-1、 816、818-1	8/19～22	-0.8m、江戸末期の土壌。	HL167	5

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
七条一坊 一町	下・西新屋敷下之町～西新屋敷揚屋町 地先	4/26～5/13	-0.5m、時期不明の包含層（須恵質陶器）。	HL038	6
七条一坊十三町	下・大官通七条上ノ御器屋町43	5/28	-0.8mまで現代盛土。	HL063	6
七条四坊 九町	下・西木屋町通上ノ口上ノ梅湊町88	10/18・22	-0.64mまで現代盛土。	HL227	7
八条二坊十二町	南・西九条寺ノ前町15-3	10/15～11/6	-3.0mまで現代盛土。	HL222	6
八条三坊 一町	下・七条通新町西入夷之町690、691	9/25～10/7	-0.9m、室町末期の包含層（土師器皿・羽釜、天目椀）。	HL204	7
八条四坊 五町	下・西之町161	8/29	-1.4m、近世の流れ堆積。	HL176	7
八条四坊 七町	下・上之町	4/16	-0.7m、江戸末期の包含層。	HL022	7
八条四坊 七町	下・上之町16-7・8	7/26～8/2	-0.42m、時期不明の流れ堆積。	HL136	7
八条四坊 八町	下・小稻荷町28	7/4・5・9	-1.15m、江戸末期の包含層。	HL107	7
八条四坊十一町	下・東七条上之町15～西之町197	9/19～10/18	-1.25m、時期不明の流れ堆積。	HL199	7
九条二坊十三町	南・西九条蔵王町～西九条春日町 地先 (一般国道1号)	11/11～12/2	-0.64m、鎌倉前期の包含層（土師器皿）。	HL256	6
九条三坊 九町	南・東九条上殿田町50-2、51、52	4/23・26	-0.3m以下、褐色砂礫の地山。	HL031	7
九条三坊 九町	南・東九条上殿田町48	12/4～6・9	-0.5m、室町初期の包含層（土師器皿）。-0.6m、鎌倉末期の包含層（土師器皿）。	HL278	7

平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺二坊 五町	北・北野下白梅町51-2	5/2～14	-0.03m、平安前期の包含層（土師器皿・甕、黒色土器椀）。	HR042	9
一条二坊十三町	中・西ノ京西円町 地先	8/19～9/9	-0.8m、褐色砂礫（粘土混）の地山。	HR166	9
一条四坊十四町	右・花園伊町5-1・2、6-1・2	8/6・8	-0.4mまで現代盛土。	HR155	8
二条二坊 十町	中・西ノ京上合町21	11/5	-0.8mまで現代盛土。	HR243	9
二条二坊十六町	中・西ノ京円町他 地内	4/4・10・15・18	-0.86m、平安後～末期の湿地状の落込（土師器皿・甕、須恵器甕）。	HR006	9
二条三坊十二町	中・西ノ京小堀池町18-7他	9/3・4・9・19	-1.05m以下、灰オリーブ色砂泥の地山。	HR182	8
三条一坊 十町	中・西ノ京永本町14-6・10・22・23	6/18・19・21	-0.7m以下、褐色砂礫の地山。	HR088	9
三条二坊十一町	中・西ノ京下合町40	10/2～4・7	-1.27m、時期不明の湿地状堆積。	HR211	9
三条四坊 一町	右・太秦安井水戸田町13	6/26	掘削工事を行わず。	HR094	8
四条一坊 六町	中・壬生花井町3	5/8	-0.3mまで現代盛土。	HR046	11
四条二坊十二町	中・四条通西土居通上ノ壬生淵田町1-4	7/29・30	-0.38～-1.47mまで流れ堆積。-1.47m以下、に ふい黄褐色粘土の地山。	HR140	11
四条四坊 五町	右・西院四条畑町30-10、50-2、54	4/19～6/4	-2.0m以下、黄褐色砂泥の地山。	HR026	10
四条四坊 九町	右・山ノ内西裏町15-114 (C棟)	11/5	-0.3mまで現代盛土。	HR247	10
四条四坊 九町	右・山ノ内西裏町15-114 (B棟)	11/5	-0.3m、旧耕作土。	HR248	10
四条四坊十三町	右・西院笠目町6	7/26・29	-0.6mまで現代盛土。	HR135	10
四条四坊十五町	右・山ノ内西裏町～山ノ内池尻町 地内	7/24～9/27	-1.4m、時期不明の湿地状堆積（須恵器）。	HR131	10
五条二坊 十町	右・西院三蔵町7	6/3～7・10	-0.5m、平安前期の湿地状堆積（土師器甕、須 恵器甕、緑釉陶器椀、灰釉陶器椀）。	HR072	11
五条二坊十五町	右・西院北矢掛町39-1・13	11/18～26	No.1；-0.43m、室町中期の包含層（土師器皿、 瓦器火鉢）。-0.48m、室町前期の包含層（土師 器皿）。-0.53m、鎌倉末期の包含層（土師器皿）。 No.2；-0.54m、平安中期の湿地状堆積（土師 器皿）。-0.92m、平安前期の湿地状堆積（土師 器皿・杯、瓦）。	HR265	11
五条四坊十五町	右・西院東貝川町57-1	4/5・8	-0.48m以下、褐色泥砂（礫混）の地山。	HR008	10
五条四坊十五町	右・西院東貝川町60-1、61-1	12/3～5	-0.58m以下、黄褐色砂泥の地山。	HR277	10
六条一坊 六町	下・五条通南側、七本松通東入る～千本通 地内	10/7～12/12	-1.1m以下、オリーブ色砂泥の地山。	HR215	11
六条一坊十四町	下・五条通南側、西高瀬川～ 七本松通東入る 地内	10/7～11/8	-0.7mで褐色砂泥の地山を切って暗オリーブ灰 色泥土の時期不明の落込。	HR216	11
六条二坊 七町	中・壬生高田町4-8	10/8～16	-0.8m以下、オリーブ褐色及び灰褐色粘土の地 山。	HR218	11
六条三坊十二町	右・西院西溝崎町29-4	11/28～12/3	-0.7m、室町中期の包含層（土師器皿）。	HR272	10
六条四坊 九町	右・西院月双町72、77-1	8/5・6	-1.1m、時期不明の耕作土。	HR151	10

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
七条一坊 五町	下・朱雀分木町～朱雀北ノ口町 地内	9/18～10/16	№5；-0.52m、鎌倉末期の包含層（土師器皿）を切って室町前期の落込（土師器皿、瓦器椀）。№10；-0.52m、平安中期の落込（土師器皿、平瓦・丸瓦、軒平瓦）。№11；-0.49m、平安の包含層（平瓦）。本文6ページ。	HR197	13
七条二坊 二町	下・御前通、五条通～七条通 地内	4/3～8/13	№2；-0.32m、江戸後期の土壌（肥前系磁器染付皿）。№3；-0.27m、時期不明の溝状遺構。西大宮大路の西側溝と考えられる。№8；-0.58m、江戸末期の包含層（土師器皿）。№11；-0.83m、室町前期の包含層（土師器皿）。	HR003	11・13
七条三坊 五町	右・七条通、葛野大路通～佐井西通 地内	9/11～12/2	-1.17～-1.4m、時期不明の湿地状堆積。	HR191	12
七条四坊十五町	右・西京極西池田町 地内	9/18～30	№1；-0.42m以下、褐色粘土の地山。№2；-0.3m以下、褐色粘土の地山。№4；-1.03mと№5；-1.08mで湿地状堆積の暗オリーブ灰色泥土。№6；-1.57m以下、灰オリーブ色砂礫の地山。	HR196	12
八条一坊 七町	下・西七条東久保町55-3	7/15	№1；-1.0m、褐色砂礫の流れ堆積。	HR123	13
八条二坊 九町	下・西七条南衣田町93	9/10	-0.35m、時期不明の旧耕作土。	HR188	13
八条二坊十五町	下・七条御所ノ内北町 地先	8/1～9/18	№1；-0.27m、江戸前期の包含層（肥前系陶器皿）。№3；-0.66m、室町の包含層（土師器皿）。-0.74m、時期不明の湿地状堆積。№4；-0.36m、古墳前期の包含層（土師器甕）。	HR148	13
八条三坊 十町	右・西京極下沢町～西京極佃田町 地先	10/2～29	-0.5m、旧耕作土。	HR212	12
八条四坊 十町	右・西京極南方町	8/30	№1；-0.77m以下、暗灰黄色砂礫の地山。№2；-0.83m、暗灰黄色細砂（礫混）の流れ堆積。	HR179	12
八条四坊十六町	右・西京極南方町10	7/18・22	-0.54m、近世の包含層（土師器皿、瓦）。	HR125	12
九条一坊 四町	南・九条通北側、唐橋羅城門町～唐橋高田 地内	7/29・30	掘削工事を行わず。	HR138	13
九条二坊十二町	南・唐橋西平垣町16	10/15	-0.52m、旧耕作土。	HR224	13
九条三坊 一町	南・吉祥院西ノ庄東屋敷町70-2、71	5/13・14	-1.1m以下、灰オリーブ色砂泥の地山。	HR049	12
九条四坊 六町	南・吉祥院中河原里西町 地先	6/28～7/15	-1.1mまで現代盛土。	HR096	12

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
植物園北遺跡	左・下鴨水口町 地先	5/13～6/7	-0.29mで灰黄褐色砂泥の地山を切って、古墳前期の竪穴住居（土師器小型器台）。西側に壁溝が認められる。本文9ページ。	RH051	14-1
植物園北遺跡	左・下鴨水口町 地内	5/16～9/5	№4；-0.29m、古墳前期の包含層（土師器甕）。竪穴住居の可能性あり。№3；東西2.5mの規模の竪穴住居とみられる遺構を確認した。№9；-0.6m、時期不明の包含層（土師器）。№10；-0.78m、時期不明の包含層（土師器）。№13；-0.7m、室町の包含層（土師器皿、土製玉）。№2；-0.32m、竪穴住居とみられる遺構。№5；幅1.35mの竪穴住居を確認。本文9ページ。	RH053	14-1
植物園北遺跡	北・上賀茂納田町79、60の一部	8/27～9/4	-0.2m以下、褐色砂礫の地山。	RH175	14-1
植物園北遺跡	北・上賀茂北大路町33-21	9/10～12	№2；-0.8m、室町後期の包含層（土師器皿、瓦器火鉢）。№3；-0.75m、室町末期の包含層（土師器皿）。-1.4m、室町後期の包含層（土師器皿）。	RH187	14-1
植物園北遺跡	北・上賀茂岩ヶ垣内町47	10/23～25	-0.3m以下、黒褐色砂礫の地山。	RH234	14-1
植物園北遺跡	北・上賀茂畔勝町98-2、99-2	10/25・28・29	№1；-0.33m、旧耕作土。№3；-0.5m以下、褐色砂泥の地山。	RH236	14-1
北野遺跡	上・一条通御前西入三丁目西町29・4・6、30 地内	6/14・17・18	-0.7m、近世の包含層（土師器皿、陶器）。	RH086	16-3

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
北野遺跡・北野廃寺	北・北野下白梅町52-3、54-6	7/23～9/18	-0.03m、室町後期の包含層（土師器皿）。	RH132	16-3
北野遺跡・北野廃寺	北・北野下白梅町52-4、54-7	7/23～9/18	-0.03m、室町後期の包含層（土師器皿）。	RH133	16-3
北野遺跡・北野廃寺	北・北野白梅町7	11/28	平成14年度京都市内遺跡試掘調査概報に報告。	RH271	16-3
相国寺旧境内・室町殿跡 (花の御所)	上・烏丸通西側、上立売通～今出川通 地内	10/2～12/2	No.10；-1.77m、江戸前期の包含層（土師器皿）。 No.13；-0.7m、室町中期の包含層（土師器皿）。	RH210	16-5
相国寺旧境内・出雲寺跡	上・烏丸通鞍馬口下る相国寺門前町 地先	6/6～7/24	No.1；-0.2m、室町末期の包含層（土師器皿）。 No.2；-0.4m、室町前期の包含層（土師器皿）。 No.3；-0.74m、室町前期の包含層（土師器皿）。 No.4；-0.25m、室町前期の包含層（土師器皿）。	RH077	16-5
室町殿跡 (花の御所)	上・今出川通室町東入今出川町329-1	9/13・18・24・25	-0.17m、江戸後期の包含層（土師器皿）。この下層から、石列を検出し、調査地東側でも同様の石列を確認した。範囲及び輪郭は不明であるが、江戸後期の池状遺構と考えられる。	RH193	16-5

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
仁和寺院家跡 法金剛院境内	右・常盤柏ノ木町～常盤神田町 地先 右・花園寺ノ内町4の一部	9/10～19 10/23～25・28	-1.2m、時期不明の流れ堆積。 No.1；-0.47m、時期不明の整地面。東は境内敷地端まで、西はNo.1より約6mにわたって広がっている。北側はすでに削平され、No.1より3.9m離れた断面では整地面は確認できなかった。遺物は出土せず、池の底部の可能性がある。 -0.6m以下、灰黄褐色砂泥の地山。No.2；-0.68m、灰黄褐色泥砂の地山を切って時期不明のピット。	UZ189 UZ233	15 15
常盤仲之町遺跡	右・太秦蜂岡町11-27・28	6/3～5	-0.5m以下、褐色砂礫の地山。	UZ074	15
常盤仲之町遺跡	右・太秦青木ヶ原町～太秦蜂岡町	11/14・15・19	-1.55m以下、オリーブ褐色泥砂の地山。	UZ260	15
常盤仲之町遺跡・一ノ井遺跡	右・太秦一ノ井町31	11/20～22	-0.5mで包含層と思われる黒褐色砂泥を検出するが遺物は出土せず、この層は-0.8mでにぶい黄褐色砂泥の地山を切って落込みを形成。	UZ267	15
仲野親王墓古墳 (垂箕山古墳)・上ノ段町遺跡	右・太秦垂箕山町 地内	11/5～19	-0.2mで暗灰黄色砂泥層、包含層と思われるが遺物は検出できず。-0.56m以下、黄褐色砂泥の地山。	UZ244	14-3
御所ノ内町遺跡	右・太秦御所ノ内町14-1、15-1の一部、16、17-1の一部、33-2の一部	10/4・7～9	-0.55m、旧耕作土。	UZ214	14-3
多藪町遺跡	右・太秦前ノ町他	10/22～11/5	-0.78mで褐色砂泥層を検出。	UZ230	15

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
一乗寺向畑町遺跡	左・修学院大林町8-4、9-8	7/8～15	No.1；-0.33mで黄褐色粗砂の流れ堆積を検出。 No.2；-0.25mで黄褐色粗砂の流れ堆積を検出。 No.3；-0.4mで耕作土を検出。-0.78mで褐色粗砂の流れ堆積を検出。流れ堆積は音羽川の氾濫と考えられる。	KS112	16-2
田中構え跡	左・田中里ノ内町50-1	10/21～24	-0.24m、時期不明の包含層（土師器）。	KS228	17
京都大学北部構内遺跡	左・田中門前町 地内	5/20～8/13	-1.14m、時期不明の包含層（土師器）。	KS055	17
京都大学本部構内遺跡・京都大学総合人間学部構内遺跡・京都大学構内弥生遺跡	左・吉田神楽岡町30-1	8/1・2	No.1；-0.5m、鎌倉末期～室町初期の包含層（土師器皿、瓦器椀、輸入白磁椀）。No.2；-0.52m、鎌倉後期の包含層（土師器皿）。-0.74m以下、黄褐色粗砂の地山。	KS146	17
白河街区跡	左・丸太町通川端東入丸太町43-6	5/29～6/5	-0.5m以下、にぶい黄褐色粗砂（礫混）の地山。	KS068	17

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
白河街区跡	左・仁王門通新高倉西入福本町409	6/6・7	-1.63m、平安末期の湿地状堆積（土師器皿）が全体に広がる。	KS076	17
白河街区跡	左・岡崎西福ノ川町1-25・30・31	9/18・19・24	-1.0m以下、明黄褐色細砂の地山。	KS198	17
白河街区跡・ 神楽岡城跡	左・吉田下大路町58-1	9/2	-0.65m、明褐色粘土の地山。	KS181	17
岡崎遺跡・ 延勝寺跡	左・岡崎円勝寺町1-9	5/21・22	-0.35m、室町前期の包含層（土師器皿、瓦）。	KS058	17
岡崎遺跡・ 得長寿院跡	左・岡崎徳成町10-13	5/28～7/23	巡回時、工事終了。	KS062	17
岡崎遺跡・ 白河街区跡	左・北門前町 地内 (仁王門通東大路通～古川町通)	5/16～9/10	-1.0m、時期不明の湿地状堆積。	KS054	17
岡崎遺跡・ 白河街区跡	左・東大路通仁王門北門前町～岡崎円勝寺町	9/30～11/27	No.3；-0.9m、室町の包含層（土師器皿・羽釜、瓦）。No.11；-0.74m、室町中期の包含層（土師器皿）。	KS209	17

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
珍皇寺旧境内 鳥部(辺)野 鳥部(辺)野 六波羅政庁跡	東・清水四丁目～五条坂遊行前町 地内 東・今熊野総山町、南日吉町、泉山町 東・今熊野南日吉町 東・大和大路通五条上る山崎町388	7/15～9/10 11/7～20 11/28～12/3 7/15～17	-0.9mまで現代盛土。 -1.2mで時期不明の褐色砂泥（礫混）層を検出。 -1.6mまで現代盛土。 -0.17m、江戸後期の包含層（土師器皿、瀬戸系鉄釉陶器鉢）。-0.82m、江戸前～中期の包含層（土師器皿）。	RT119 RT253 RT274 RT122	18 19-3 19-3 18
六波羅政庁跡 法住寺殿跡	東・渋谷通東大路西入鐘鐺町397 東・本町通、塩小路通～泉涌寺他 地内	9/20・24 4/25～10/17	-0.25m以下、黄褐色粘土の地山。 -0.76m、平安後期の包含層（平瓦）。-0.92m以下、褐色砂泥の地山。	RT202 RT037	18 18
法住寺殿跡 法住寺殿跡	東・本町六丁目1-2 東・東大路通渋谷下る妙法院前側町440 東山小学校	7/22 7/24～26	-0.35mまで現代盛土。 -0.36m、江戸後期の包含層（土師器皿、瓦）。 -0.55mでにぶい褐色粘土の地山を切って土壌を検出。江戸前期の播鉢、時期不明の磁器が出土。その上層に多量に炭を含む層があり、京焼に関連する遺構ではないかと思われる。	RT130 RT134	18 18
法住寺殿跡 法性寺跡 法性寺跡 山科本願寺跡 山科本願寺南殿跡 中臣遺跡 中臣遺跡 中臣遺跡 中臣遺跡 中臣遺跡 中臣遺跡 中臣遺跡	東・本瓦町670 東・福稲御所ノ内町他 地内 東・福稲御所ノ内町 地先 山・西野山階町30-6 山・音羽伊勢宿町40の一部 山・勸修寺西栗栖野町256-1・2 山・栗栖野華ノ木町27-2 山・勸修寺東金ヶ崎37-1 山・栗栖野華ノ木町27-2 山・西野山中臣町76-2 山・栗栖野打越町18-12 山・栗栖野華ノ木町27-4	8/20 6/24～7/8 9/13・18 5/1 6/13 4/5・8 4/22・23 4/15 6/17 7/31 8/5・6 8/13～15	-0.8m、時期不明の整地層。 -1.2mまで現代盛土。 -0.95mまで現代盛土。 掘削工事を行わず。 -0.1mで暗褐色砂泥を検出。 -0.5m、耕作土。 -0.63m以下、褐色砂泥の地山。 -0.28mまで現代盛土。 -0.2m以下、暗褐色砂泥の地山。 -0.1m以下、黒褐色砂泥の地山。 -0.26～0.6mで時期不明の土壌。 -0.43mで褐色粘土の地山を切って時期不明の土壌。	RT170 RT091 RT192 RT041 RT081 RT007 RT019 RT021 RT087 RT143 RT154 RT163	18 18 18 19-1 19-2 19-4 19-4 19-4 19-4 19-4 19-4 19-4
中臣遺跡 中臣遺跡 中臣遺跡 中臣遺跡	山・栗栖野華ノ木町27-6 山・栗栖野華ノ木町2-2・4・5・6・7・8 山・柳辻番所ヶ口町154 山・勸修寺西金ヶ崎238	8/13～15 9/2・4 9/24 9/30～10/4	-0.5m以下、褐色砂泥の地山。 +0.54m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。 巡回時、工事終了。 -1.6～2.7mまで湿地状堆積の泥土層。-2.7m以下、黄灰色砂礫の地山。	RT164 RT180 RT203 RT207	19-4 19-4 19-4 19-4
中臣遺跡	山・勸修寺東栗栖野町17	11/25～29	No.1；-0.85m、黄褐色砂泥の地山。No.2；-1.34m、鎌倉後期～室町の包含層（土師器皿）。-1.52mでにぶい黄褐色砂泥の地山。No.3；-0.95mで褐色砂泥の地山。	RT270	19-4
中臣遺跡 中臣遺跡	山・柳辻番所ヶ口町37-7 山・柳辻番所ヶ口町37-7	12/4・5 12/4・5	-0.6mまで現代盛土。 -0.33mまで現代盛土。	RT279 RT280	19-4 19-4

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
中臣遺跡	山・東野舞台町95-5の一部	12/9~11	-0.2mまで現代盛土。	RT283	19-4
中臣遺跡・ 中臣十三塚	山・西野山中臣町74	4/12・14・18	-1.33m以下、褐色砂泥の地山。	RT014	19-4
中臣遺跡・ 中臣十三塚	山・西野山中臣町74-30	4/12・15・18	-1.3m以下、褐色砂泥の地山。	RT015	19-4
中臣遺跡・ 中臣十三塚	山・西野山中臣町74-29	4/12・15・18	調査地は宮道朝臣烈子墓の西側に接する地点にある。No.2 ; +0.02m、時期不明の溝状遺構。この西側からは+0.02mで幅0.51m、深さ0.42mの溝状遺構を検出。極めて小片ながら弥生土器(器形不明)が出土しており、1971年、中臣遺跡第一次調査で確認された方形周溝墓の続きであると考えられる。	RT016	19-4

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
深草遺跡	伏・西浦町3丁目69	7/1~3	-0.65m以下、湿地または流路状の堆積。	TB098	21-1
深草坊遺跡・ 深草寺跡	伏・深草僧坊町62	8/9・13・19	-0.6m以下、褐色粘土の地山。	TB156	21-1
鳥羽離宮跡	伏・竹田真幡木町51	4/19・22	-1.04m以下、時期不明の湿地状堆積。	TB025	20
鳥羽離宮跡	伏・中島前山町150	5/13~16	-0.7m、池沼状の堆積。室町の土師器皿と瓦器火鉢が出土。	TB050	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田真幡木町120	5/14	-0.5mまで現代盛土。	TB052	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田浄菩提院町104の一部、105の一部	6/27・28	-0.25mまで現代盛土。	TB095	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田中内畑町96の一部、97	7/2~4	-0.4mまで現代盛土。	TB102	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田中内畑町74	7/2~5	-0.25mまで現代盛土。	TB103	20
鳥羽離宮跡	伏・中島河原田町4-11	8/2	-0.25mまで現代盛土。	TB149	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田中内畑町 地先	8/30	-1.25mまで攪乱。	TB177	20
鳥羽離宮跡・ 鳥羽遺跡	伏・中島鳥羽離宮町16・17	11/13・18・19	試掘調査では-1.03mで遺構面を検出。立会では掘削深-0.8mまでで遺構面に到達しないことを確認。	TB258	20
鳥羽離宮跡・ 鳥羽遺跡	伏・竹田西内畑町138、139、140	11/25	-0.2mまで現代盛土。	TB269	20
鳥羽遺跡・ 鳥羽離宮跡	伏・竹田浄菩提院町41、41-1、43、44、45	4/1	-0.35mまで現代盛土。	TB001	20
鳥羽遺跡・ 鳥羽離宮跡	伏・竹田東小屋ノ内町12~16	5/29、6/4・5	-0.5m、平安中期の包含層(土師器皿)。	TB067	20
芹川城跡	伏・下鳥羽渡瀬町8-5	10/22~24	-0.97mまで旧耕作土。	TB231	20
久我殿遺跡	伏・久我本町	5/8	-0.9mまで現代盛土。	TB045	21-3
久我殿遺跡	伏・久我御旅町1-24の一部	5/9・13	-0.7m、時期不明の包含層。	TB048	21-3
唐橋遺跡	南・吉祥院九条町1-2	7/8	-0.36m以下、褐色砂泥の地山。	TB109	21-2

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
法界寺旧境内	伏・日野大道町12-6	7/4・5・8	-0.25m以下、オリーブ色砂泥の地山。	FD108	19-5
伏見城跡	伏・新町九丁目410	4/11・12・18	-0.92m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。	FD013	22
伏見城跡	伏・桃山町三河56-7	5/30・31	-0.84mまで現代盛土。	FD070	22
伏見城跡	伏・桃山町根来16-5・12~19	7/15	-0.3m以下、黄褐色粘土層を検出。	FD120	23
伏見城跡	伏・桃山町三河69-6	8/1~26	-1.73m、黄褐色泥砂層を検出。	FD147	22
伏見城跡	伏・御駕籠町124-15	8/19~9/4	-0.37m、時期不明の路面。	FD153	22
伏見城跡	伏・桃山福島大夫北町41 呉竹養護学校	8/12	-1.15mまで現代盛土。	FD160	22
伏見城跡	伏・両替町一丁目382-1、383-1・2	8/12・16	-0.35mまで現代盛土。	FD161	22
伏見城跡	伏・墨染町~桃山最上町	9/9~10/23	-1.0m、旧耕作土。	FD183	22

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
伏見城跡	伏・深草大亀谷六鉢町の一部、 深草大亀谷万帖敷町の一部	11/18～20	-0.25m以下、褐色砂泥（礫混）の地山。	FD262	23
伏見城跡・ 御香宮廃寺	伏・御香宮前町184-3・4	10/30	-2.6mまで現代盛土。	FD240	22
向島城跡	伏・向島中島町17	4/2・4	-0.2mでにぶい黄橙色粗砂の川砂層を検出。	FD002	21-4

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
左京北辺三坊 八・九・十六町・ 中久世遺跡・ 大藪遺跡	南・久世殿城町 地先	7/15	-0.9mまで現代盛土。	NG121	25-4
左京三条三坊十三町	伏・久我西出町	4/22・24・25	-1.8mで灰色泥土の湿地状堆積を検出。-2.16 m以下、黄褐色砂泥の地山。	NG030	24
左京四条四坊三町	伏・羽東師菱川町531	7/2～4	-0.45m、耕作土層。-0.66m以下、灰オリーブ 色砂泥の地山。	NG104	24
左京六条四坊八町・ 五条大路	伏・羽東師古川町174-2・7	5/21	-0.9mまで現代盛土。	NG056	24
右京一条三坊九町	西・大原野上里男鹿町3-11	5/27・28	-0.4mまで現代盛土。	NG061	25-1

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
上久世遺跡	南・久世上久世町149-3他	5/7・9・15	-0.6mまで現代盛土。	MK043	25-3
上久世遺跡	南・久世上久世町127-4 (B棟)	8/20, 9/2	-0.25mまで現代盛土。	MK168	25-3
上久世遺跡	南・久世上久世町127-1 (A棟)	8/20, 9/2	-0.25mまで現代盛土。	MK169	25-3
下津林遺跡	西・下津林佃、下津林番条	8/26～11/18	-0.2m以下、湿地状堆積。	MK174	25-2

報告書抄録

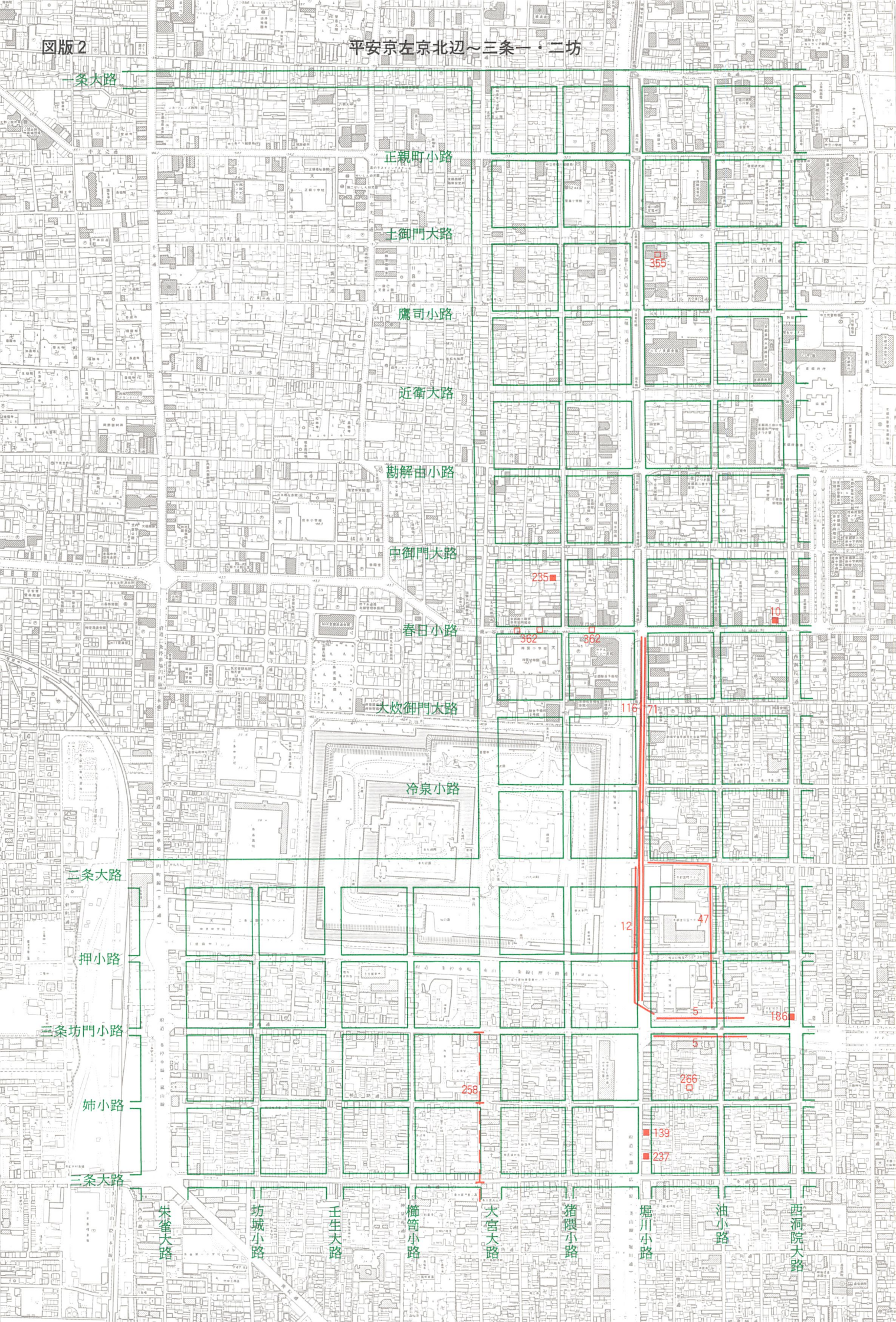
ふりがな	きょうとしなにいせきたちあいちょうさがいほう							
書名	京都市内遺跡立会調査概報 平成14年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	小谷裕、菅田薫、堀内寛昭、モンベティ恭代、吉本健吾							
編集機関	財団法人京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発行年月日	西暦2003年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
平安京跡 右京五条三坊二町	京都府京都市右京区 西院北矢掛町	26100		34度59分53秒	135度43分55秒	2002. 3. 12 ～ 3. 18		住宅
平安京跡 右京七条一坊 五・六町	京都府京都市下京区 朱雀分木町～朱雀北 ノ口町 地内	26100		34度59分14秒	135度44分35秒	2002. 9. 18 ～ 10. 16		水道工事
植物園北遺跡	京都府京都市左京区 下鴨水口町 地先	26100		35度3分4秒	135度46分15秒	2002. 5. 13 ～ 6. 7		ガス工事
植物園北遺跡	京都府京都市左京区 下鴨水口町 地内	26100		35度3分4秒	135度46分19秒	2002. 5. 16 ～ 9. 5		水道工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
平安京跡 右京五条三坊二町	都城	平安～室町	遺物包含層・ピット・落込		土器類			
平安京跡 右京七条一坊 五・六町	都城	平安～室町	遺物包含層・落込		土器類・瓦類			
植物園北遺跡	集落	古墳	竪穴住居		土器類			
植物園北遺跡	集落	古墳	竪穴住居		土器類			

ふりがな	きょうとしないいせきたちあいちょうさがいほう							
書名	京都市内遺跡立会調査概報 平成14年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	小谷裕、菅田薫、堀内寛昭、モンベティ恭代、吉本健吾							
編集機関	(財)京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発行年月日	西暦2003年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
法住寺殿跡 六波羅政庁跡	京都府京都市東山区 茶屋町 地内	26100		34度59分19秒	135度46分33秒	2001. 3. 23 ～ 5. 14		公園
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
法住寺殿跡、 六波羅政庁跡	寺院	江戸	方広寺大仏殿		石仏			

面 図

凡 例

- — — 2002年1～3月期（平成13年度）立会調査地点
- ——— 2002年4～12月期（平成14年度）立会調査地点



一条大路

正親町小路

土御門大路

鷹司小路

近衛大路

勘解由小路

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷泉小路

二条大路

押小路

三条坊門小路

姉小路

三条大路

朱雀大路

坊城小路

壬生大路

櫛笥小路

大宮大路

猪隈小路

堀川小路

油小路

西洞院大路

355

235

70

362

362

116

71

12

47

5

186

258

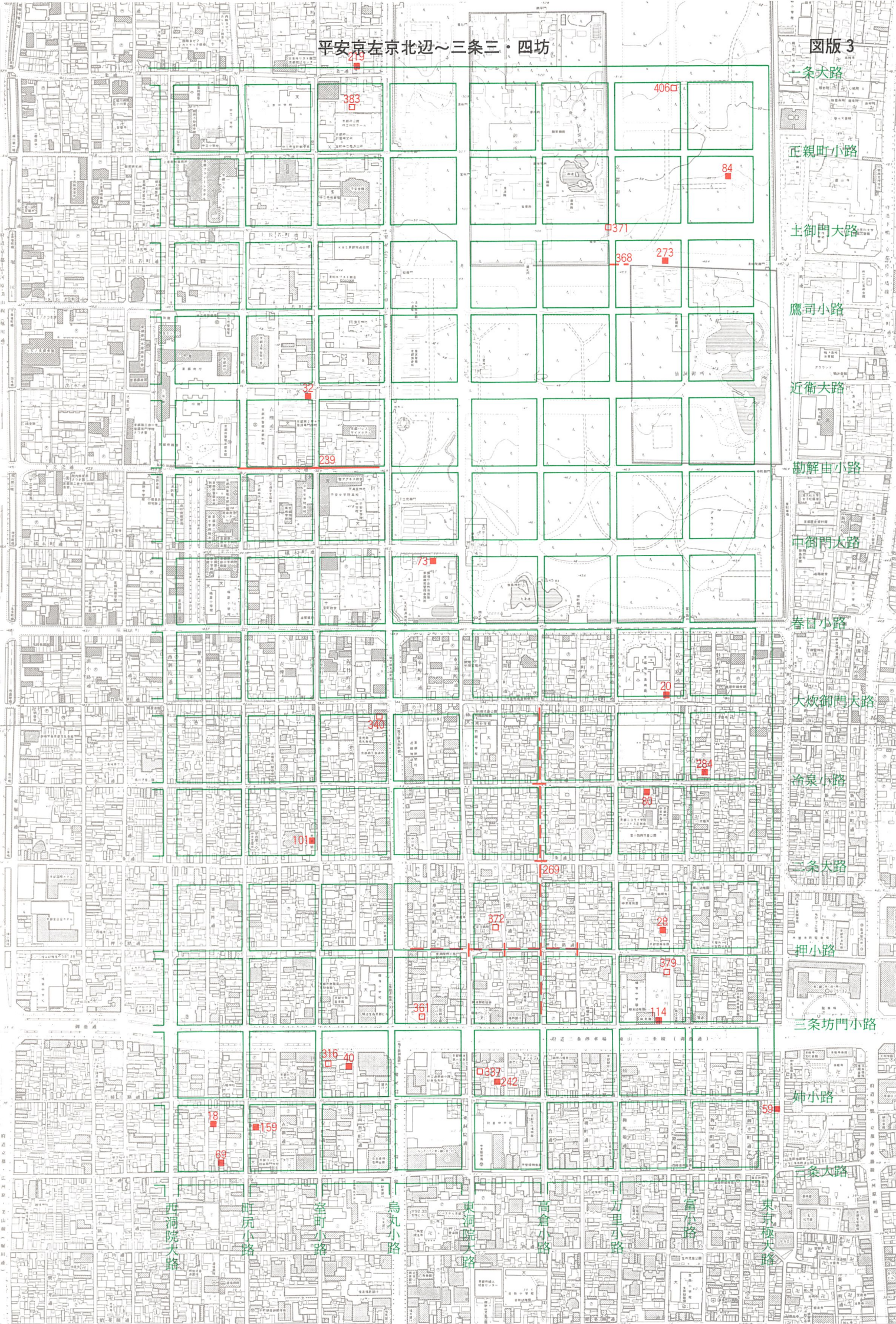
5

266

139

237

平安京左京北辺～三条三・四坊



一条大路

正親町小路

土御門大路

鷹司小路

近衛大路

勘解由小路

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷泉小路

三条大路

押小路

三条坊門小路

姉小路

一条大路

西洞院大路

町尻小路

空町小路

烏丸小路

東洞院大路

高倉小路

万里小路

富小路

東京極大路

419

383

406

84

4371

368

273

72

239

73

20

340

284

10

269

89

372

28

379

361

114

316

40

387

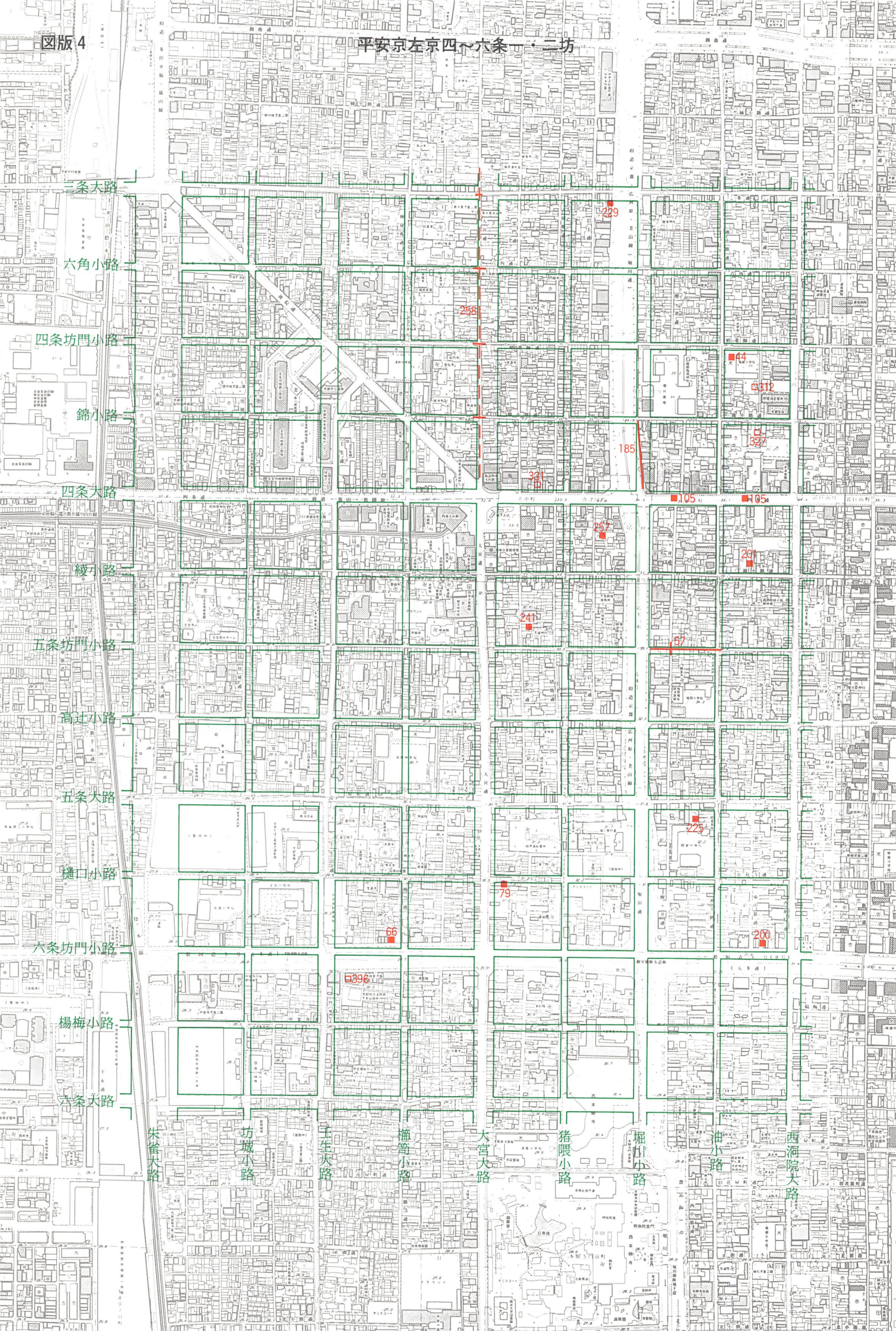
242

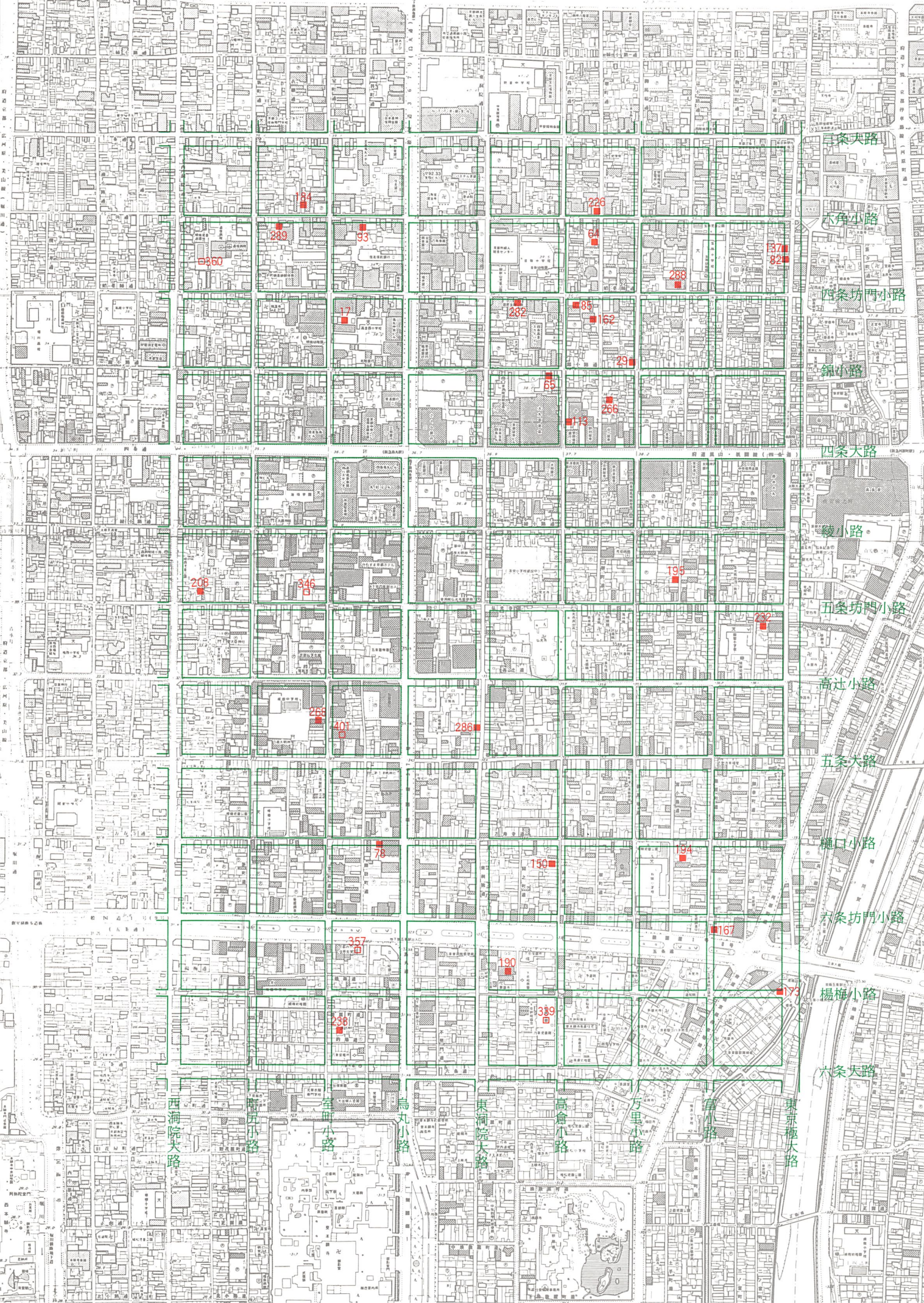
18

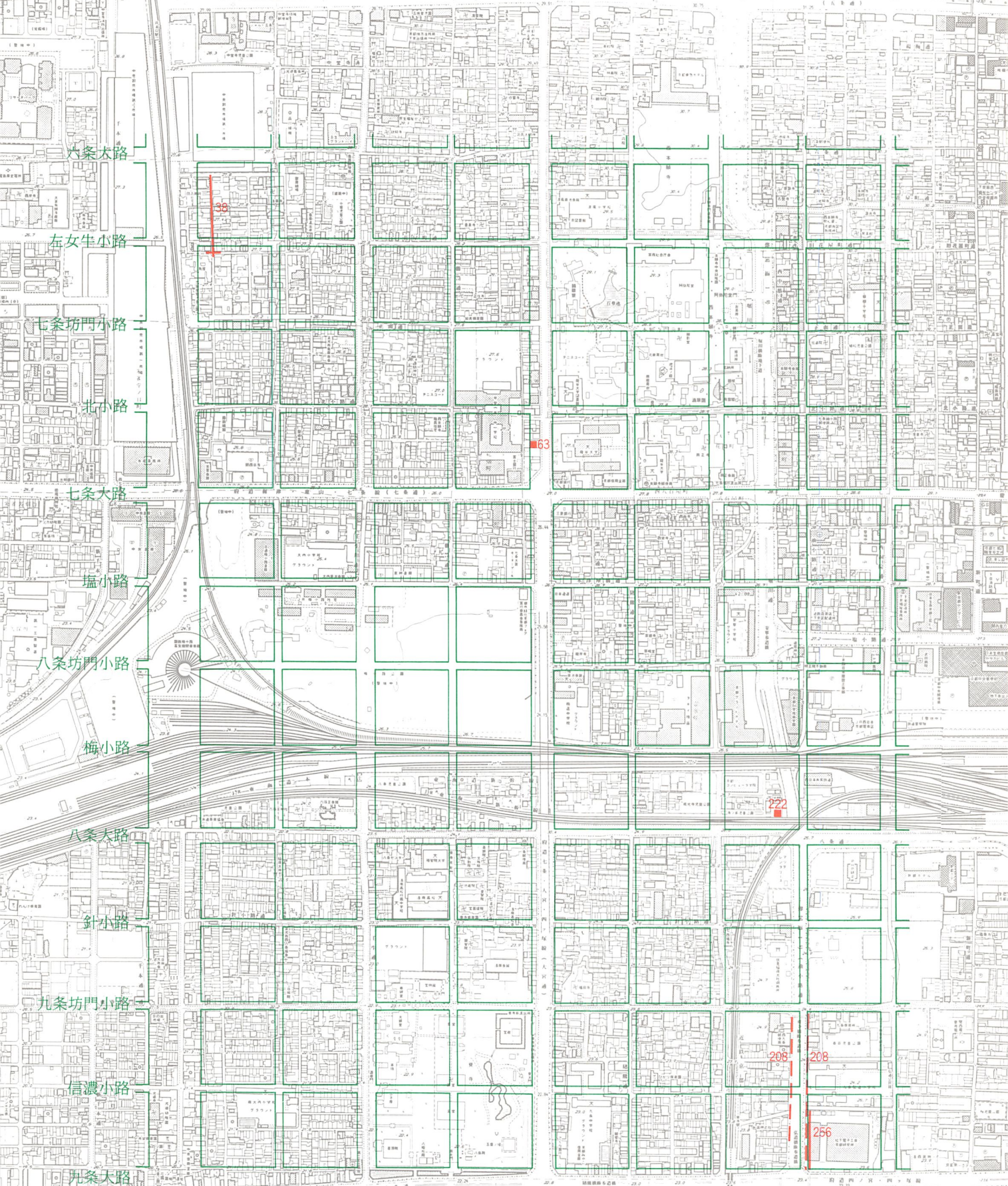
159

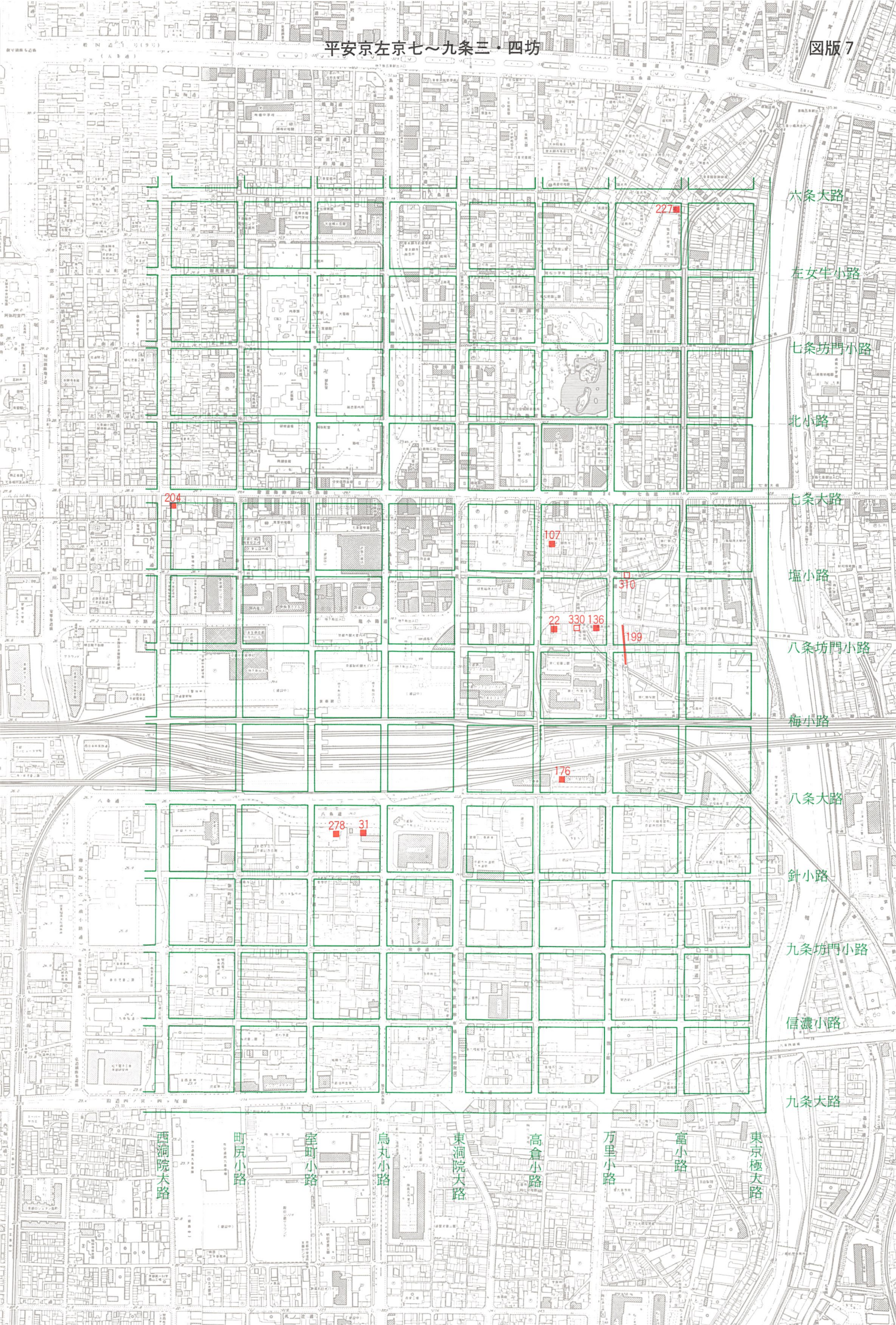
59

83









六条大路

左女牛小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

塩小路

八条坊門小路

梅小路

八条大路

針小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

西洞院大路

町尻小路

室町小路

烏丸小路

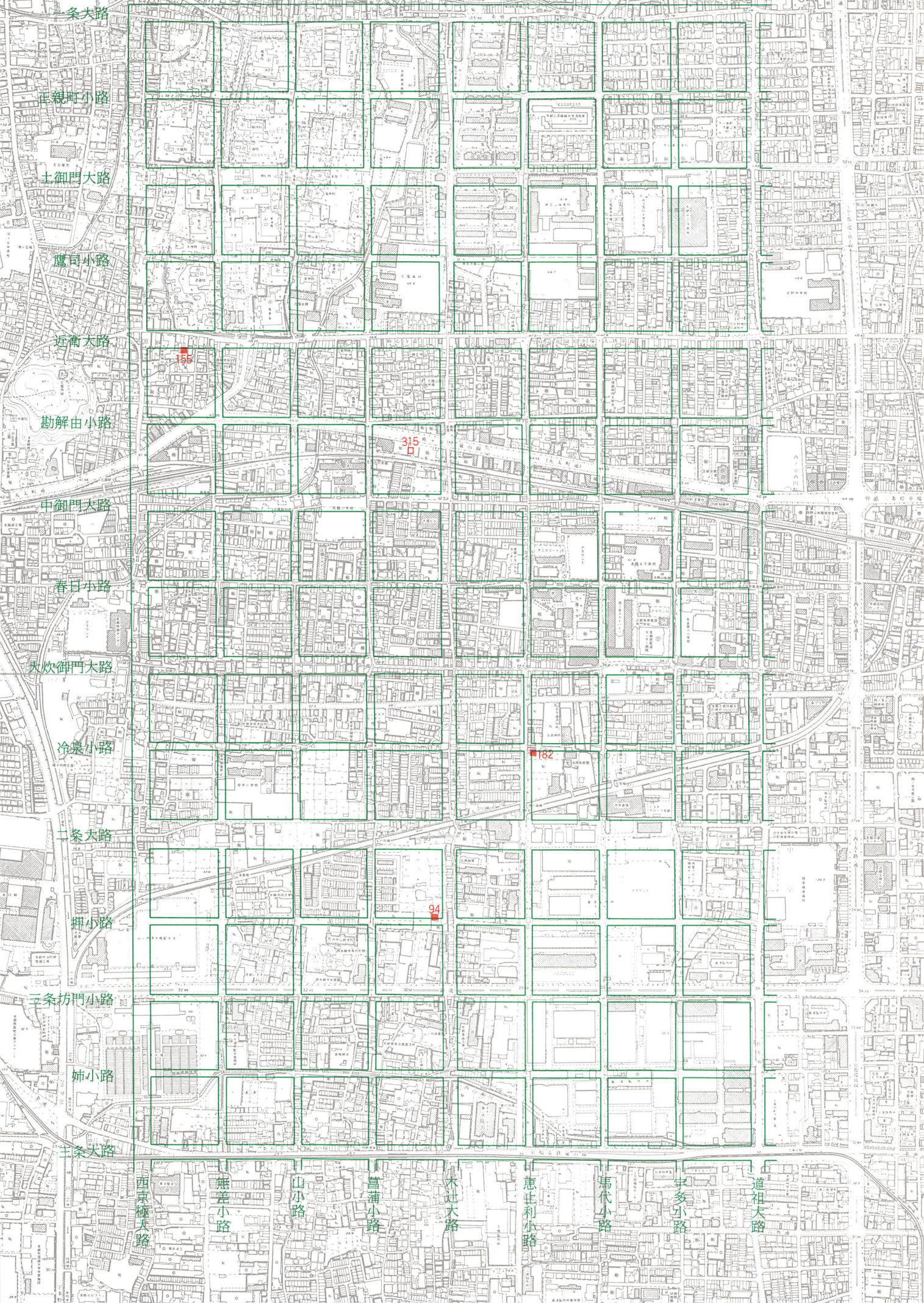
東洞院大路

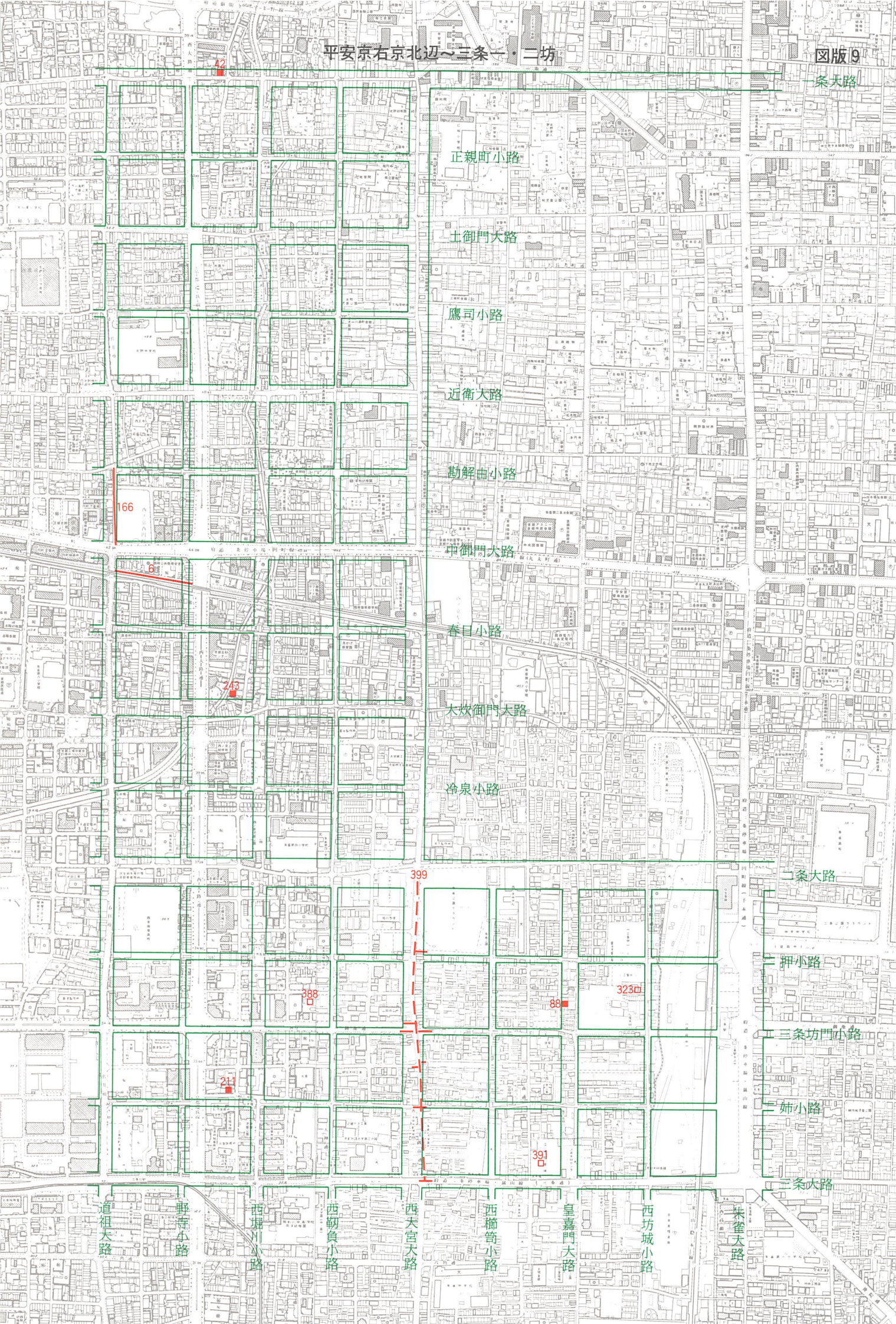
高倉小路

万里小路

富小路

東京極大路





正親町小路

土御門大路

鷹司小路

近衛大路

勸解由小路

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷泉小路

二条大路

押小路

三条坊門小路

姉小路

三条大路

166

6

243

399

388

88

323

211

391

道祖大路

野寺小路

西堀川小路

西鞠負小路

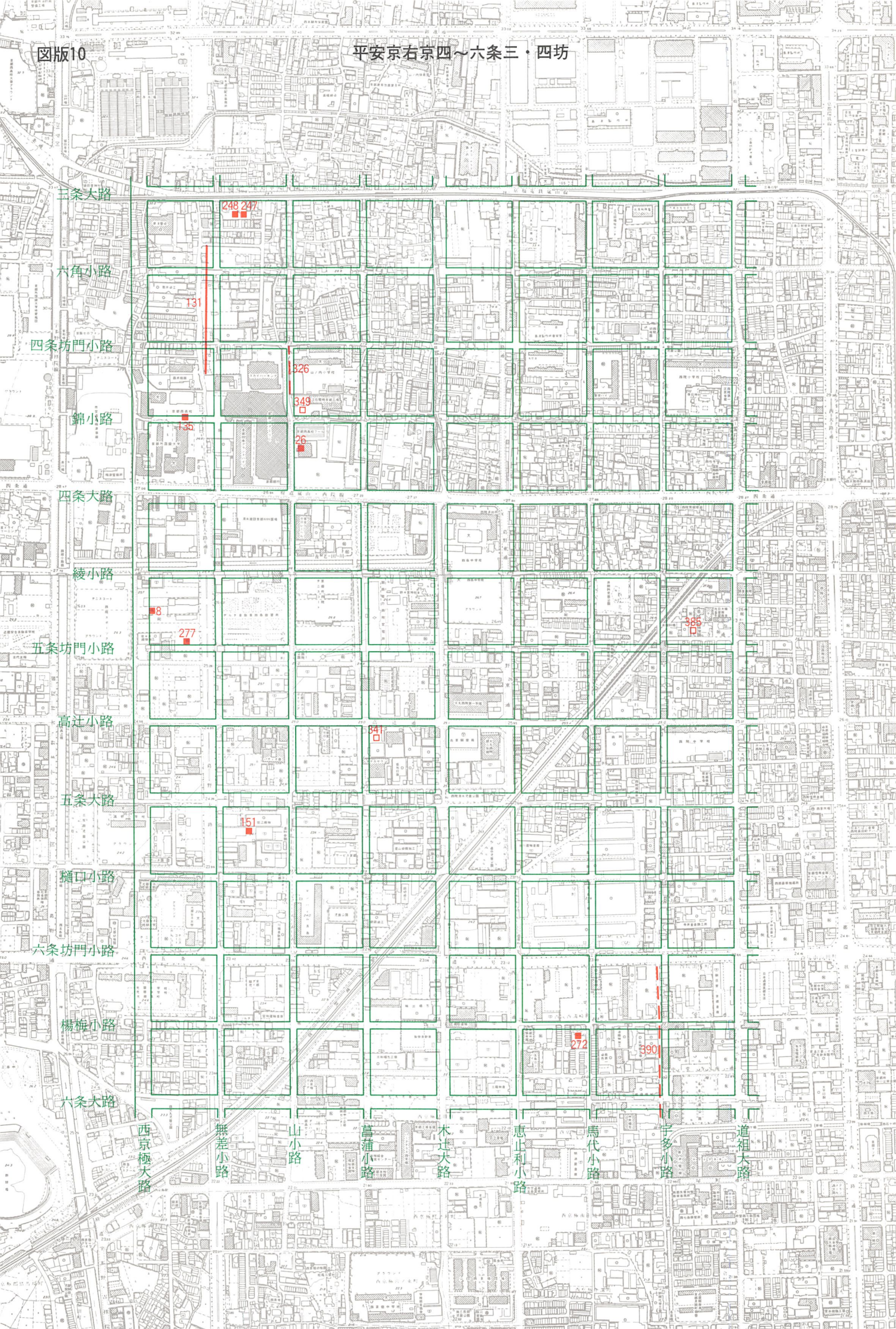
西天宮大路

西櫛筒小路

皇嘉門大路

西坊城小路

朱雀大路



三條大路

六角小路

四條坊門小路

錦小路

四條大路

綾小路

五條坊門小路

高辻小路

五條大路

樋口小路

六條坊門小路

楊梅小路

六條大路

西京極大路

無差小路

山小路

富浦小路

木辻大路

恵止利小路

馬代小路

宇多小路

道祖大路

248

247

131

326

349

26

8

277

385

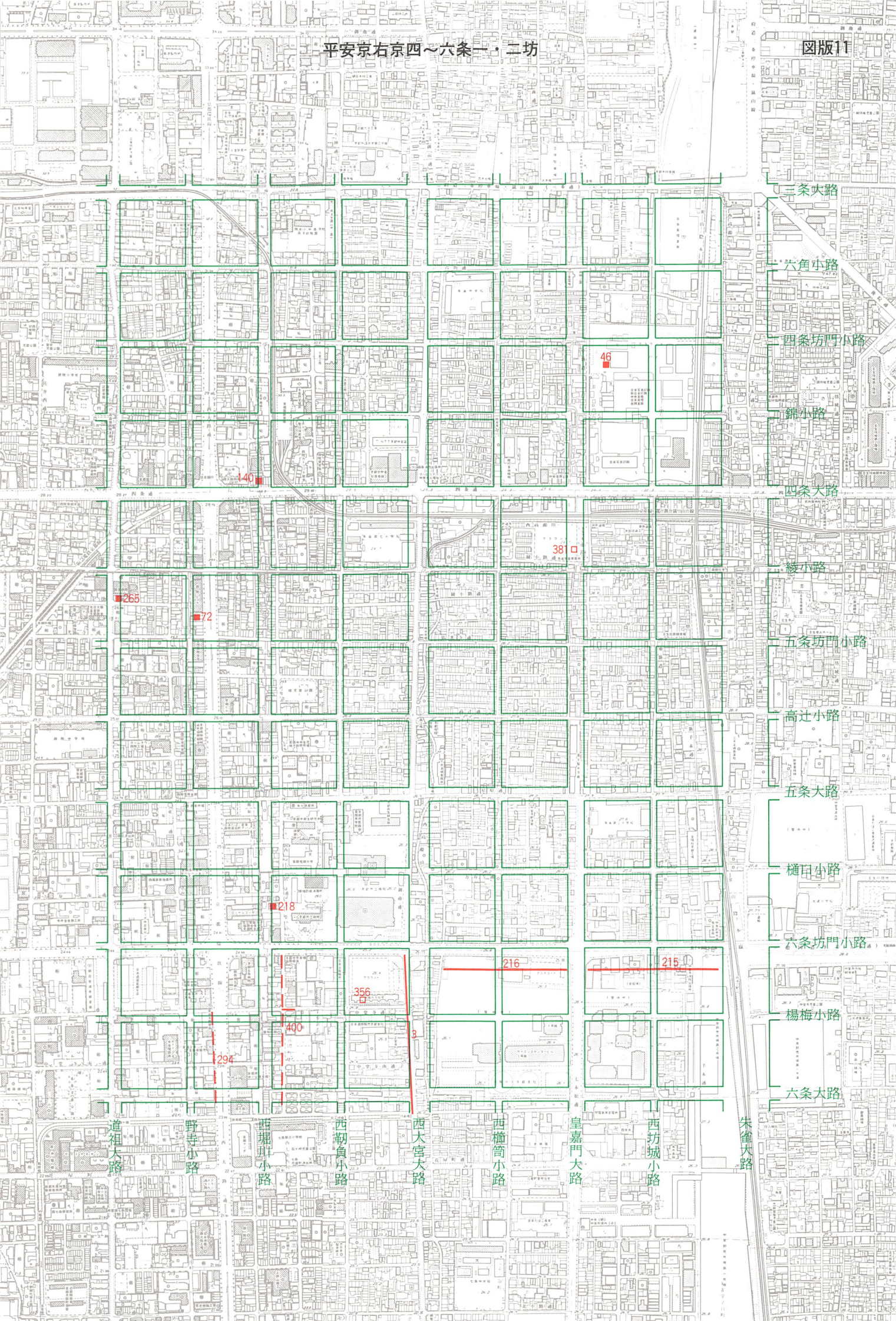
541

151

272

390

平安京右京四~六条一、二坊



三条大路

六角小路

四条坊門小路

錦小路

四条大路

綾小路

五条坊門小路

高辻小路

五条大路

樋田小路

六条坊門小路

楊梅小路

六条大路

道祖大路

野寺小路

西堀町小路

西朝負小路

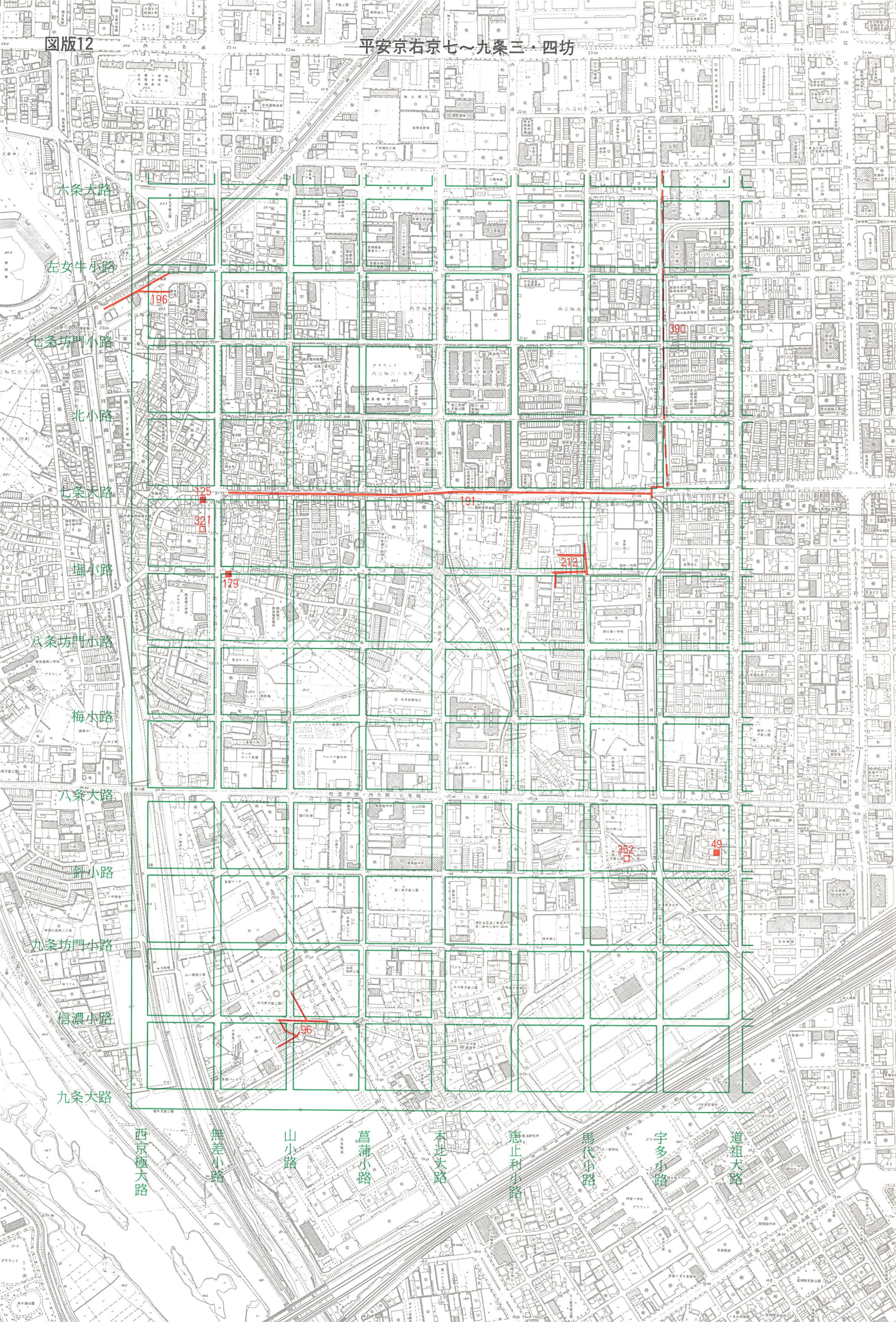
西大宮大路

西櫛筒小路

皇嘉門大路

西坊城小路

朱雀大路



六条大路

左女牛小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

塩小路

八条坊門小路

梅小路

八条大路

針小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

西京極大路

無差小路

山小路

菖蒲小路

本池大路

恵止利小路

馬代小路

宇多小路

道祖大路

196

390

125

191

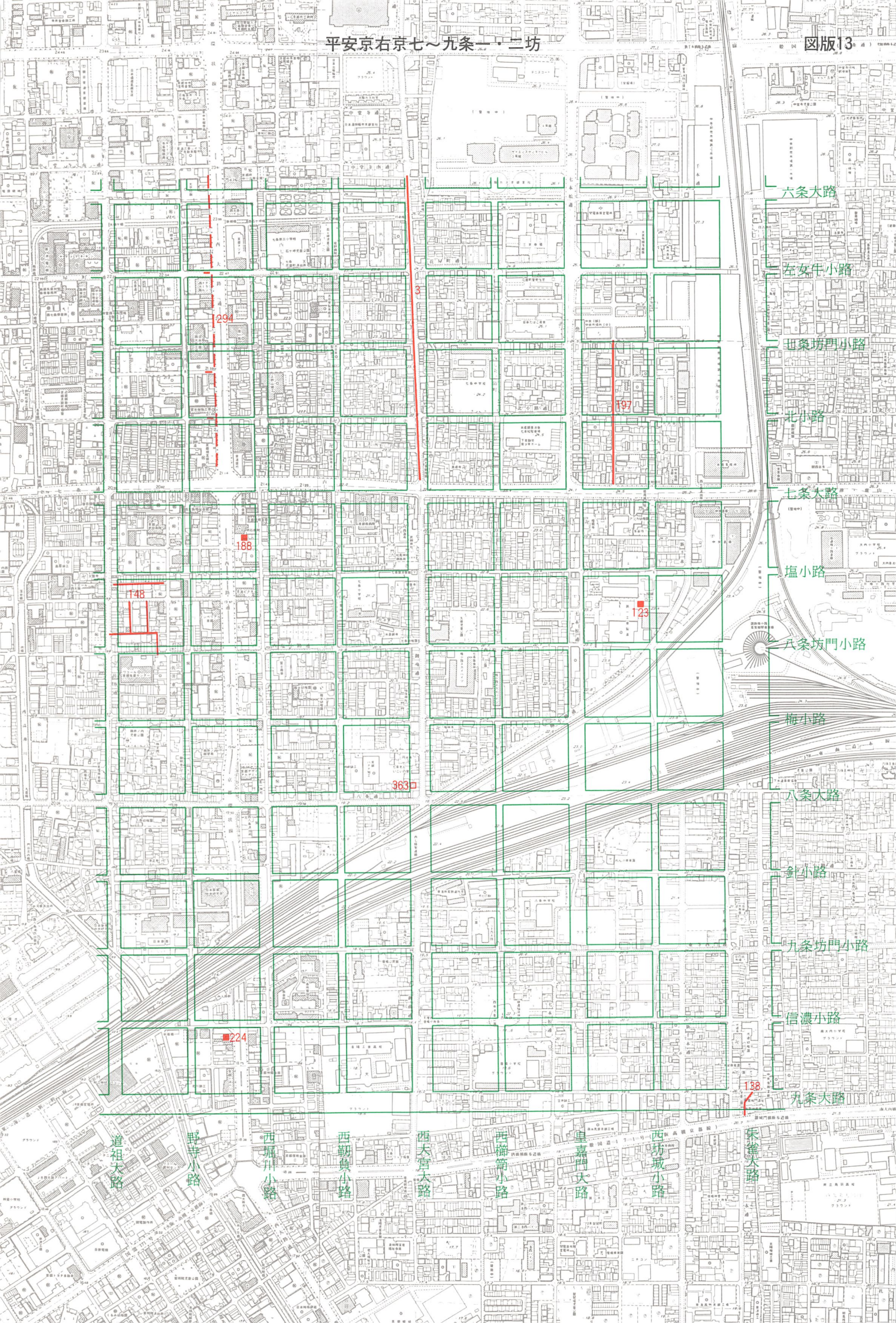
212

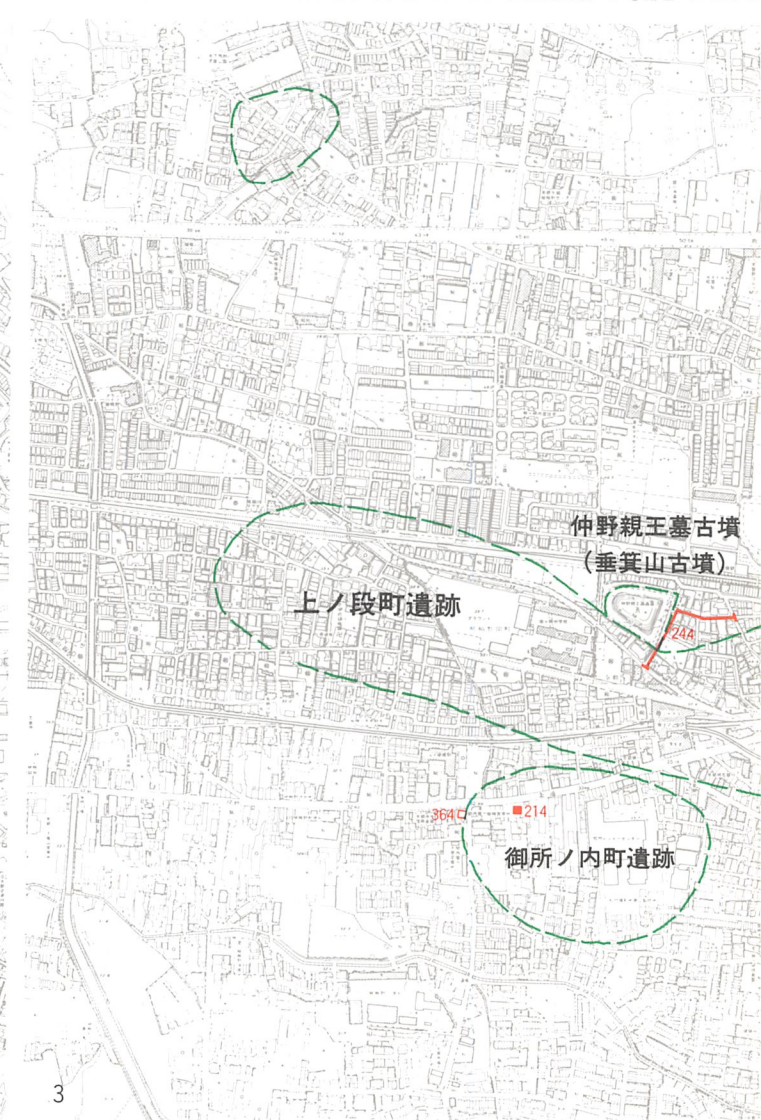
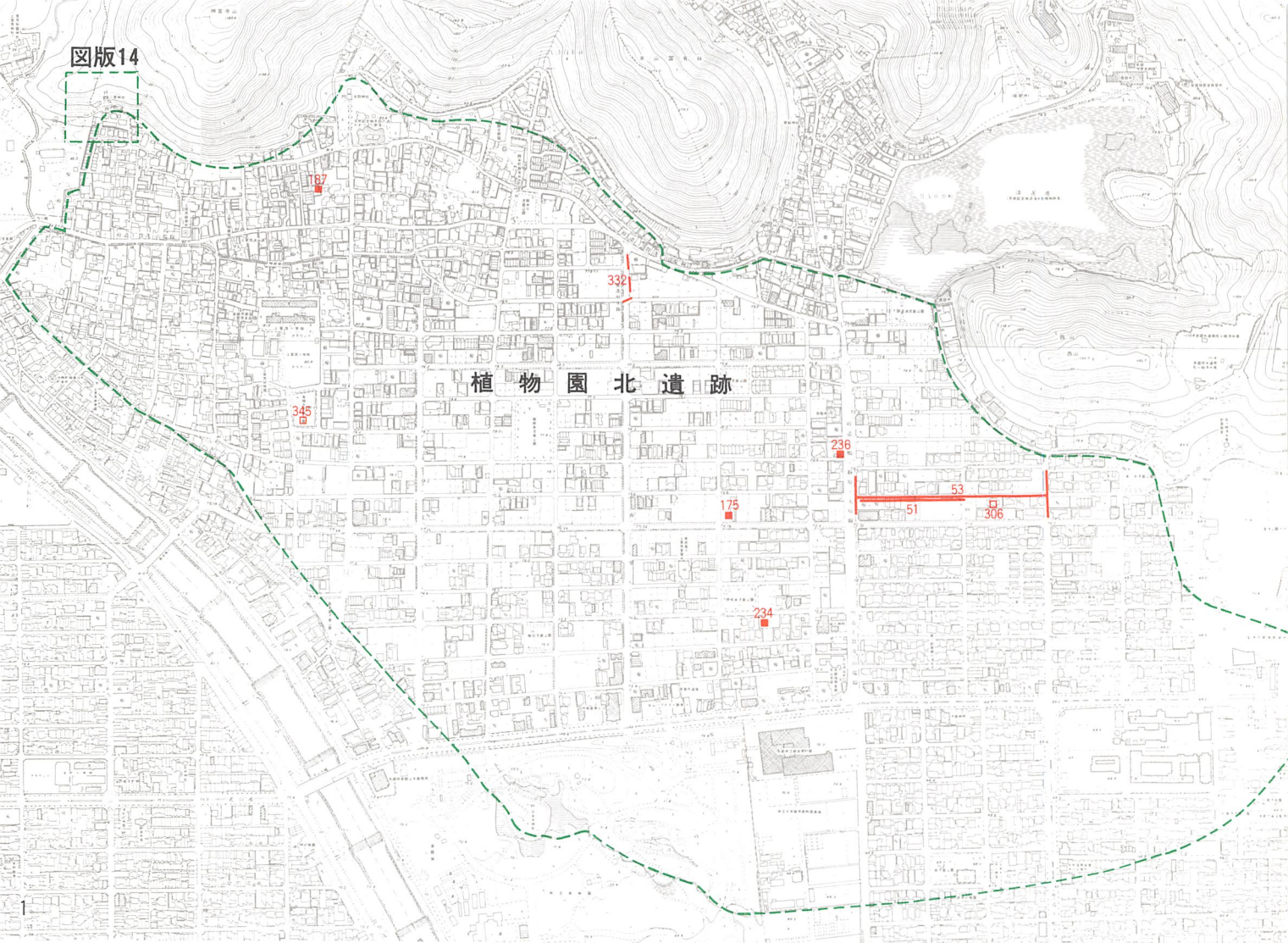
179

352

49

96

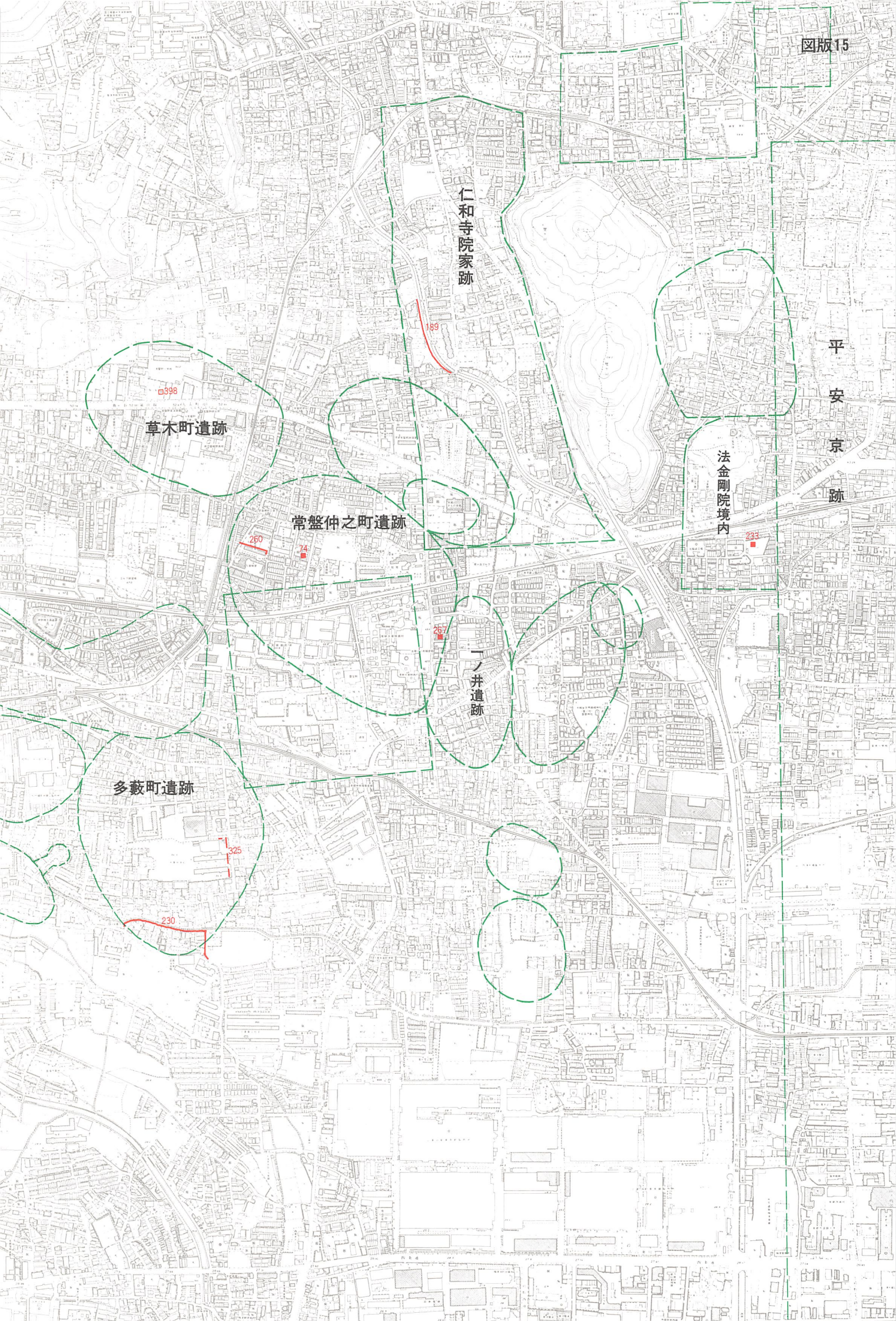




仲野親王墓古墳
(垂箕山古墳)

上ノ段町遺跡

御所ノ内町遺跡



平安京跡

仁和寺院家跡

草木町遺跡

常盤仲之町遺跡

法金剛院境内

一ノ井遺跡

多藪町遺跡

398

260

74

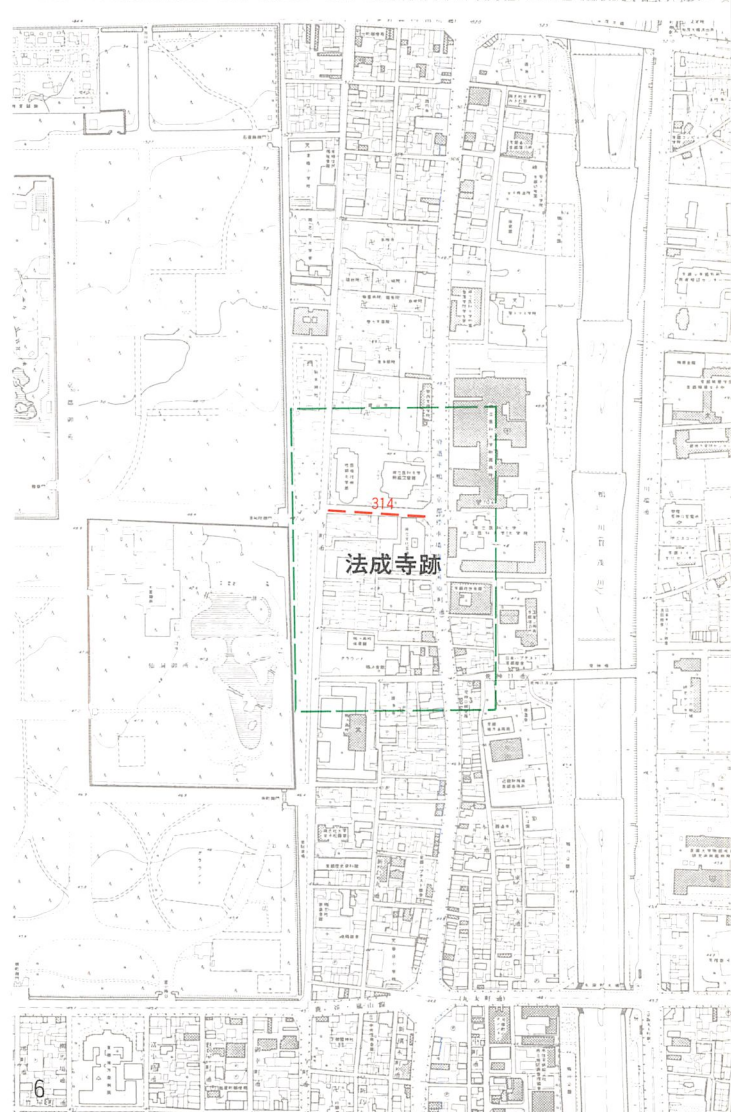
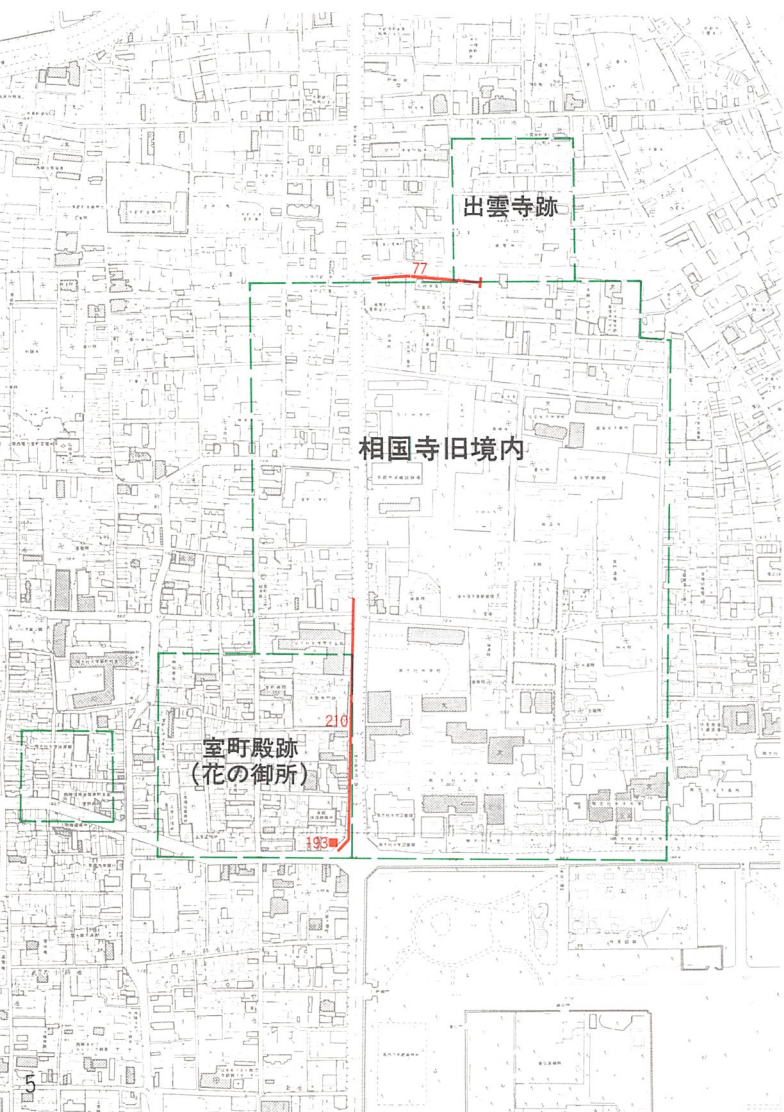
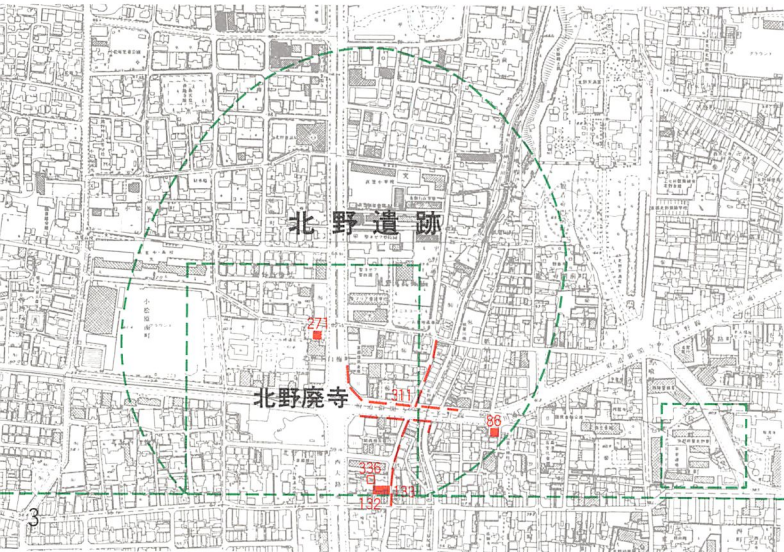
189

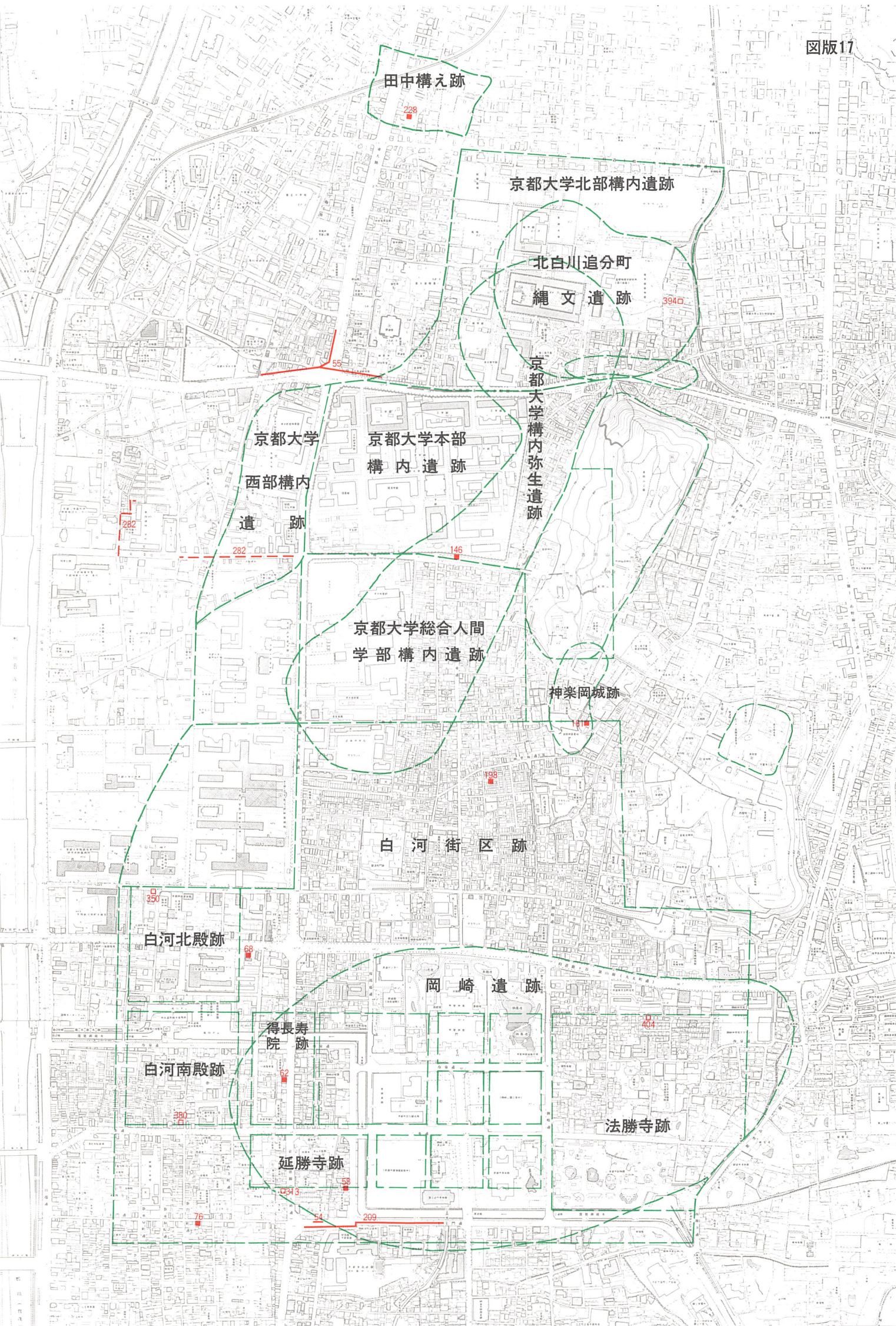
267

233

325

230





田中構え跡

228

京都大学北部構内遺跡

北白川追分町

縄文遺跡

3940

京都大学構内弥生遺跡

京都大学

京都大学本部

構内遺跡

西部構内

遺跡

282

282

146

京都大学総合人間

学部構内遺跡

神楽岡城跡

181

198

白河街区跡

白河北殿跡

350

68

岡崎遺跡

得長寿院

跡

804

白河南殿跡

380

62

延勝寺跡

0313

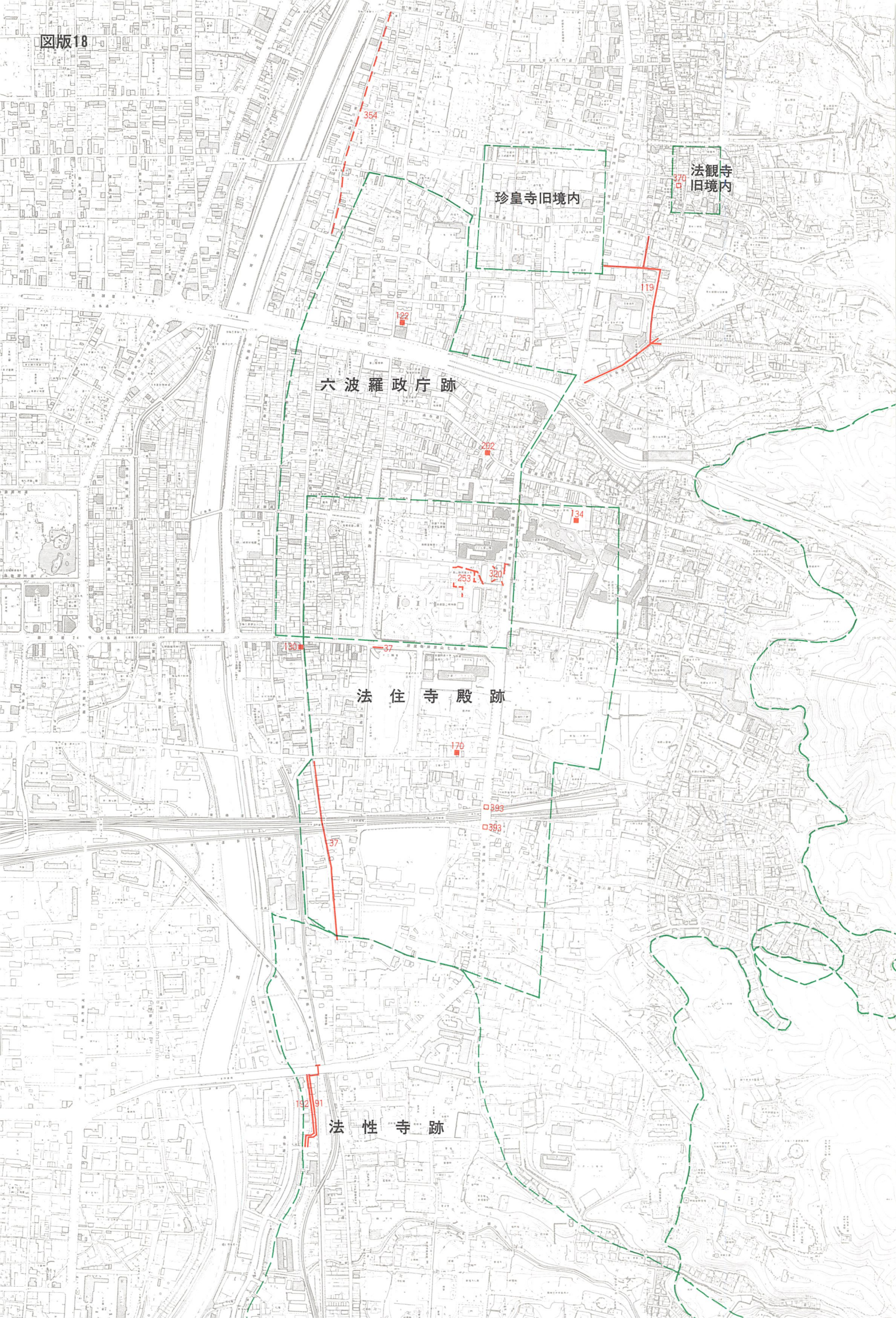
58

法勝寺跡

76

54

209



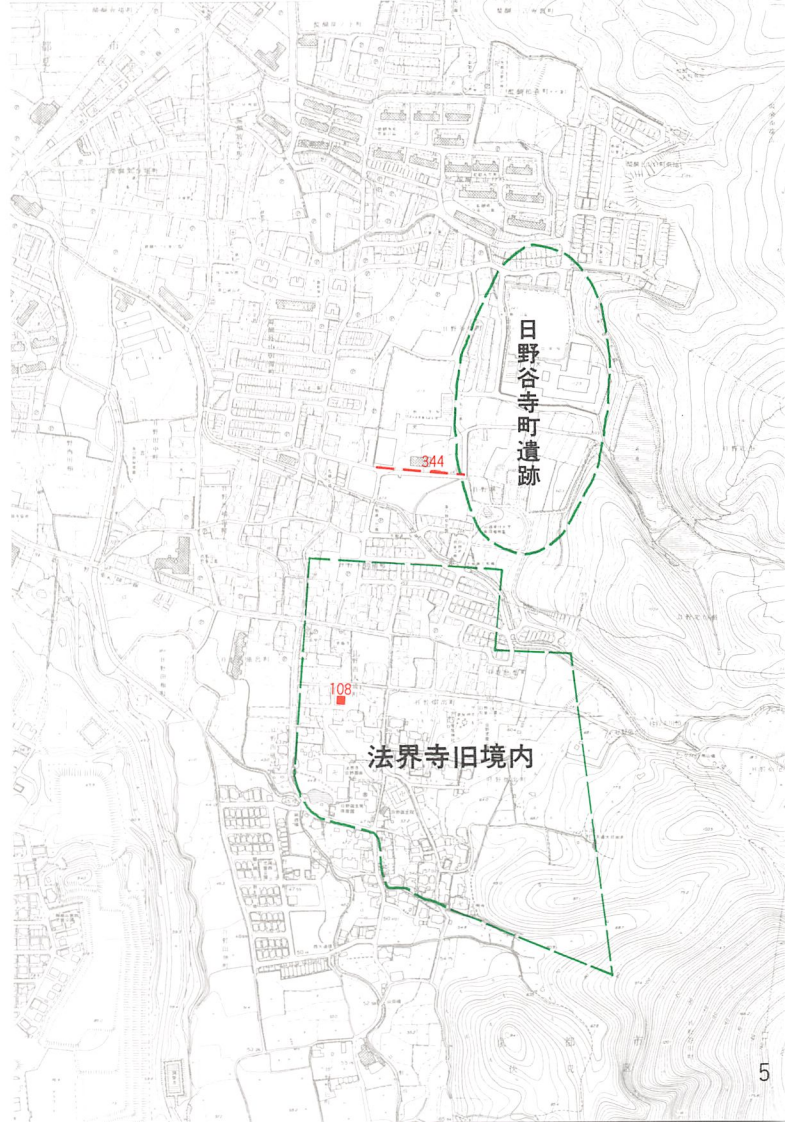
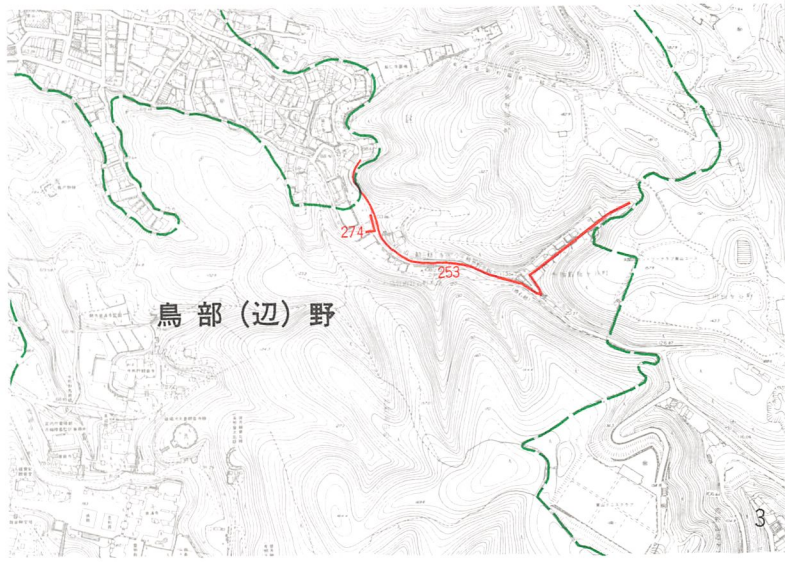
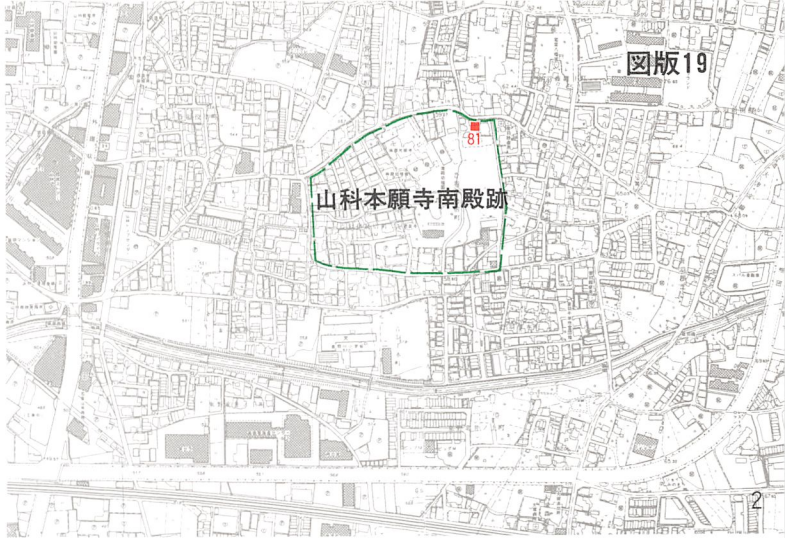
法觀寺
旧境内

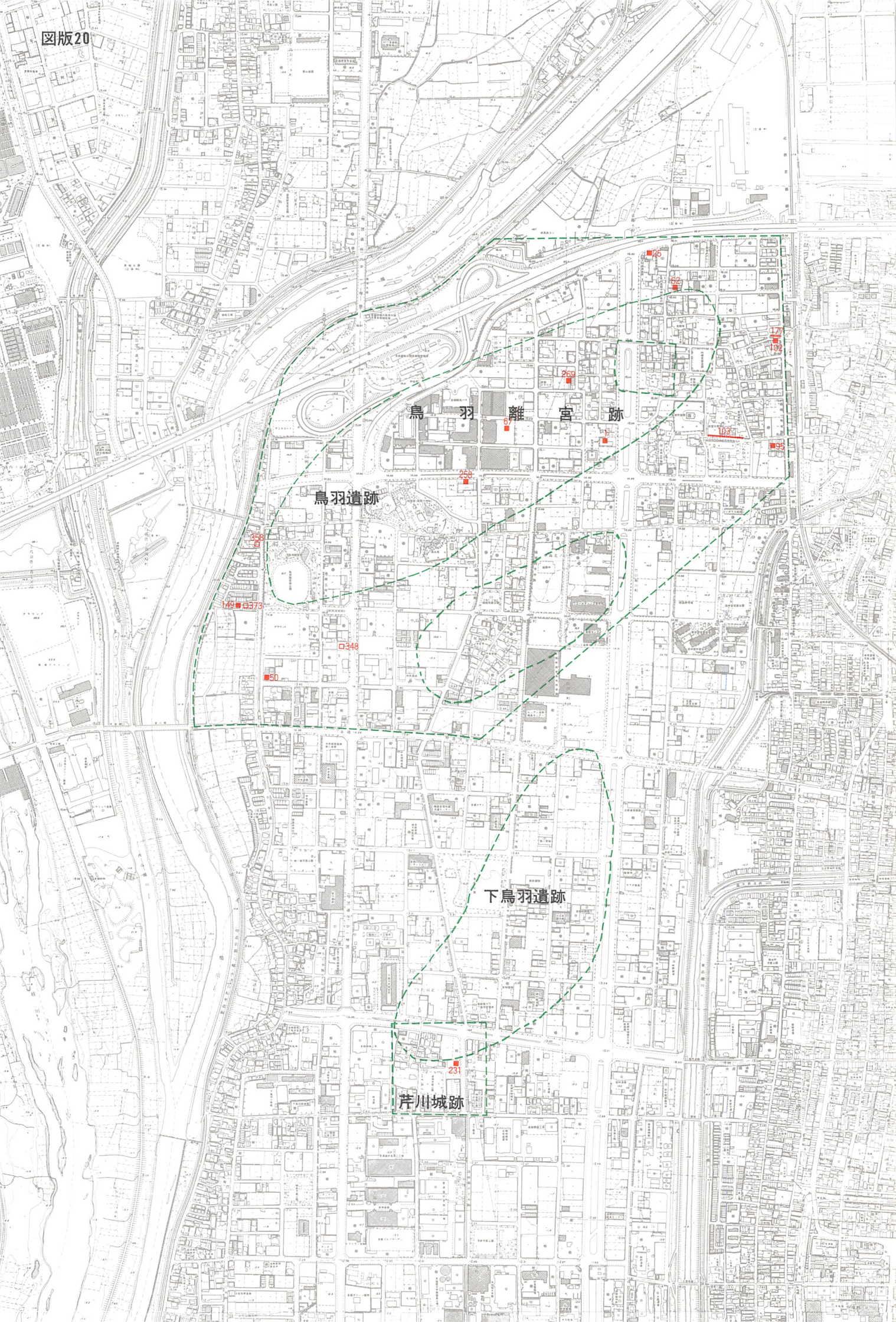
珍皇寺旧境内

六波羅政庁跡

法住寺殿跡

法性寺跡



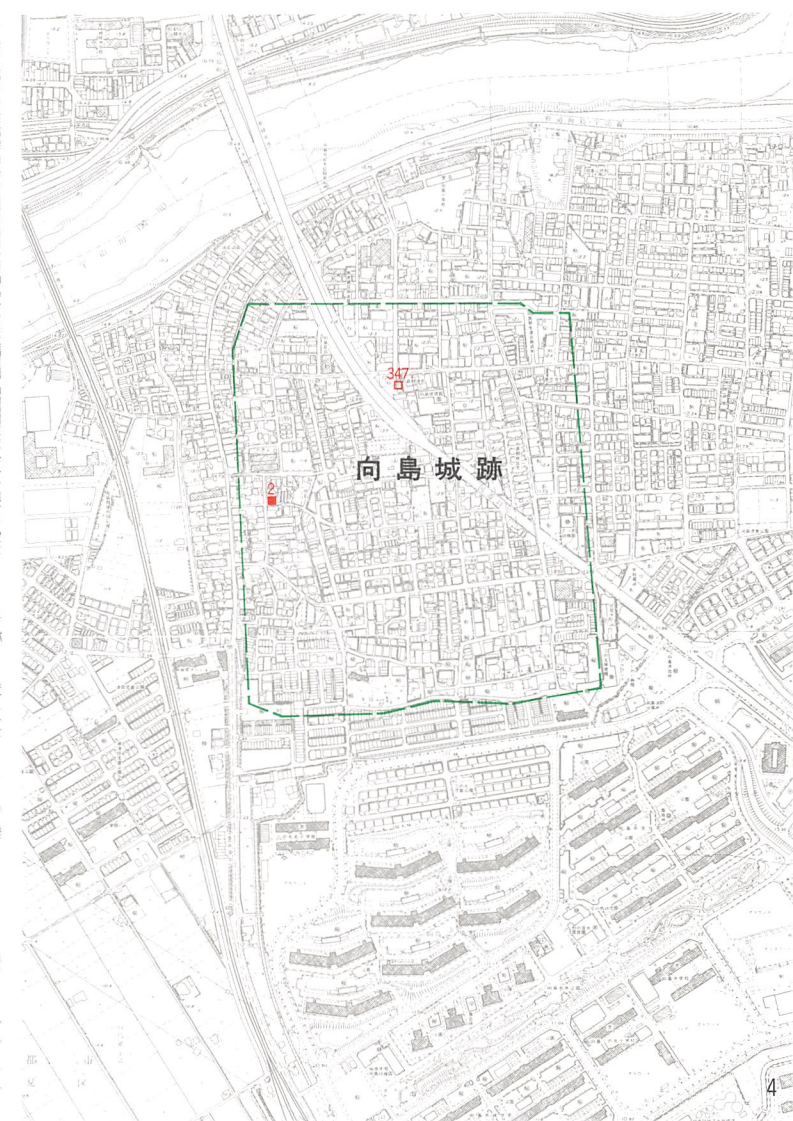
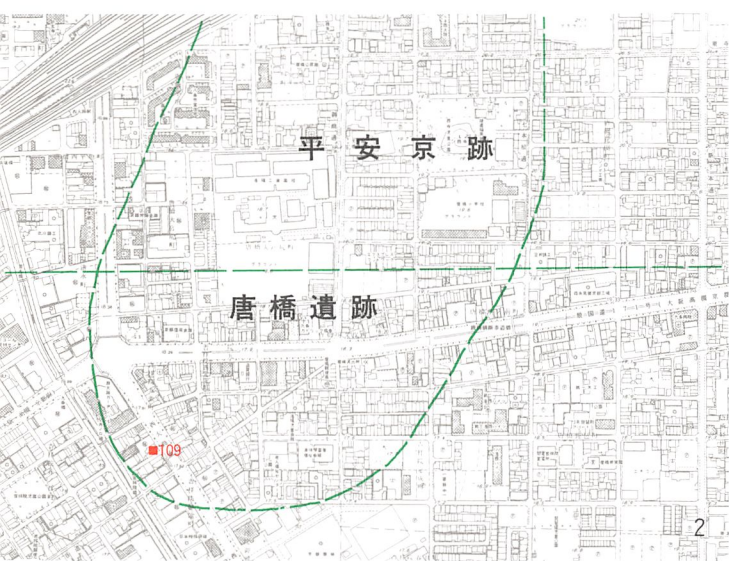
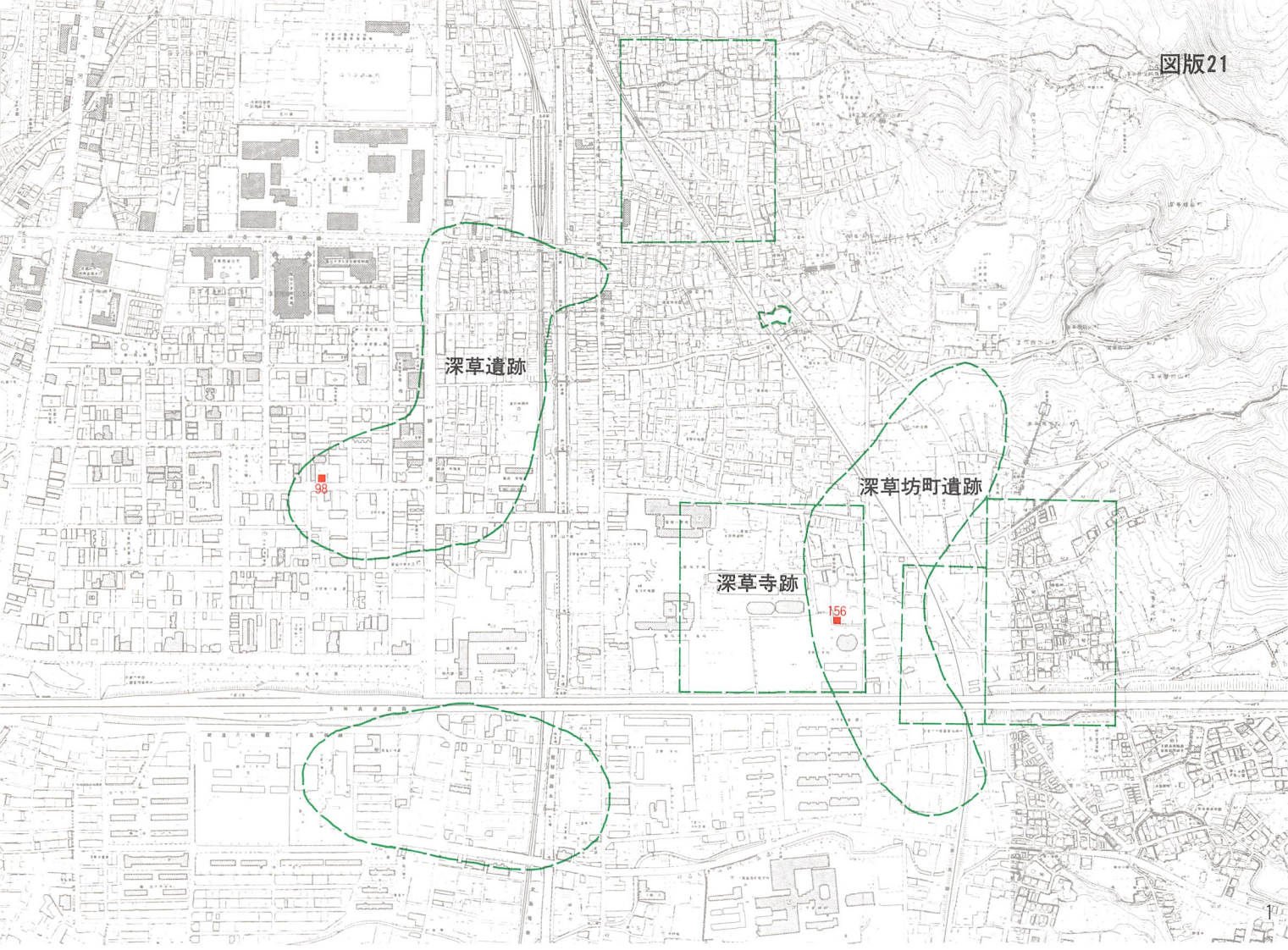


鳥羽離宮跡

鳥羽遺跡

下鳥羽遺跡

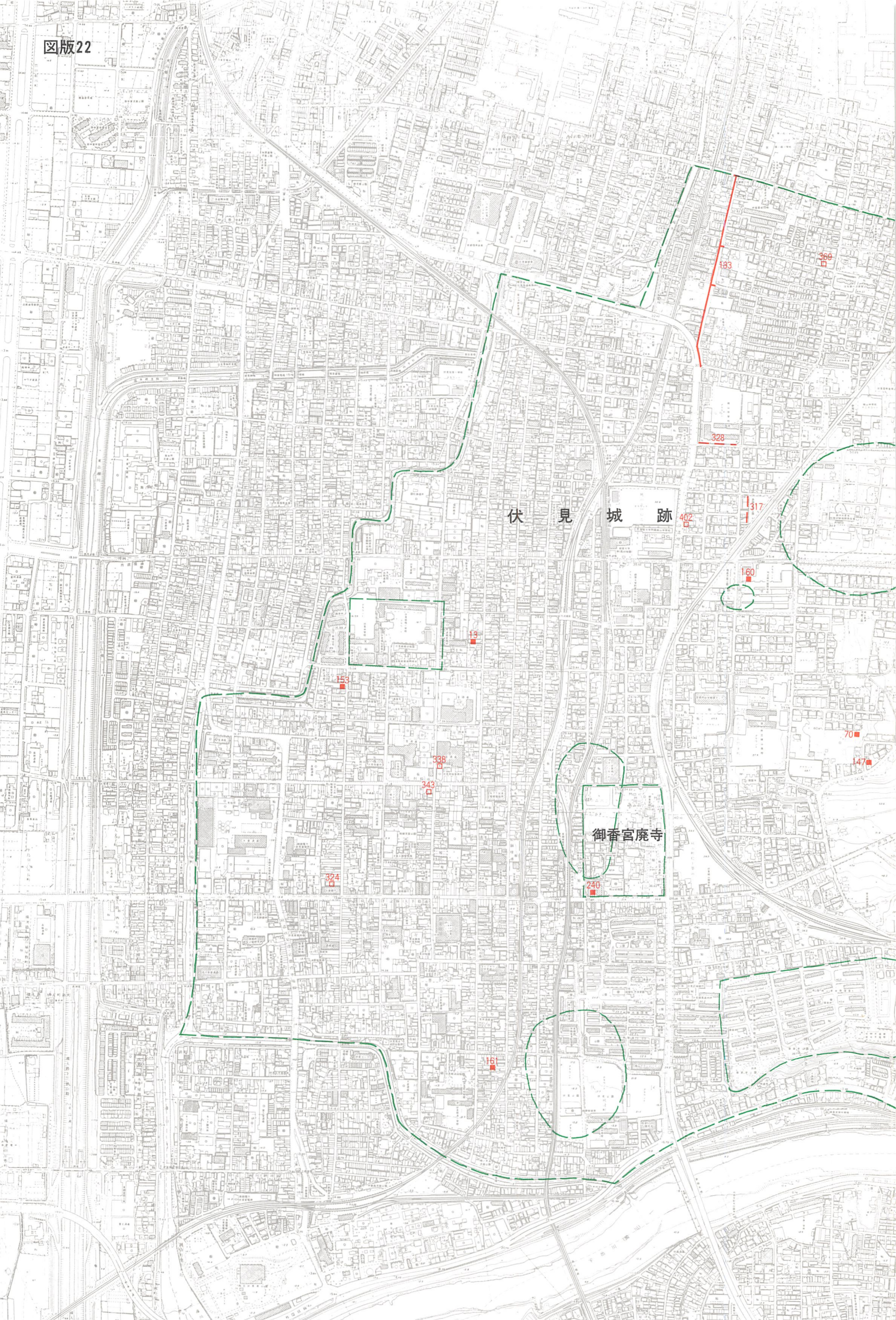
芹川城跡



2

3

4



伏見城跡

御香宮廃寺

183

369

328

402

317

160

153

13

338

343

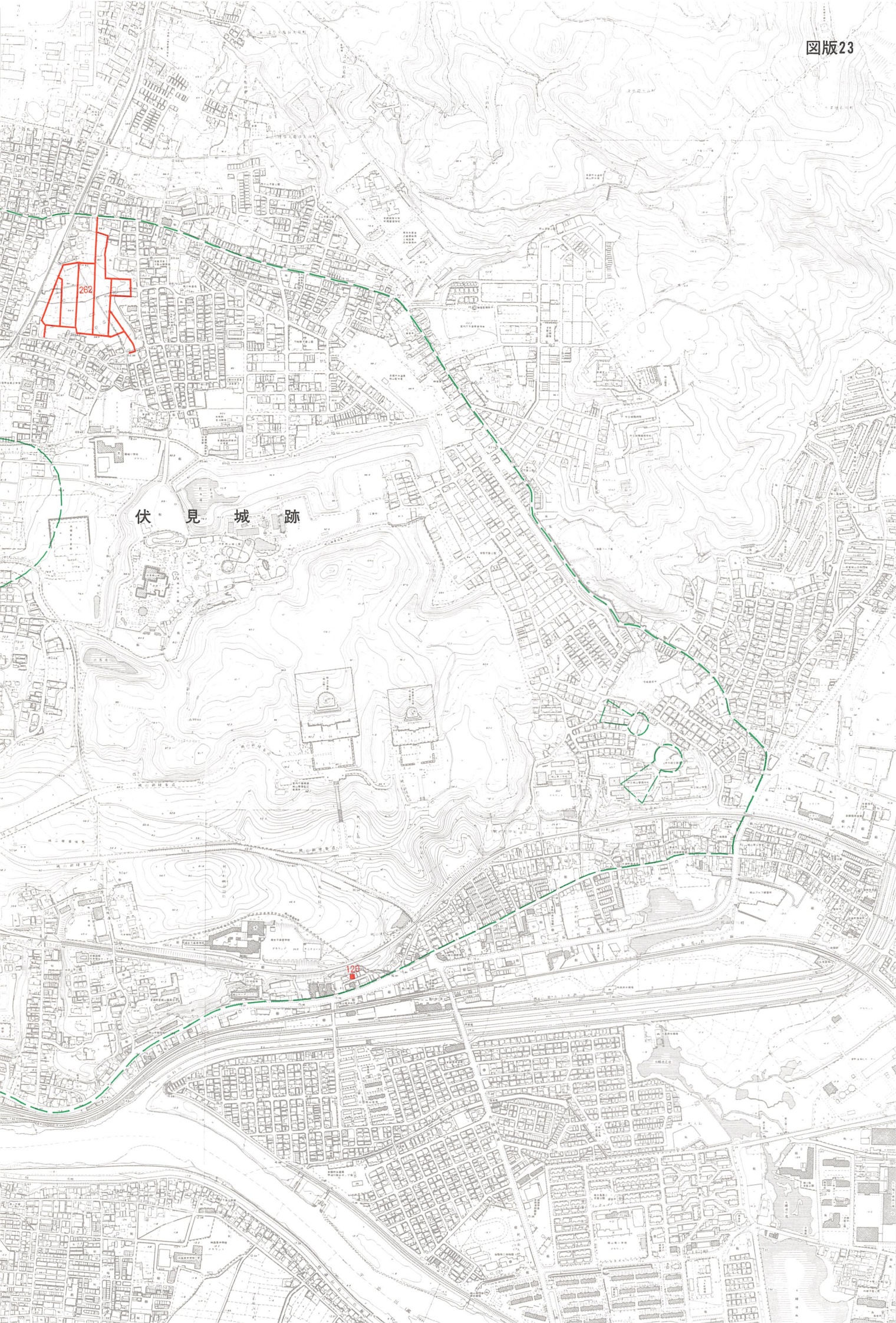
324

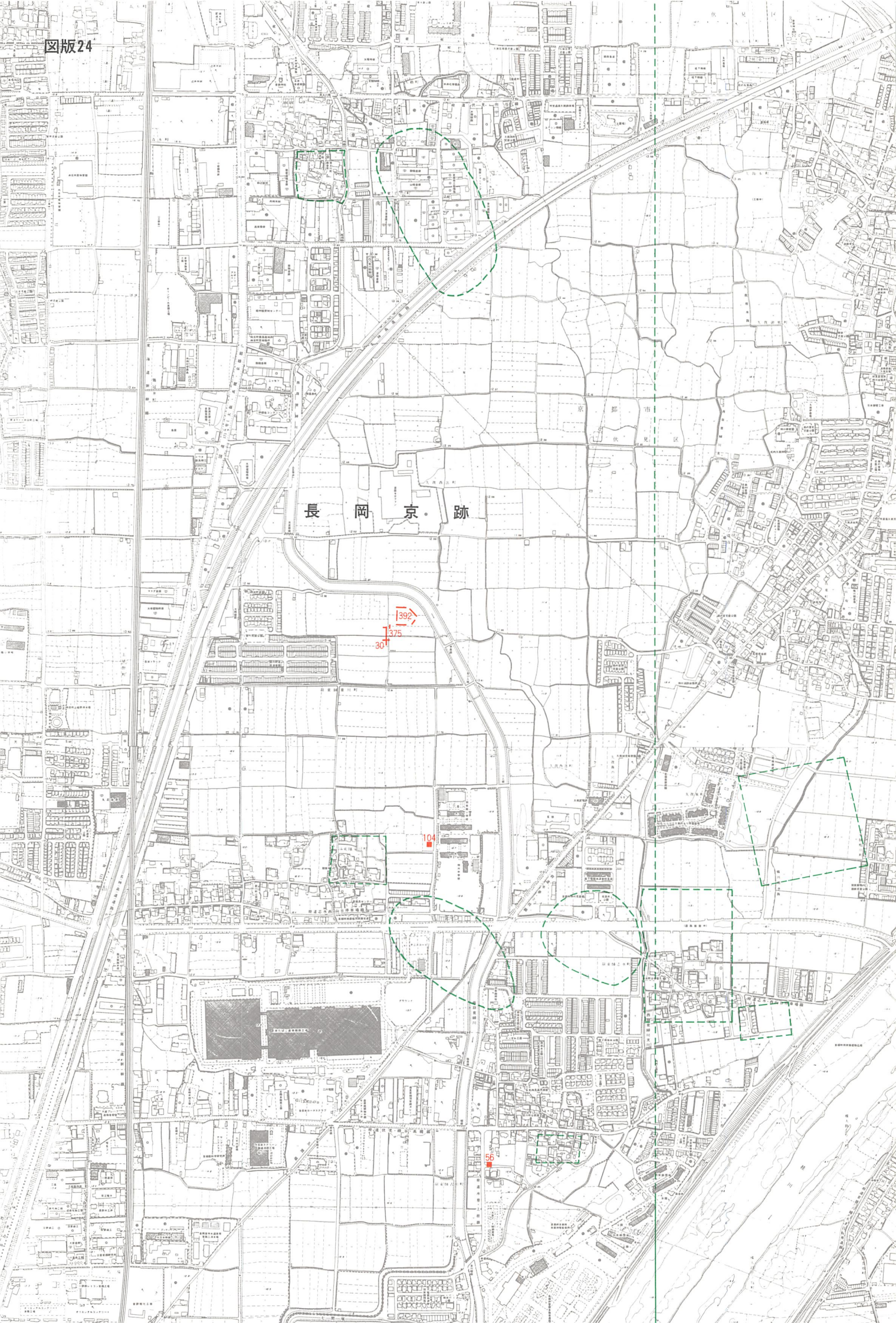
240

161

70

147





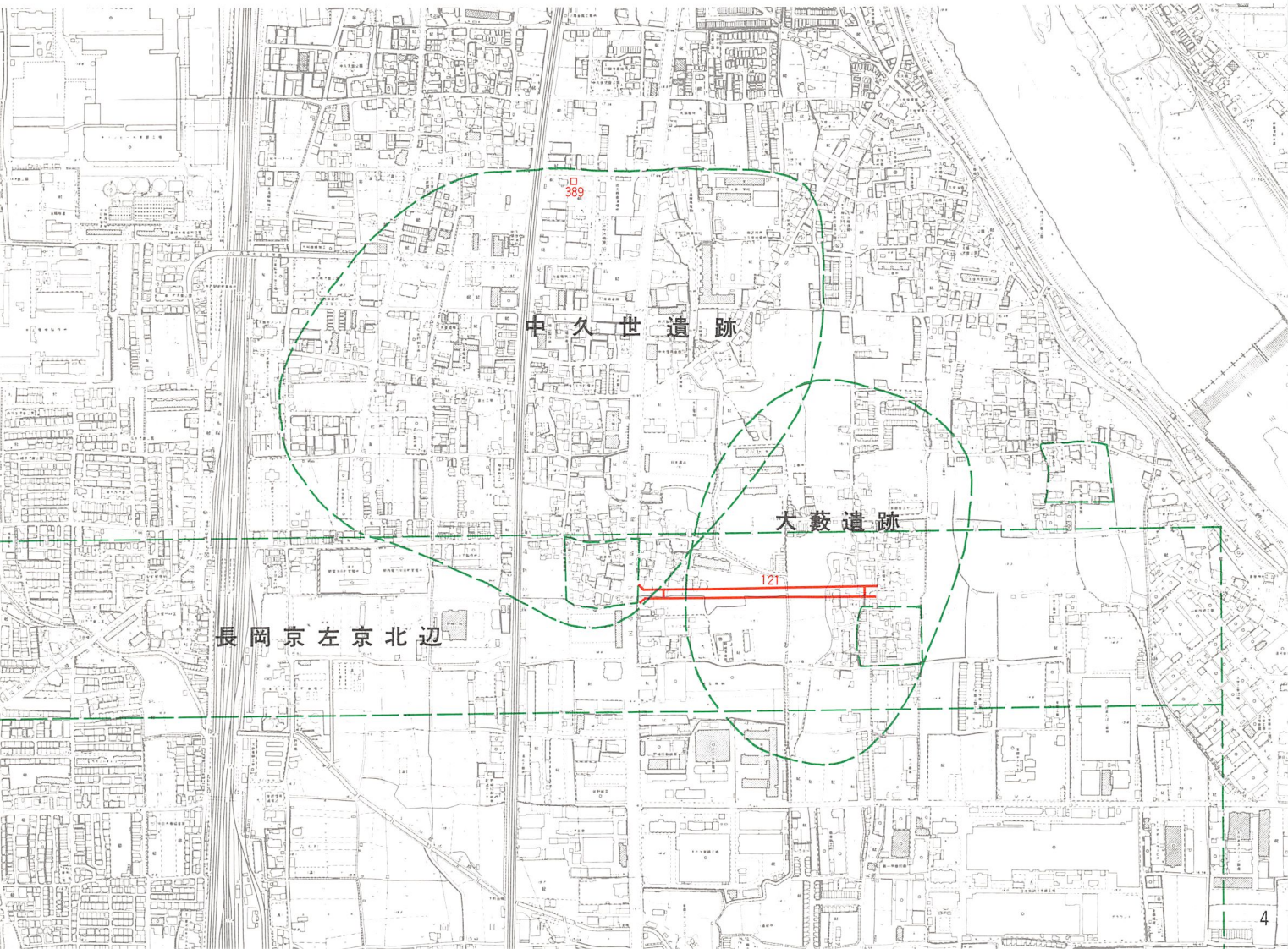
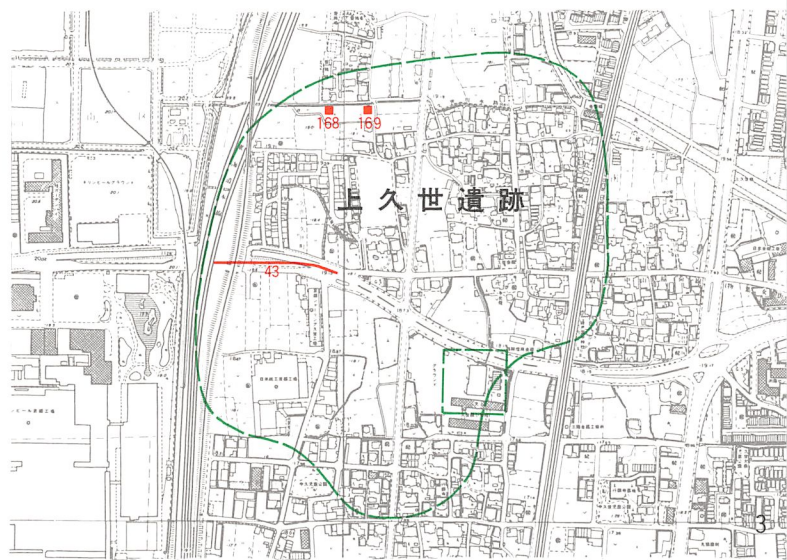
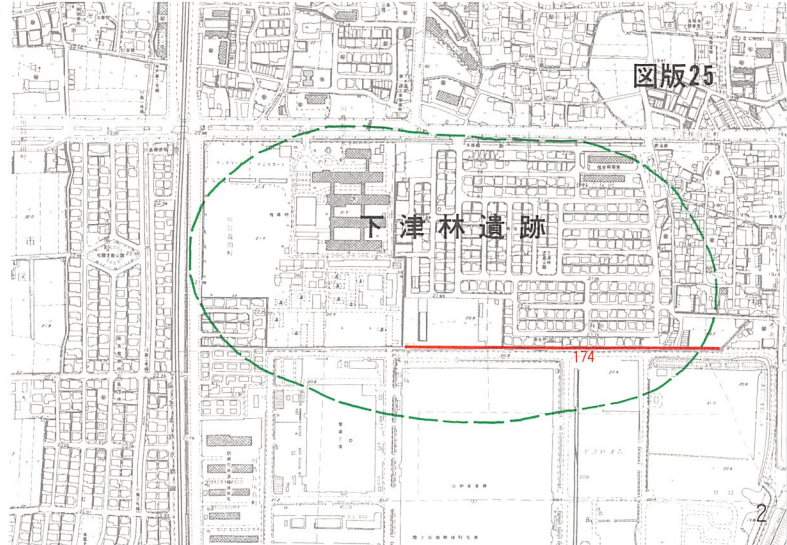
長岡京跡

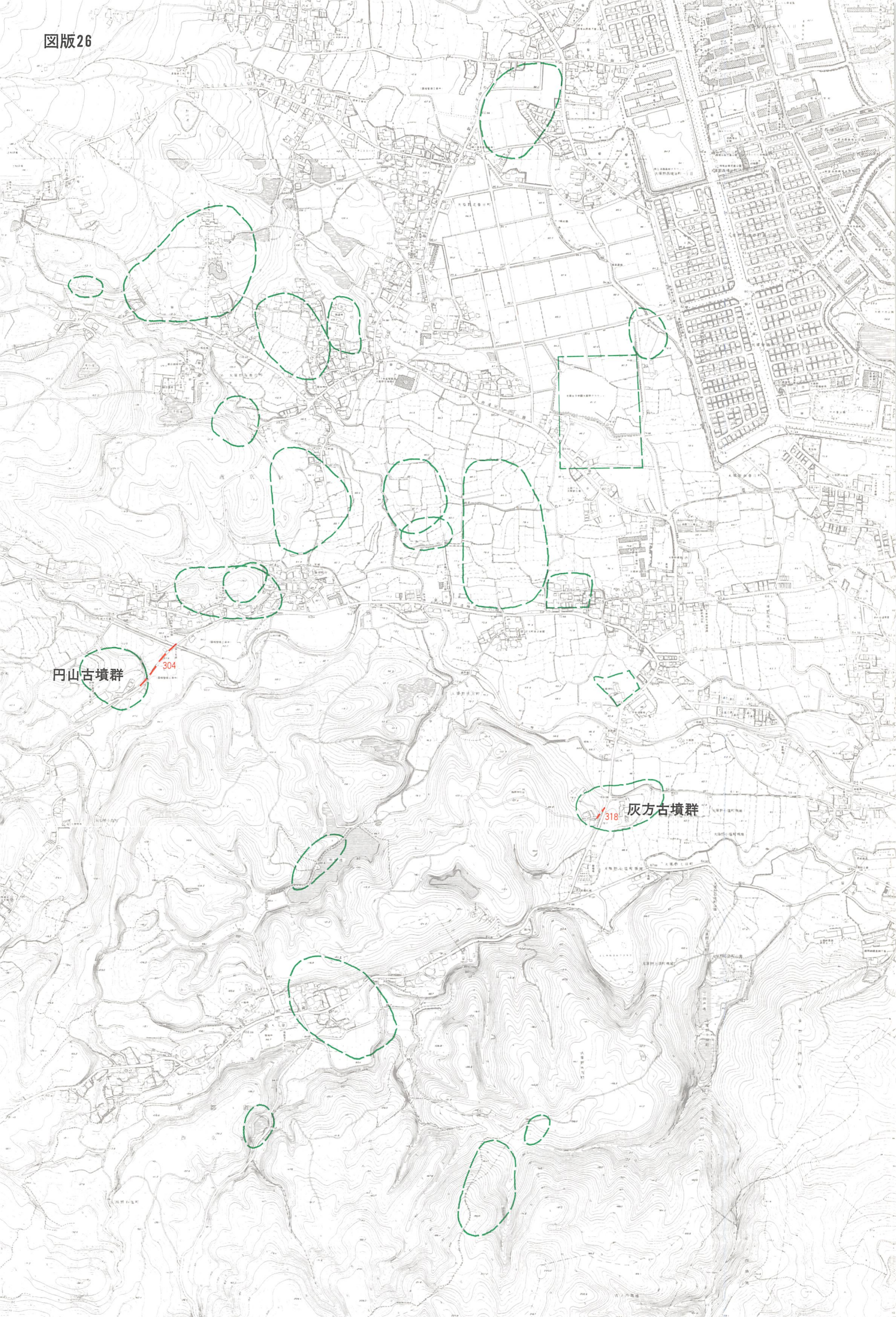
392
375
30

104

56

長岡京右京北辺





円山古墳群

304

灰方古墳群

318

京都市内遺跡立会調査概報

平成14年度

発行日 2003年3月31日
発行 京都市文化市民局
住所 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
編集 財京都市埋蔵文化財研究所
住所 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1
TEL (075) 415-0521
印刷 真陽社